

# 飯田市議会要覧

令和3年6月

飯田市議会事務局

# 飯田市市民憲章

わたくしたちの飯田市は、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化に  
つまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進してい  
ます。

わたくしたちは、このまちの市民としての誇りをもち、明るく健康で豊かな  
市民生活を築くために、全市民のねがいをこめてこの憲章をかかげ、たがいに  
はげましあい、手をとりあって進みます。

わたくしたちは

- 1 自然を大切にし、美しい環境の飯田市をつくります。
- 2 心身をきたえ、健康で明るい飯田市をつくります。
- 3 伝統を生かし、文化の香り高い飯田市をつくります。
- 4 善意を広め、思いやりの心で幸せな飯田市をつくります。
- 5 楽しく働き、豊かな産業の飯田市をつくります。

(昭和52年7月5日 施行)

---

市章 ～市章の象形～  
平仮名「い」を組み合わせ  
「田」を形どり「いいだ」  
を象形する。



# 目次

I	沿革	
1	沿革	1
2	人口と世帯の推移	4
3	飯田市自治基本条例	5
II	市議会の構成	
1	構成	12
2	議員名簿	14
3	正副議長及び各委員会委員名簿	15
4	監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿	15
5	議会選出の各種委員等	16
6	各会派及び各会派の代表者氏名	18
III	市議会の活動	
1	市議会の活動状況	
	(1) 市議会招集回数 10 か年比較表	19
	(2) 議会開会状況	19
	(3) 議会審議状況	20
2	報酬・その他	21
3	定期刊行物	22
4	市議会会議録	22
5	議会事務局の事務分掌	23
IV	飯田市の概要	
1	令和3年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要	24
2	飯田市行政組織機構図	32
3	職員の定数	34

## 【 資料編 】

V	市議会のあゆみ	
1	市議会議員選挙執行状況	35
2	歴代市議会議員	
(1)	歴代議長	36
(2)	歴代副議長	37
(3)	歴代総務常任委員会正副委員長	38
(4)	歴代社会文教常任委員会正副委員長	39
(5)	歴代産業建設常任委員会正副委員長	40
(6)	歴代予算決算常任委員会正副委員長	41
(7)	歴代建設環境常任委員会正副委員長	41
(8)	歴代議会運営委員会正副委員長	42
(9)	歴代監査委員（議会選出）	43
(10)	歴代事務局長	44
(11)	歴代市議会議員	45
3	1年間の記録	
(1)	付議事件及び議決結果一覧表	52
(2)	議会において執行した選挙・選任等	60
(3)	委員会活動開催状況	60
(4)	請願陳情	61
(5)	定例会の質問事項	62
(6)	本会議等傍聴状況	86
4	市議会のあゆみ（昭和46年から）	87
VI	参考資料	
1	都市宣言	104
2	市制提携に関する覚書	108
3	友好都市締結	108
4	飯田市の主要年表	109

# I 沿革

## 1-1 飯田市の沿革

飯田市は、長野県の最南端に位置する伊那谷の中心都市である。諏訪湖に源を發し、伊那谷を南下して太平洋に注ぐ天竜川の全長のほぼ中央に位置し、東に南アルプス国立公園、西に中央アルプス県立公園をひかえ、豊かな自然、優れた景観及び四季に富んだ暮らしやすい温暖な気候に恵まれている。伊那盆地の河岸段丘に位置する市街地から南アルプスの山懐に抱かれる遠山郷までにわたる658.66平方キロメートルの市域に98,921人（令和3年4月1日現在）の人口を擁し、地域に根ざした特色ある文化や産業活動が幅広く展開されている。

現在の飯田市街は飯田城の城下町であり、街並みの様相から「小京都」と呼ばれてきたが、昭和22年4月に市街地の3分の2を焼失する大火に見舞われた。以後面目を改め、防火モデル都市、さらに近年は環境モデル都市として注目されている。

近世の太宰春台、近代の菱田春草、河竹繁俊、日夏耿之介等学芸の士の生誕地であり、りんご並木のまち、人形劇のまちとして親しまれ、名勝天龍峡があり、豪快な天竜川下りが楽しめるほか、遠山郷の霜月まつり、各地に伝わる獅子舞など、伝統文化が豊富な地である。

昭和12年4月1日に飯田町と上飯田町が合併して市制を施行、以来、15町村と合併し、今日の飯田市の市域を成している。



「伊那谷の夜明け」とまで言われ、多くの市民が期待していた中央自動車道西宮線は、昭和50年8月23日に中津川一駒ヶ根間が開通し、昭和57年11月10日に全線開通となり、飯田地方と中京圏、首都圏との経済、文化の交流が飛躍的に拡大した。

また、東海地域と飯田を結ぶ三遠南信自動車道においては、平成6年3月29日に矢筈トンネルが、平成20年4月13日には飯田山本IC―天龍峡IC間が、平成30年3月11日には飯橋道路龍江―飯田上久堅・喬木富田IC間が、令和元年11月17日には天竜峡―龍江IC間が開通した。

天竜峡―龍江IC間には、文化財保護法により国の重要文化財に指定される「名勝天龍峡」があり、この名勝の歴史ある良好な景観との調和を図るため、峡谷のV字地形に収まり、背後のスカイラインを阻害しない「鋼上路式アーチ橋」の天龍峡大橋を整備した。名勝地を横断する自動車専用道の架橋事業は前代未聞のプロジェクトでした。天龍峡大橋は、飯田市内で一級河川天竜川を渡河する橋長280m、アーチ支間210mの鋼上路式

アーチ橋（バスケットハンドル型固定アーチ）です。その後も全線開通を目指しての建設が進行している。

さらに、2027年開業予定のリニア中央新幹線については、平成25年9月にルート及び長野県駅が飯田市上郷飯沼に設置される計画が公表され、長野県の南の玄関口及び三遠南信地域の北の玄関口にふさわしいリニア駅とその周辺整備に向けた準備が進められており、令和3年3月28日には、リニア中央新幹線開業時の広域観光支援を目的に中央自動車道からのアクセスとして座光寺スマートインターチェンジが開通している。

三遠南信地域連携ビジョン等ともあいまって、激的に近くなる首都圏と中京圏との連結地域として本市の果たす役割が期待される。

## 1-2 市議会の沿革

飯田市議会は、昭和31年に1市7か村を廃し、その区域をもって市制を施行したことに伴い、旧市村の議員が引き続き市議会議員（総員149人）として在任、同年10月8日に臨時会が開かれ、初代議長に代田源六郎氏、初代副議長に伊藤清氏が選出された。

市議会議員の定数は、昭和32年3月12日の定例会において「飯田市議会議員の選挙区及び各選挙区における議員の数に関する条例」（小選挙区制）を可決。以後、議員定数の見直しと合併による増員などの変遷を経てきた。

平成19年5月、新しい時代にふさわしい地方議会の在り方を模索する中で、市民にとってわかりやすく開かれた議会を目指し「議会改革検討委員会」を設置した。委員会では、「議員の在り方の変革を目指して」ほか5項目を議論する中、平成21年4月19日執行の議員選挙から定数を29人から23人に削減し、常任委員会の所属についても複数所属とし、一人の議員が二つの常任委員会に所属することとした。平成25年4月21日執行の議員選挙後は委員会活動をさらに充実させるため、議員は一つの常任委員会に所属することとした。

飯田市議会の取り組みとして最も注目されるのは、「飯田市自治基本条例」の制定である（平成19年4月施行）。その端緒は、平成15年5月、政策立案型議会への転換を目指した議会議案検討委員会の設置にある。翌16年5月には、市民を委員として「わがまちの“憲法”を考える市民会議」が発足、同会議は条例の制定に向けた研究を行い、その成果を最終答申書にまとめ、議長に提出した。これを受け市議会では翌17年5月に自治基本条例特別委員会を設置し、2度にわたる地区懇談会及び議会によるパブリックコメントの実施を経た後、平成18年9月には条例案を議会議案として提案し、全会一致で可決した。

この条例の制定を契機に、平成20年度から「議会による行政評価」がスタートするとともに、開かれた議会を実現するため「議会報告会」を毎年開催している。平成23年1月には、条例中の「議会の役割」について議会による検証が始まり、平成24年3月には、「議会改革・運営ビジョン」として取りまとめ、常設の機関として「議会改革推進会議」を設置するに至った。議会改革推進会議では、課題を整理し、平成25年3月に「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取組み（まとめ）」として集約している。

その後、平成25年4月には議会報告会を含む広報広聴活動を充実させるため、「広報広聴委員会」を設置した。

平成30年12月、議会による予算決算審査のあり方についての研究を目的とした予算決算審査検討プロジェクトが発足した。以降、約半年間にわたるプロジェクト会議等を経て、令和元年5月の臨時会において、常任委員会として「予算決算委員会」が設置された。

令和元年度からは「議会による行政評価」を予算決算委員会の所管とし、飯田市総合計画の「いいだ未来デザイン2028」に掲げられた平成30年度戦略計画を中心に基本目標ごと

の評価及び検証を行っている。評価にあたっては執行機関側からの説明を受けた上で、委員会分科会での専門的な評価を経て最終とりまとめを行い、令和元年9月に市長へ提言書を提出した。

令和2年度の試みとしては、基本目標及び戦略計画を評価対象とした政策的評価と決算審査を政策へつなげる事務事業評価の2層式による議会行政評価の取り組みを行うこととして、「いいだ未来デザイン2028」の中期計画に向けて令和2年度「議会による行政評価」からの評価及び提言書として集約し、市長に提出している。

令和3年2月の第1回定例会から「議会機能の強化」を目的に、議会ICT化を推進するため、試行的にタブレット端末を活用した議案審議を開始した。

人形劇フェスタのイメージキャラクター「ぼお」です。太り気味の妖精でリンゴ並木に住んでいるそうです。



## 2 人口と世帯の推移

(単位：世帯・人・km<sup>2</sup>)

年 月	世帯数	人口	男	女	面積
昭和31. 9	14,627	69,235			199.78
昭和36. 3	16,018	69,538			206.07
昭和39. 3	19,179	79,541			293.03
昭和54. 4	20,870	77,860	36,794	41,066	〃
昭和59. 4	21,872	78,665	37,331	41,334	〃
昭和60. 4	26,458	92,132	43,776	48,356	299.23
昭和63. 4	26,709	92,050	43,810	48,240	〃
平成 1. 4	26,824	91,846	43,778	48,068	〃
平成 2. 4	27,033	91,806	43,721	48,085	298.90
平成 3. 4	27,277	91,723	43,739	47,984	〃
平成 4. 4	27,467	91,612	43,695	47,917	〃
平成 5. 4	27,732	91,684	43,819	47,865	〃
平成 6. 4	32,507	106,104	50,754	55,350	325.35
平成 7. 4	32,829	106,233	50,841	55,392	〃
平成 8. 4	33,183	106,472	50,991	55,481	〃
平成 9. 4	33,577	106,495	50,971	55,524	〃
平成10. 4	33,975	106,695	51,142	55,553	〃
平成11. 4	34,233	106,464	51,093	55,371	〃
平成12. 4	34,519	106,479	51,135	55,344	〃
平成13. 4	34,870	106,456	51,093	55,363	〃
平成14. 4	35,056	106,161	50,947	55,214	〃
平成15. 4	35,382	106,078	50,893	55,185	〃
平成16. 4	35,656	105,846	50,728	55,118	〃
平成17. 4	35,807	105,411	50,511	54,900	〃
平成18. 4	37,190	107,593	51,640	55,953	658.76
平成19. 4	37,395	106,993	51,253	55,740	〃
平成20. 4	37,787	106,770	51,138	55,632	〃
平成21. 4	37,682	105,867	50,693	55,174	〃
平成22. 4	37,801	105,372	50,407	54,965	658.73
平成23. 4	37,886	104,771	50,146	54,625	〃
平成24. 4	38,087	104,291	49,931	54,360	〃
平成25. 4	39,040	105,750	50,445	55,305	〃
平成26. 4	39,108	104,954	50,076	54,878	〃
平成27. 4	39,358	104,284	49,884	54,400	658.66
平成28. 4	39,656	103,712	49,623	54,089	〃
平成29. 4	39,711	103,023	49,343	53,680	〃
平成30. 4	39,735	102,012	48,859	53,153	〃
平成31. 4	39,896	101,111	48,630	52,481	〃
令和 2. 4	39,962	100,008	48,150	51,858	〃
令和 3. 4	40,064	98,921	47,709	51,212	〃

※平成25.4以後は住民基本台帳法の改正により外国人を含む数字

### 特記事項

- ・昭和31年 9月 : 飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村及び下久堅村の1市7か村を合併
- ・昭和36年 3月 : 川路村を編入合併
- ・昭和39年 3月 : 上久堅村、千代村及び龍江村を編入合併
- ・昭和59年12月 : 鼎町を編入合併
- ・平成 5年 7月 : 上郷町を編入合併
- ・平成17年10月 : 上村及び南信濃村を編入合併
- ・平成22年 2月 : 天龍村との境界を修正
- ・平成26年10月 : 国土地理院が、計測方法を変更したことによる面積の修正



# 飯田市自治基本条例

平成18年9月21日条例第40号

一部改正：平成23年11月30日条例第25号

一部改正：平成25年3月25日条例第2号

一部改正：令和2年12月25日条例第39号

## 目次

### 前文

- 第1章 総則（第1条—第3条）
- 第2章 自治の基本原則（第4条—第7条）
- 第3章 市民等の役割（第8条—第10条）
- 第4章 地域自治（第11条—第15条）
- 第5章 市政運営（第16条—第21条）
- 第6章 市議会の役割（第22条—第27条）
- 第7章 市の執行機関の役割（第28条—第34条）
- 第8章 住民投票（第35条）
- 第9章 条例の見直し（第36条）

### 附則

わたくしたちの住む飯田市は、美しい自然に恵まれ、地域の風土に根付いた伝統や文化に支えられた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、これまで互いに助け合い協力し、特色のある地域活動やまちづくりを実践してきました。

わたくしたちは、分権型社会や少子高齢社会の到来により、社会構造が大きく変化する中で、まちづくりに進んで参加する「ムトス」の精神を、次の時代へ確実に引き継がなくてはなりません。

わたくしたちは、飯田市市民憲章にうたわれた市民としての心構えと理念を尊重し、協働して、市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、ここに、新たな自治の仕組みを定める飯田市自治基本条例を制定します。

## 第1章 総則

### （目的）

第1条 この条例は、本市の自治の基本的な原則及びまちづくりに関する市民、市議会及び市の執行機関の役割を明らかにするとともに、市政運営についての基本的な指針を定めることにより、市民が主体のまちづくりを協働して推進することを目的とします。

### （条例の位置付け）

第2条 この条例は、自治及び市政に関する基本的な原則を定めた最高規範であり、市民及び市は、この条例を誠実に遵守するものとします。

2 市は、条例、規則等を解釈し、又は制定、改廃する場合には、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

3 市は、基本構想等の計画の策定、政策の立案及び実施に当たっては、この条例の趣旨を尊

重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

(用語の定義)

第3条 この条例において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 市民 市内に住所を有する人(以下「住民」といいます。)、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内において活動する人若しくは団体をいいます。
- (2) 市民組織 市民により自主的に形成され、まちづくりのために、互いに協力し多様な活動を行う組織をいいます。
- (3) 事業者 市内で、事業を営む個人及び法人その他の団体をいいます。
- (4) 市 市議会及び市の執行機関で構成する地方公共団体をいいます。
- (5) 市の執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいいます。
- (6) まちづくり 「ムトス」の言葉に象徴される、まちを活気のある明るく住みよくするための事業や活動を総称します。
- (7) 自治 市民が市政に参加し、その意思と責任に基づき市政が行われることのほか、地域の公共的活動を自ら担い、主体的にまちづくりを推進することをいいます。
- (8) 協働 まちづくりのために、市民と市とが情報を共有し、それぞれの役割を担いながら対等の立場で協力し、共に考え行動することをいいます。
- (9) 基本構想 本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本となる考え方をいいます。

## 第2章 自治の基本原則

(自治の基本原則)

第4条 市民と市とは、この章に掲げる自治の原則に基づき、協働して自治を推進するものとします。

(市民主体の原則)

第5条 まちづくりは、市民一人ひとりが主体となり、市民相互及び市と協調することにより推進します。

2 市民は、地域社会の一員として尊重され、その個性や能力を十分発揮することができます。

(情報共有の原則)

第6条 まちづくりは、市政についての情報が市民に公開され、市民が市政について意見を提出し、その情報や意見を市民と市とが共有することにより推進します。

(参加協働の原則)

第7条 まちづくりは、市民に市政への多様な参加の場と機会とが保障され、市民と市とが適切に役割分担し、協働することにより推進します。

## 第3章 市民等の役割

(市民の権利)

第8条 市民は、まちづくりの主体として、まちづくりに参加する権利を有します。

2 市民は、市政に関する計画や政策の立案段階から参加する権利を有し、意見を述べること

ができます。

- 3 市民は、市政についての情報を知る権利を有し、市に対し市が保有する情報の公開を求めることができます。

(市民の役割)

第9条 市民は、まちづくりの主体として、市と協働し、地域社会の発展に寄与するよう努めます。

- 2 市民は、互いの活動を尊重し、自らの発言と行動に責任を持つものとします。

(事業者の役割)

第10条 事業者は、地域社会の一員として、地域社会との調和を図るとともに、従業員の行う地域活動にも配慮し、まちづくりに寄与するものとします。

## 第4章 地域自治

(市民組織の尊重)

第11条 市は、市民組織の自主性及び自立性を尊重し、市民組織が活動するために必要な支援を行います。

- 2 市民は、市民組織がまちづくり推進の主要な担い手であることを認識し、市民組織を尊重し、守り育てるものとします。

(地域自治の推進)

第12条 市は、地域の特性と自主性が生かされた、個性豊かで魅力ある地域のまちづくりを推進するため、自治の基本原則に基づき、分権によるまちづくりの仕組みを目指します。

(地域自治区)

第13条 市は、市民に身近な事務事業を市民の意見を反映させて処理するとともに、地域の自治を促進するため、法律に基づく地域自治区を設けます。

- 2 地域自治区に置かれる地域協議会は、地域の住民により構成され、地域の意見を調整し、協働によるまちづくりを推進します。

(まちづくりのための委員会等)

第14条 市は、市民組織が地域のまちづくりに取り組むため組織する委員会等の自主的及び自立的な運営を尊重します。

(自治活動組織)

第15条 市民は、地域社会の一員として、自治活動組織（地域市民により形成され、まちづくりに取り組む市民組織をいいます。）の役割について理解を深め、協力するとともに、自治活動組織への加入に努めます。

- 2 市民は、可能な範囲内で、自治活動組織の活動に参加し、地域社会において個性や意欲を發揮することができるものとします。
- 3 自治活動組織は、地域市民の加入や参加が促進されるために必要な環境づくりに努めます。

## 第5章 市政運営

(協働して行う市政運営)

第16条 市は、市政に関する計画や政策の立案段階から市民の参加を促進し、市民と協働して市政運営を行います。

2 市は、市民の多様な参加の機会を整備し、協働のまちづくりを推進し、自治の拡充を図ります。

(市民意見の公募)

第17条 市は、別に定めるところにより、重要な計画及び政策の策定又は変更について事前に案を公表し、市民の意見を求めます。

2 市は、市民から提出された意見を尊重し、意見についての考え方を公表します。

(附属機関の委員の任命)

第18条 市の執行機関は、特定事項について審議又は調査等を行う附属機関に、市民の多様な意見が反映されるように委員を任命します。

(情報の公開)

第19条 市は、公正で開かれた市政の実現を図るため、市政についての情報の公開に関する総合的な施策に基づき、積極的に情報を公開します。

2 市は、市民の必要とする情報について、適切かつ速やかな提供に努めます。

(個人情報の保護)

第20条 市は、市民の個人情報に関する権利を保障するとともに、個人情報を適正に管理します。

(基本構想等)

第21条 市は、まちづくりの理念に基づき、市議会の議決を経て基本構想を定め、総合的かつ計画的な市政運営に努めます。

2 市は、基本構想、基本計画その他市の施策の基本となる計画を策定するに当たっては、市民参加の機会を保障します。

## 第6章 市議会の役割

(市議会の責務)

第22条 市議会は、市民の代表機関として、市という団体の意思決定機関であり、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより議決の権限を行使し、市民の意思が的確に反映されるよう活動します。

2 市議会は、市の執行機関の活動を監視、評価することにより、適正な行政運営の確保に努めます。

3 市議会は、政策の立案、提言の内容の充実を図るための調査研究活動に努めます。

4 市議会は、合議体として論点、課題等について議論を深めるため、議員相互間の自由な討議を重んじて活動します。

(開かれた議会運営)

第 23 条 市議会は、市議会が保有する情報を公開するとともに、会議及び委員会等を公開し、並びに議会活動について市民に説明することにより、市民との情報の共有に努めます。

2 市議会は、市民の意見を聞くため議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営に努めます。

3 市議会は、市民への議会活動の報告、市民との意見交換の場の開催等を通じ、前 2 項に規定する事項の実現に努めます。

(市議会議長の責務)

第 24 条 市議会議長は、市議会を代表し、公正中立に職務を遂行するとともに、円滑かつ効率的な議会運営を図るよう努めます。

2 市議会議長は、市議会に関する事務を統一的に処理するため、議会事務局の職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(市議会議員の責務)

第 25 条 市議会議員は、市民の意向把握や情報収集に努め、市民全体の利益を優先して政策提言を行います。

2 市議会議員は、政治倫理の確立に努め、公正かつ誠実に責務を遂行し、市民の負託にこたえます。

3 市議会議員は、市議会の役割及び責務を自覚し、その誠実な遂行のため自己研鑽に努めます。

(政策の調査、審議のための機関)

第 26 条 市議会は、政策の調査、立案のために必要な専門的事項に係る調査、審議を、学識経験を有する者等に求めることができます。

2 市議会は、前項の学識経験を有する者等の指定に当たっては、市民の多様な意見が反映されるようにします。

(市議会事務局職員の責務)

第 27 条 市議会事務局職員は、市議会の持つ権能が十分発揮されるよう、全力をあげて市議会の活動を補佐します。

2 市議会事務局職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

## 第 7 章 市の執行機関の役割

(市長の責務)

第 28 条 市長は、市の代表者として公正かつ誠実に市政を運営します。

2 市長は、自治の基本原則に基づき、市の計画及び政策の策定、実施、評価等を行います。

(市の執行機関の責務)

第 29 条 市の執行機関は、条例、予算その他の議会の議決に基づく事務及び法令、規則その他の規程に基づく事務を適正に管理、執行します。

(市の執行機関の組織運営)

第 30 条 市の執行機関は、行政組織について効率的かつ機能的なものとするとともに、相互の連携を図り、最小の経費で最大の行政効果を上げるよう運営します。

2 市の執行機関は、職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(説明責任)

第 31 条 市の執行機関は、行政運営の透明性を高めるため、市政について、市民に分かりやすく説明する責任を果たします。

2 市長その他の執行機関は、市議会に対して、市政に関する意思決定の過程及び行政運営の状況を随時報告するものとします。

(行政評価)

第 32 条 市の執行機関は、市の施策や事務事業の執行状況を、基本構想等に基づき検証し、継続的な見直しを行い、効果的に執行します。

2 市の執行機関は、施策や事務事業の達成状況を公表し、市民から理解を得られる行政運営を進めます。

(財政状況の公表)

第 33 条 市長は、市の財源の確保とその効率的かつ効果的な運用により、財政の健全性に努めます。

2 市長は、財政状況を市民にわかりやすく公表するように努めます。

(市の執行機関の職員の責務)

第 34 条 市の執行機関の職員は、全体の奉仕者として、公平、公正かつ誠実に、全力をあげて職務を遂行します。

2 市の執行機関の職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

## 第 8 章 住民投票

(住民投票)

第 35 条 市は、市政の特に重要な事項について、直接住民の意思を確認する必要があるときは、市議会の議決を経て住民投票を実施することができます。

2 市は、住民投票の結果を尊重します。

3 住民投票の実施に関し必要な事項は、その都度条例で定めます。

## 第 9 章 条例の見直し

(条例の見直し)

第 36 条 市は、社会の変化に対応して、本条例が第 1 条の目的を達成するために必要があるときは、条例の見直しを行います。

附 則

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行します。

附 則 (平成 23 年 11 月 30 日条例第 25 号)

この条例は、公布の日から施行する。

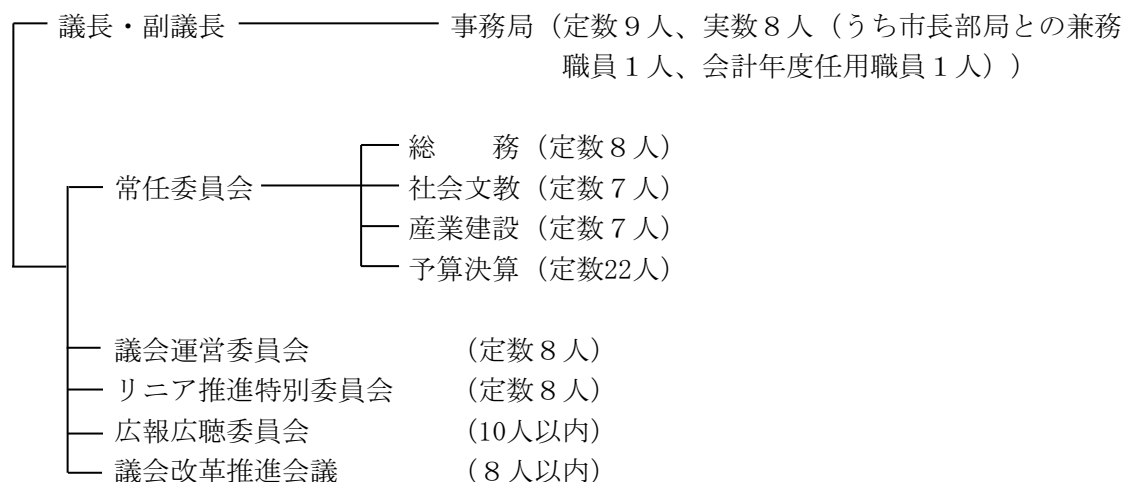
附 則 (平成 25 年 3 月 25 日条例第 2 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和 2 年 12 月 25 日条例第 39 号）  
この条例は、公布の日から施行する。

## II 市議会の構成（令和3年5月31日現在）

### 1 構成



#### (1) 常任委員会

##### ア 所管事項

- (ア) 総務委員会：総務部、総合政策部、市民協働環境部、市長公室、危機管理室、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
- (イ) 社会文教委員会：健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項並びに病院事業に関する事項
- (ウ) 産業建設委員会：リニア推進部、産業経済部、建設部、上下水道局、水道局及び農業委員会の所管に属する事項
- (エ) 予算決算委員会：予算、決算及び行政評価に関する事項

##### イ 任期 2年

#### (2) 議会運営委員会

##### ア 所管事項

- (ア) 議会の運営に関する事項
- (イ) 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- (ウ) 議長の諮問に関する事項

##### イ 任期 2年

#### (3) リニア推進特別委員会

##### ア 所管事項

リニア中央新幹線の推進に関する諸課題の研究調査に関する事項

##### イ 任期 2年

#### (4) 広報広聴委員会（協議又は調整を行うための場）

##### ア 所管事項

- (ア) 議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- (イ) 議会ホームページの管理運営に関する事項
- (ウ) インターネットを利用した会議公開に関する事項



- (エ) 会議傍聴の推進に関する事項
  - (オ) 市民への講座等の開催に関する事項
  - (カ) 議会報告会の企画運営及び市民意見の取扱いに関する事項
  - (キ) その他議会の広報に関する事項
- イ 任期 2年

(5) 議会改革推進会議（協議又は調整を行うための場）

ア 所管事項

- (ア) 飯田市議会の改革に関する調査研究
- (イ) 議会改革・運営ビジョン（平成22年3月22日決定）の実践状況の検証
- (ウ) 議長又は議会運営委員会から諮問された事項に関する調査審議
- (エ) その他推進会議の設置の目的のために必要な事項

イ 任期 2年

(6) 議員

ア 任期 令和3年4月28日から令和7年(2025年)4月27日まで

イ 条例定数 23人

ウ 現員数 23人

(ア) 党派別

公明党 3人 日本共産党 2人 無所属 18人

(イ) 会派別

新政いいだ 8人 会派きぼう 6人 会派みらい 3人 公明党 3人  
日本共産党 2人 無会派 1人

## 2 議員名簿

番号	氏名	会派	期数	郵便番号	住所	自宅電話等
1	小平 彰	新政いいだ	1	395-0803	鼎下山1063番地5	0265-22-1256
2	下平 恒男	新政いいだ	1	399-2561	駄科1300番地3	0265-26-8045
3	橋爪 重人	新政いいだ	1	399-2607	下久堅南原84番地	0265-29-7173
4	西森 六三	会派きぼう	1	399-1311	南信濃和田1349番地	0260-34-2043
5	宮脇 邦彦	公明党	1	395-0152	育良町3丁目11番地2	0265-53-4465
6	関島 百合	無会派	1	395-0813	毛賀578番地	0265-23-7479
7	市瀬 芳明	日本共産党	1	399-2565	桐林2075番地3	0265-26-6324
8	筒井 誠逸	新政いいだ	1	395-0001	座光寺3507番地	0265-22-1430
9	清水 優一郎	新政いいだ	2	399-2223	千栄531番地	0265-27-4858
10	岡田 倫英	会派きぼう	2	395-0023	江戸浜町3661番地12	0265-48-6074
11	福澤 克憲	会派きぼう	2	395-0025	東中央通5丁目20番地4	0265-53-1285
12	竹村 圭史	会派きぼう	3	395-0244	山本1407番地	0265-25-2247
13	小林 真一	公明党	2	399-2601	虎岩2207番地1	0265-29-8167
14	佐々木 博子	会派みらい	1	395-0806	鼎上山3705番地2	0265-52-2260
15	古川 仁	日本共産党	3	395-0803	鼎下山677番地5	0265-53-3792
16	木下 徳康	新政いいだ	3	395-0813	毛賀366番地	0265-24-4932
17	山崎 昌伸	新政いいだ	3	395-0817	鼎東鼎292番地7	0265-23-0204
18	熊谷 泰人	新政いいだ	3	395-0075	白山通り3丁目391番地1	0265-53-4150
19	新井 信一郎	会派きぼう	5	395-0151	北方3330番地1	0265-25-5181
20	清水 勇	会派きぼう	5	399-2221	龍江2453番地1	0265-27-2569
21	永井 一英	公明党	5	395-0077	丸山町2丁目6725番地14	0265-23-4021
22	井坪 隆	会派みらい	7	395-0004	上郷黒田1826番地	0265-23-6421
23	原 和世	会派みらい	7	395-0244	山本4703番地1	0265-25-1216

### 年齢別議員数

(令和3年5月31日現在)

年齢	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
人員	0	1	4	8	9	1	23

### 当選回数別議員数

(令和3年5月31日現在)

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
人員	9	4	5	0	3	0	2	23

3 正副議長及び各委員会委員名簿

(1) 議長及び副議長

(令和3年5月18日改選)

議 長	井 坪 隆	副 議 長	山 崎 昌 伸
-----	-------	-------	---------

(2) 委員会

(令和3年5月19日改選)

◎印……委員長 ○印……副委員長

委 員 会 名	委 員			
総務委員会 (8人)	◎熊谷 泰人 宮脇 邦彦	○原 和世 筒井 誠逸	小平 彰 古川 仁	西森 六三 新井信一郎
社会文教委員会 (7人)	◎木下 徳康 小林 真一	○岡田 倫英 佐々木博子	関島 百合 山崎 昌伸	福澤 克憲
産業建設委員会 (7人)	◎竹村 圭史 市瀬 芳明	○清水優一郎 清水 勇	下平 恒男 永井 一英	橋爪 重人
予算決算委員会 (22人)	◎山崎 昌伸	○竹村 圭史	ほか議長を除く全議員	
議会運営委員会 (8人)	◎永井 一英 佐々木博子	○清水 勇 木下 徳康	清水優一郎 熊谷 泰人	竹村 圭史 原 和世
リニア推進特別委員会 (8人)	◎新井信一郎 筒井 誠逸	○小林 真一 清水優一郎	小平 彰 岡田 倫英	市瀬 芳明 佐々木博子
広報広聴委員会 (8人)	◎福澤 克憲 関島 百合	○清水 勇 筒井 誠逸	下平 恒男 小林 真一	橋爪 重人 佐々木博子
議会改革推進会議 (8人)	◎古川 仁 橋爪 重人	○永井 一英 西森 六三	小平 彰 岡田 倫英	下平 恒男 佐々木博子

4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿

(1) 監査委員 (選任に同意)

(令和3年5月19日選任)

推 薦 基 準	氏 名
議員から1人を推薦 市長が議会の同意を得る。	原 和世

※ 議会の申し合わせにより任期は2年

## (2) 南信州広域連合議会議員

(令和3年5月19日選任)

推薦基準	任期	氏名
議員から12人 正副議長(2) 3常任委員長(3) 会派按分(7)	4年(議員の任期) (2年で改選)	井坪 隆 山崎 昌伸 熊谷 泰人 木下 徳康 竹村 圭史 清水 優一郎 福澤 克憲 古川 仁 新井信一郎 清水 勇 永井 一英 原 和世

3常任…総務、社会文教、産業建設

## 5 議会選出の各種委員等

## (1) 附属機関等の委員名簿

(令和3年5月19日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
民生委員推薦会 (2人)	社文正副委員長	在職期間	木下 徳康 岡田 倫英
都市計画審議会 (5人)	総務1・社文1 産建2・ リニア1	在職期間	熊谷 泰人 木下 徳康 竹村 圭史 清水 優一郎 新井信一郎
国民保護協議会 (3人)	3常任委員長	在職期間	熊谷 泰人 木下 徳康 竹村 圭史

3常任…総務、社会文教、産業建設

## (2) その他の団体の役員

(令和3年5月19日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
天竜川上流治水促進 期成同盟会	議長	在職期間	【理事】井坪 隆
一般国道151号(飯田～豊 橋)改良促進期成同盟会	議長	在職期間	【理事】井坪 隆
一般国道153号改良期成 同盟会	議長	在職期間	【理事】井坪 隆
国道153号飯田南バイパス 整備促進期成同盟会	議長	在職期間	【監事】井坪 隆
長野県南部国道連絡会	議長	在職期間	【会員】井坪 隆
JR飯田線活性化期成同 盟会	議長 (南信州広域連合議長)	在職期間	【副会長】井坪 隆
リニア中央新幹線建設 促進飯伊地区期成同盟会 (7人)	正副議長 監査委員 3常任・リニア 推進特別委員長	在職期間	【副会長】井坪 隆 【監事】原 和世 【理事】山崎 昌伸 熊谷 泰人 木下 徳康 竹村 圭史 新井信一郎
国道152号整備促進 期成同盟会(2人)	議長 産建委員長	在職期間	【理事】井坪 隆 竹村 圭史

国道256号改良促進 期成同盟会（3人）	正副議長 産建委員長	在職期間	【理事】井坪 隆 山崎 昌伸 竹村 圭史
国道418号整備促進 期成同盟会（4人）	正副議長 産建正副委員長	在職期間	【監事】井坪 隆 【理事】山崎 昌伸 竹村 圭史 清水優一郎
三遠南信自動車道飯喬道 路3工区建設促進期成同 盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍江	在職期間 在任期間	【顧問】井坪 隆 山崎 昌伸 竹村 圭史 清水優一郎 【地区】橋爪 重人 小林 真一 清水 勇
三遠南信道路建設促進 南信地域期成同盟会 （3人）	正副議長 監査委員	在職期間	【副会長】井坪 隆 【理事】山崎 昌伸 【監事】原 和世
主要地方道飯田富山佐久 間線改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍江	在職期間 在任期間	【監事】井坪 隆 【理事】山崎 昌伸 竹村 圭史 清水優一郎 【地区】橋爪 重人 小林 真一 清水 勇
主要地方道飯島飯田線 改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 座光寺・上郷・橋北 ・橋南・羽場・丸山・ 東野・鼎・伊賀良	在職期間 在任期間	【監事】井坪 隆 【理事】山崎 昌伸 竹村 圭史 清水優一郎 【地区】筒井 誠逸 岡田 倫英 福澤 克憲 熊谷 泰人 永井 一英 小平 彰 佐々木 博子 古川 仁 宮脇 邦彦 新井信一郎
主要地方道飯田南木曾線 改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場・ 丸山・東野	在職期間 在任期間	【監事】井坪 隆 【理事】山崎 昌伸 竹村 圭史 清水優一郎 【地区】岡田 倫英 福澤 克憲 熊谷 泰人 永井 一英
県道上飯田線改良促進期 成同盟会	議長 地区出身議員 座光寺	在職期間 在任期間	【理事】井坪 隆 【地区】筒井 誠逸
飯田市遠山郷国道整備促 進期成同盟会	地区出身議員 上村・南信濃	在任期間	【顧問】西森 六三
県道田中乱橋線改良促進 期成同盟会	地区出身議員 川路・山本・三穂	在任期間	【顧問】竹村 圭史 原 和世
県道親田中村線改良促進 期成同盟会	地区出身議員 山本・三穂・伊賀 良	在任期間	【顧問】竹村 圭史 原 和世 宮脇 邦彦 新井信一郎
広域幹線林道千遠線 開設期成同盟会（2人）	議長 産建委員長	在職期間	【委員】井坪 隆 竹村 圭史
松尾浄化管理センター 連絡協議会	正副議長 産建委員長 地区出身議員 松尾	在職期間	【委員】井坪 隆 山崎 昌伸 竹村 圭史 【地区】関島 百合 木下 徳康
伊那テクノバレー地域 センター地域協議会	議長	在職期間	【地域協議会委員】井坪 隆

3 常任・・・総務、社会文教、産業建設

## (3) 議員による任意の団体

名 称	基準	任期	氏 名
森林・林業・林産業活性化 促進議員連盟 (林業活性化推進飯田市 議員連盟)	各会派1 ※5名以上の会 派は2	2年	【会 長】古川 仁 【副会長】岡田 倫英 【幹 事】下平 恒男 橋爪 重人 宮脇 邦彦 佐々木博子 【会 員】全市議会議員
飯伊地区森林・林業・林 産業活性化促進議員連盟	※R3年から上 記会長が監事 となる 全市議会議員	2年	【監 事】古川 仁 【会 員】全市議会議員
スポーツ振興議員連盟	各会派1 ※5名以上の会 派は2	2年	【会 長】清水 勇 【副会長】小平 彰 【幹事長】熊谷 泰人 【事務局長】宮脇 邦彦 【幹 事】市瀬 芳明 佐々木博子 【会 員】全市議会議員
三遠南信、浜松三ヶ日・豊 橋道路建設促進議員協議会	賛同議員	在任期間	【会 員】全市議会議員

## 6 各会派及び各会派の代表者氏名

会 派 名	代表者名	議員数	会 派 名	代表者名	議員数
新 政 い い だ	熊谷 泰人	8	会 派 き ぼ う	清水 勇	6
会 派 み ら い	原 和世	3	公 明 党	永井 一英	3
日 本 共 産 党	古川 仁	2	無 会 派	関島 百合	1

### Ⅲ 市議会の活動

#### 1 市議会の活動状況

##### (1) 市議会招集回数10か年比較表

区 分		年 次									
		平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
招集回数	定例会	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	臨時会	2	0	1	1	1	0	1	0	1	2
会期日数		105	101	101	93	102	98	100	99	97	108
本会議日数		18	17	19	18	18	17	19	17	19	18
議案件数		287	218	228	226	208	172	173	194	198	176

##### (2) 議会開会状況（令和2年1月から令和2年12月まで）

	会 議	会 期	会期日数	本会議日数
1	第1回定例会	令和2年 2月25日 ~ 3月19日	24	4
2	第1回臨時会	令和2年 5月 1日 ~ 5月 1日	1	1
3	第2回定例会	令和2年 5月26日 ~ 6月22日	28	3
3	第2回臨時会	令和2年 8月 4日 ~ 8月 4日	1	1
4	第3回定例会	令和2年 8月25日 ~ 9月23日	30	4
5	第4回定例会	令和2年 11月25日~12月18日	24	5
計			108	18

## (3) 議会審議状況（令和2年1月から令和2年12月まで）

区分		会別	第1回 定例会	第1回 臨時会	第2回 定例会	第2回 臨時会	第3回 定例会	第4回 定例会	計
市長 提出議案	予算・決算		22	2	5	2	19	9	59
	条例		9	0	14	0	2	6	31
	その他		11	0	8	0	8	13	40
	計(A)		42	2	27	2	29	28	130
議員又は 委員会 提出議案	条例		0	0	1	0	0	1	2
	その他		0	0	2	0	1	4	7
	計(B)		0	0	3	0	1	5	9
報告	専決処分		0	15	2	1	2	4	24
	その他		0	0	12	0	1	0	13
	計(C)		0	15	14	1	3	4	37
審議件数(A+B+C)			42	17	44	3	33	37	176
議決状況	原案可決（同意・ 認定・承認を含む）		42	14	32	3	30	33	154
	報告（議決を要し ないもの）		0	3	12	0	3	4	22
	修正可決								0
	否決								0
	継続審査								0
	審議未了								0



## 2 報酬その他

### (1) 報酬

(令和3年4月1日時点)

役 職	報酬月額	役 職	給料月額
議 長	499,000 円	市 長	925,000 円
副議長	436,000 円	副市長	760,000 円
議 員	407,000 円	教育長	669,000 円
改定日	平成 11 年 4 月 1 日	改定日	平成 27 年 12 月 24 日

### 報酬額の改定推移

(単位：千円)

種 別	改定年月日									
	S61 4.1	S62 4.1	S63 4.1	H 1 4.1	H 3 4.1	H 4 4.1	H 5 4.1	H 7 10.1	H 9 7.1	H11 4.1
議 長	331	339	352	369	413	437	469	485	494	499
副 議 長	278	285	296	310	352	372	410	424	432	436
議 員	259	266	277	290	325	343	383	396	403	407

### (2) 期末手当

6 月期支給額 報酬×1.45×167.5/100

12月期支給額 報酬×1.45×167.5/100

### (3) 費用弁償

(6)の表の規定に基づき往復の交通費のみ支給する。

### (4) 研修旅費

議 員 1 人 当 り 年 額	
常 任 委 員 会	実 費
議 会 運 営 委 員 会	実 費

### (5) 政務活動費

議員 1 人当り年額140,000円

## (6) 飯田市議員等の旅費額

(平成3年4月1日改正)

旅費の区分 職務の区分	車 賃		日 当	宿 泊 料		食卓料 (1夜につき)
	交通機関 のある場 合	交通機関 のない場 合(1キロメ ートルにつき)		県内	県外	
議員、教育委員、選挙管理委員、 公平委員、監査委員、農業委員、 選挙長、固定資産評価審査委員及 び固定資産評価員	実費	円 37	円 2,600	円 11,800	円 13,100	円 2,600

## 3 定期刊行物

## (1) 飯田市議会だより

ア 創刊 昭和46年4月1日

イ 発行回数 年4回(4月、7月、10月及び1月(定例会終了の翌月)。このほか臨時号)

ウ 発行部数 各32,000部

エ 印刷 オフセット印刷(A4版 1回平均12ページ)160号から表紙、裏表紙のみカラー刷り

## (2) 飯田市議会要覧

ア 発行回数 年1回(例年6月発行)

イ 発行部数 150部

## 4 市議会会議録

## (1) 各定例会及び臨時会の会議録

ア 発行回数 年4回(次回定例会の招集日までに発行)

イ 発行部数 31部

ウ 印刷 オフセット印刷(A4版)

## (2) 全員協議会、常任委員会及び特別委員会の会議録

発行部数 1部

## (3) 会議録検索システム

ア 平成4年第2回定例会以降の本会議、全員協議会、各委員会のデータが検索可能

イ 平成15年11月から、インターネットによる会議録検索に対応

## 5 議会事務局の事務分掌

### (1) 庶務係

- ア 公印の管理に関する事。
- イ 文書の収受、発送及び保存に関する事。
- ウ 予算及びその経理に関する事。
- エ 議員の身分、人事、福利厚生、共済等に関する事。
- オ 議員の報酬、費用弁償等に関する事。
- カ 議長会等に関する事。
- キ 儀式及び交際に関する事。
- ク 議会関係各室の管理に関する事。
- ケ 職員の人事、服務、給与等に関する事。
- コ 議決証明等に関する事。
- サ 物品の出納保管に関する事。
- シ 議会乗用車の管理に関する事。
- ス 他の係の所管に属さない事項に関する事。

### (2) 議事係

- ア 本会議に関する事。
- イ 常任委員会、特別委員会、協議会等に関する事。
- ウ 議会において行う選挙等に関する事。
- エ 公聴会、参考人等に関する事。
- オ 議案その他付議事件に関する事。
- カ 議員の出欠席に関する事。
- キ 議事日程及び諸報告に関する事。
- ク 請願及び陳情に関する事。
- ケ 会議録その他の会議記録の調製及び保管に関する事。
- コ 議会の傍聴に関する事。
- サ その他議事に関する事。

### (3) 調査係

- ア 議会、委員会等から命じられた事項の調査に関する事。
- イ 市政の調査及び研究に関する事。
- ウ 各種資料の収集、整理及び発行に関する事。
- エ 議員の研修に関する事。
- オ 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。
- カ 法令等の調査研究に関する事。
- キ 議会広報に関する事。
- ク 照会事項の回答に関する事。
- ケ 議会図書室に関する事。
- コ 視察に関する事。

#### IV 飯田市の概要

##### 1 令和3年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要

令和3(2021)年度 飯田市各会計予算の総額

会 計 名		予 算 額		比 較	
		3年度(A)	2年度(B)	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
一 般 会 計		47,470,000	45,880,000	1,590,000	3.5
国民健康保険特別会計	事業勘定	9,087,200	8,848,000	239,200	2.7
	直診勘定	4,800	4,800	0	0.0
後期高齢者医療特別会計		1,491,900	1,485,100	6,800	0.5
介護保険特別会計		11,892,800	11,946,700	△ 53,900	△ 0.5
地方卸売市場事業特別会計		18,000	16,000	2,000	12.5
駐車場事業特別会計		61,900	70,500	△ 8,600	△ 12.2
墓地事業特別会計		12,600	29,800	△ 17,200	△ 57.7
介護老人保健施設事業特別会計		715,600	701,000	14,600	2.1
ケーブルテレビ放送事業特別会計		78,700	78,000	700	0.9
病院事業会計		16,553,000	15,876,000	677,000	4.3
水道事業会計		3,645,600	4,123,800	△ 478,200	△ 11.6
下水道事業会計		5,867,400	6,016,000	△ 148,600	△ 2.5
特別会計の計		49,429,500	49,195,700	233,800	0.5
計		96,899,500	95,075,700	1,823,800	1.9

(単位:千円、%)

主  な  内  容	
	一般
保険給付費 6,589,626 事業費納付金 2,251,714 総務費 130,641 保健事業費 72,113	国保
三穂診療所、上村歯科診療所	
後期高齢者医療広域連合納付金 1,454,763	後高
保険給付費 11,214,993 地域支援事業費 361,086	介護
卸売市場費 15,878	市場
市営駐車場の管理運営 61,247	駐車
霊園の管理運営 10,752	墓地
施設管理費 645,573 施設事業費 70,027	老施
竜東維持管理費 51,195 遠山郷維持管理費 26,375	ケテ
収益的収入 13,604,000 収益的支出 14,234,000 資本的収入 1,486,600 資本的支出 2,319,000	病院
収益的収入 2,087,100 収益的支出 1,949,700 資本的収入 467,100 資本的支出 1,695,900	水道
収益的収入 3,713,000 収益的支出 3,405,400 資本的収入 928,000 資本的支出 2,462,000	下水
	特会
	計

令和3(2021)年度 一般会計 歳入 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の 構成比	増 減	
	3年度(A)	2年度(B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	12,152,000	13,118,000	25.6	△ 966,000	△ 7.4
2 地 方 譲 与 税	463,000	490,000	1.0	△ 27,000	△ 5.5
3 利 子 割 交 付 金	10,000	10,000	0.0	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	43,000	34,000	0.1	9,000	26.5
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	29,000	30,000	0.1	△ 1,000	△ 3.3
6 法 人 事 業 税 交 付 金	118,000	95,000	0.2	23,000	24.2
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,493,000	2,344,000	5.3	149,000	6.4
8 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	35,000	36,000	0.1	△ 1,000	△ 2.8
9 地 方 特 例 交 付 金	519,000	80,000	1.1	439,000	548.8
10 地 方 交 付 税	11,195,000	11,212,000	23.6	△ 17,000	△ 0.2
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	15,000	15,000	0.0	0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	338,395	380,714	0.7	△ 42,319	△ 11.1
13 使 用 料 及 び 手 数 料	570,764	610,240	1.2	△ 39,476	△ 6.5
14 国 庫 支 出 金	6,401,886	6,092,147	13.5	309,739	5.1
15 県 支 出 金	3,389,769	3,022,213	7.1	367,556	12.2
16 財 産 収 入	390,229	62,191	0.8	328,038	527.5
17 寄 附 金	338,700	208,050	0.7	130,650	62.8
18 繰 入 金	1,182,067	1,058,916	2.5	123,151	11.6
19 繰 越 金	600,000	600,000	1.3	0	0.0
20 諸 収 入	2,392,590	2,827,629	5.0	△ 435,039	△ 15.4
21 市 債	4,793,600	3,553,900	10.1	1,239,700	34.9
合 計	47,470,000	45,880,000	100.0	1,590,000	3.5

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

主 内 容	増減(A)-(B)の主な内容	
市民税 5,260,000 (個人 4,511,000 法人 749,000) 固定資産税 5,259,000 都市計画税 637,000 軽自動車税 401,000 市たばこ税 592,000 入湯税 3,000	市税は現年課税分で比較 個人 △374,000 法人 △87,000 固定資産税 △503,000 都市計画税 △37,000 軽自動車税 19,000 市たばこ税 16,000	市税
地方揮発油 109,000 自動車重量 310,000 森林環境 44,000	自動車重量 △18,000 揮発油 △9,000	地譲
		利子
	配当割交付金 9,000	配当
	株式等譲渡所得割交付金 △1,000	株式
	法人事業税交付金 23,000	法事
消費税率10%に引上げによる増収分1,359,818千円は全額を社会保障施策に充当 (充当内訳:社会福祉 829,023 社会保険 459,584 保健衛生 71,211)	地方消費税交付金 149,000	消費
	環境性能割交付金 △1,000	環性
地方特例交付金 102,000 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 337,000	感染症対策地方税減収補填特別交付金 337,000 地方特例交付金 102,000	地特
普通交付税 10,195,000 特別交付税 1,000,000	普通交付税 △17,000	地交
		交通
民生費負担金 299,424 (保育料等 210,731 老人措置 79,188) 総務費負担金 22,309 (戸籍システム共同利用 17,511) 土木費負担金 14,887(道路改良事業負担金)	道路改良事業負担金 14,887 データ放送システム共同利用負担金 △15,203 非補助土地改良事業分担金 △ 50,000	分負
ごみ処理手数料 163,312 住宅使用料 147,293 道路河川占用料 37,500 休日夜間急患診療所使用料 34,774 文化会館使用料 19,245 戸籍手数料 18,037 地域振興住宅使用料 16,318 住民票手数料 12,888 南信濃温泉交流施設使用料 12,000	南信濃温泉交流施設使用料 △20,700 休日夜間急患診療所使用料 △7,732 住宅使用料 △4,050 住民票手数料 △1,587 飯田運動公園使用料 △1,397	使手
<b>【負担金】</b> 民生費 4,363,557 (民間保育所 1,270,831 障がい児・者 1,208,544 児童手当 1,113,912 生活保護 511,625 児童扶養 136,984) 衛生費 60,878 (保険基盤安定) 災害復旧費 337,035 (公共土木施設災害)	公共土木施設災害復旧事業負担金 261,664 暮らし・にぎわい再生事業補助金 200,000 重層の支援体制整備事業交付金 116,333 社会資本整備総合交付金(地域住宅支援) 89,686 道路メンテナンス事業補助金 88,000 民間保育所等整備交付金 72,472 社会資本整備総合交付金(道路整備) 62,050 ICアクセス道路整備事業補助金 △254,650 社会資本整備総合交付金(街路事業) △136,565 防災・安全交付金(道路事業) △70,740 道整備交付金 △36,500 児童手当負担金 △34,808 学校施設環境改善交付金 △22,330 子ども・子育て支援交付金 △21,807	国費
<b>【補助金】</b> 総務費 290,983 (リニア 238,156 社会保険・税番号制度 41,852) 民生費 342,741 (子ども・子育て 43,193 地域生活支援 36,421) 衛生費 21,363 (成人保健 6,249 環境保全 5,581 母子保健 5,386) 商工費 202,070 (まちづくり推進 200,000 観光 2,070) 土木費 700,711 (道路 461,380 橋りょう 88,000 公園 24,000) 消防費 11,575 (災害対策) 教育費 53,623 (小・中学校 22,240 文化財保護 19,495)	地域医療介護総合確保基金補助金 305,431 農業施設補助災害復旧事業補助金 108,000 重層の支援体制整備事業交付金 54,976 衆議院議員選挙委託金 40,836 地域外来・検査センター事業委託金 33,574 信州農業6次産業化推進事業補助金 30,000 認定こども園施設整備事業補助金 28,087 勤労者福祉施設改修等補助金 △135,443 民有林道改良事業補助金 △33,885 統計調査委託金(臨時調査) △31,412 市町村合併特例交付金 △27,160	県費
<b>【負担金】</b> 民生費 1,696,197 (民間保育所 635,415 障がい児・者 587,640 児童手当 243,371 後期高齢者医療 196,574) 衛生費 208,339 (保険基盤安定)	地域医療介護総合確保基金補助金 305,431 農業施設補助災害復旧事業補助金 108,000 重層の支援体制整備事業交付金 54,976 衆議院議員選挙委託金 40,836 地域外来・検査センター事業委託金 33,574 信州農業6次産業化推進事業補助金 30,000 認定こども園施設整備事業補助金 28,087 勤労者福祉施設改修等補助金 △135,443 民有林道改良事業補助金 △33,885 統計調査委託金(臨時調査) △31,412 市町村合併特例交付金 △27,160	県費
<b>【補助金】</b> 総務費 17,592 (合併特例交付金 11,240 就業移住支援金 2,500) 民生費 746,746 (老人福祉 310,878 医療費給付 207,245 民間保育所 96,934 地域子育て支援 45,223) 農林費 246,146 (林業振興 75,646 農政対策 77,652 農業振興 67,769 農地 13,800 農業委員会 8,054 国土調査 3,225)	地域医療介護総合確保基金補助金 305,431 農業施設補助災害復旧事業補助金 108,000 重層の支援体制整備事業交付金 54,976 衆議院議員選挙委託金 40,836 地域外来・検査センター事業委託金 33,574 信州農業6次産業化推進事業補助金 30,000 認定こども園施設整備事業補助金 28,087 勤労者福祉施設改修等補助金 △135,443 民有林道改良事業補助金 △33,885 統計調査委託金(臨時調査) △31,412 市町村合併特例交付金 △27,160	県費
<b>【委託費】</b> 総務費 241,171 (県民税 166,110 衆議員・参議院議員選挙 63,719)	市町村合併特例交付金 △27,160	県費
不動産売払収入 343,510 基金運用収入 31,975 財産貸付収入 14,176	土地売払収入 318,297 建物売払収入 12,292	財産
ふるさと寄附金 330,000 工業振興寄附金 3,700 奨学資金 3,000	ふるさと寄附金 130,000	寄附
財調 260,000 減債 400,000 ふるさと 87,550 リニア 223,091 森林経営管理 44,000 過疎 41,469 介護保険特別会計 34,856 保健休養施設 28,098 社会福祉施設 17,000 地域雇用 16,823	財調 △140,000 減債 120,000 ふるさと 70,422 介護保険特別会計 34,856 保健休養施設 28,098 森林経営管理 22,000 地域雇用 △11,714	繰入
		繰越
貸付金元利収入 1,572,454 (商工制度資金 1,400,000 生活資金 150,000) 受託事業収入 170,394 (中央新幹線用地取得事務 85,050) 雑入 646,642	JR東海負担金 △381,622 農業資金貸付預託金回収金 △40,000 勤労者生活教育資金貸付預託金回収金 △20,000	諸収
過疎対策事業債 107,600 公共交通体系 40,600 観光 21,100 林道 14,500 教育 13,400 その他 4,686,000 土木 923,800 教育 740,100 総務 289,500 消防 248,500 災害復旧 209,000 商工 207,100 民生 164,300 農林 88,800 衛生 24,900 臨時財政対策債 1,790,000	公共施設等適正管理 659,700 臨時財政対策 562,000 過年発生補助災害 175,200 公営住宅建設 105,000 地方道路等整備 42,600 国土保全 41,700 上水道 △86,200 防災・減災・国土強靱化 △74,600 緊急防災・減災 △72,900 地域活性化 △64,000 公共事業等 △62,400	市債

令和3(2021)年度 一般会計 目的別歳出 (主要内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の構成比	増 減	
	3年度 (A)	2年度 (B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費	274,552	277,234	0.6	△ 2,682	△ 1.0
2 総 務 費	5,904,476	5,721,935	12.4	182,541	3.2
3 民 生 費	15,934,516	15,169,324	33.6	765,192	5.0
4 衛 生 費	4,739,560	4,640,072	10.0	99,488	2.1
5 労 働 費	232,337	381,779	0.5	△ 149,442	△ 39.1
6 農 林 水 産 業 費	1,127,265	1,276,134	2.4	△ 148,869	△ 11.7
7 商 工 費	2,875,955	2,452,399	6.1	423,556	17.3
8 土 木 費	4,815,225	5,203,049	10.1	△ 387,824	△ 7.5
9 消 防 費	1,530,788	1,570,422	3.2	△ 39,634	△ 2.5
10 教 育 費	4,376,744	4,096,554	9.2	280,190	6.8
11 災 害 復 旧 費	689,600	117,300	1.4	572,300	487.9
12 公 債 費	4,844,747	4,861,367	10.2	△ 16,620	△ 0.3
13 諸 支 出 金	84,235	72,431	0.2	11,804	16.3
14 予 備 費	40,000	40,000	0.1	0	0.0
合 計	47,470,000	45,880,000	100.0	1,590,000	3.5

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。



主 内 容	増 減 の 主 な 内 容	
議会費 274,552	議員人件費 △2,725 事務局職員人件費 99	議会
リニア代替地整備事業 784,989 リニア駅周辺整備事業 439,184 住民情報システム管理費 233,045 ふるさと飯田応援隊募集事業 183,378 総務一般管理費 161,047 市民バス等運行業務 160,902 リニア推進事業 117,631 地域自治支援事業 110,037 南信州広域連合負担金(一般会計) 102,599 自治振興センター管理費 79,440 課税事務委託費 78,554 情報管理費 76,986 情報セキュリティ対策事業 50,318 市議会議員選挙 38,260 社会保障・税番号制度事業 37,061	リニア代替地整備事業 213,006 ふるさと飯田応援隊募集事業 72,898 住民情報システム管理費 61,556 情報管理費 36,550 衆議院議員選挙 35,900 情報セキュリティ対策事業 35,756 市議会議員選挙 33,402 市民バス等運行業務 23,279 リニア推進事業 △116,308 自治振興センター管理費 △77,498 市長選挙 △36,991 リニア駅周辺整備事業 △30,177 データ放送システム運営事業 △29,697 臨時統計調査 △29,194	総務
民間保育所等運営費 2,700,218 介護保険特別会計繰出金 1,715,153 児童手当費 1,600,655 後期高齢者医療関係一般経費 1,196,580 総合支援介護給付事業 1,112,103 総合支援訓練等給付事業 776,538 生活保護措置費 682,167 児童扶養手当費 410,952 障害児通所支援費 400,698 養護老人ホーム措置事業 348,167 介護医療院整備補助事業 305,431 後期高齢者医療特別会計繰出金 293,266	介護医療院整備補助事業 305,431 民間保育所等施設整備事業 189,959 地域包括支援センター運営事業 140,089 後期高齢者医療関係一般経費 48,815 総合支援訓練等給付事業 36,392 障害児通所支援費 29,288 児童養護施設・乳児院整備事業 25,732 公立保育所施設整備事業 25,717 一時預かり・特定保育事業 20,018 民間保育所等運営費 △60,684	民生
病院事業会計負担金 1,374,428 国民健康保険特別会計繰出金 545,472 南信州広域連合負担金(焼却場) 446,763 ごみ収集処理費 299,855 水道費 293,764 予防接種事業 268,412 妊婦健診事業 102,013 南信州広域連合負担金(竜水園) 95,807 ごみ減量対策費 92,528 がん検診事業 74,939	病院事業会計負担金 68,162 南信州広域連合負担金(焼却場) 66,920 地域外来・検査センター事業 58,695 国民健康保険特別会計繰出金 36,197 予防接種事業 21,360 感染症検査補助事業 11,118 不妊治療費助成事業 10,024 水道費 △122,188 保健施設管理費 △34,099 南信州広域連合負担金(竜水園) △25,515	衛生
勤労者協調融資事業 150,000 勤労者福祉センター管理費 21,186 飯田勤労者共済会補助事業 12,914 労働諸費 12,537	労働諸費 4,700 勤労者福祉センター管理費 △134,933 勤労者協調融資事業 △20,000	労働
市単土地改良事業 103,985 林道改良事業(補助) 88,675 農業基盤整備資金償還補助事業 60,040 国土保全特別対策事業 52,293 森林経営管理事業 41,870 農作物鳥獣被害対策事業 37,912 意欲ある農業者支援事業 31,670 中山間地域等直接支払事業 31,195 6次産業化推進事業 30,000 林道開設事業 24,134 農業委員会活動推進事業 22,918 分収造林事業 22,638 新規就農者支援事業 21,698	国土保全特別対策事業 46,395 6次産業化推進事業 30,000 森林経営管理事業 22,000 林道改良事業費(補助) △64,777 非補助土地改良事業 △50,000 農業水利施設保全管理整備事業 △46,104 意欲ある農業者支援事業 △35,173 林道舗装事業 △31,883 国土調査事業(補助) △16,426	農林
中小企業金融対策事業 1,501,200 中心市街地活性化推進事業 405,655 産業用地整備事業 105,956 工業振興一般経費 90,082 地域産業等振興事業 61,530 上村観光施設管理費 49,871 企業立地促進事業補助金 40,000 南信濃温泉交流施設管理費 37,981 観光施設管理費 34,708	中心市街地活性化推進事業 395,996 産業用地整備事業 84,068 観光施設整備事業 27,182 企業立地促進事業補助金 △35,958 次世代を担う産業人材育成事業 △19,530 観光まつり振興事業 △14,927	商工
下水道費 1,539,800 防災・安全交付金事業(通学路安全対策) 414,600 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 379,700 公営住宅整備事業(補助) 247,717 道路補修事業 228,552 道路舗装補修事業 212,536 道路メンテナンス事業 164,993 市道改良事業 96,038 防災対策避難路整備事業 96,000 除雪費 92,954 住宅管理一般経費 84,939	防災・安全交付金事業(通学路安全対策) 289,600 公営住宅整備事業(補助) 194,837 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 122,800 改築補助事業 △463,000 下水道費 △247,600 道路メンテナンス事業 △124,628 防災・安全交付金事業費(道路整備) △100,000 道整備交付金事業 △73,000	土木
南信州広域連合負担金(消防) 982,801 防災対策推進事業 208,213 消防団運営事業 178,714 消防体制強化整備事業(単独) 34,584	消防団詰所整備事業 32,984 防災対策推進事業 △47,951 消防体制強化整備事業(単独) △28,542	消防
学校空調設備整備事業(中) 445,200 学校施設大規模改修事業(小・中) 216,400 情報通信技術活用教育推進事業(小・中) 199,134 調理業務委託費 195,343 学校管理一般経費(小・中) 185,162 学校教育振興事業 159,440 体育施設管理費 126,938 公民館管理・運営費 109,767 学校給食事業 104,938 美術博物館管理費 59,555	学校空調設備整備事業(中) 445,200 学校施設大規模改修事業(小・中) 109,870 中学校校舎外壁改修事業 △67,000 美術博物館管理費 △58,216 図書館管理・運営費 △39,825 公民館改修事業 △22,523 教員指導力向上事業 △21,882 学校プール改修事業 △21,440 恒川遺跡群保存活用事業(補助) △20,850	教育
土木施設補助災害復旧事業 392,300 過年発生農業施設補助災害復旧事業 180,000	土木施設補助災害復旧事業 392,300 過年発生農業施設補助災害復旧事業 180,000	災害
長期債元金 4,672,356 長期債利子 172,391	元金 △4,792 利子 △11,828	公債
新規積立金 63,762 (森林経営管理基金 44,000 中山間地域振興基金 19,712)	新規積立金 12,292 基金利子積立金 △488	諸支
予備費 40,000		予備

令和3(2021)年度 一般会計 性質別歳出 (主な増減内訳)

	3年度予算額		2年度予算額		増 減	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 人 件 費	7,720,749	16.3	7,667,331	16.7	53,418	0.7
2 扶 助 費	8,978,870	18.9	9,017,785	19.6	△ 38,915	△ 0.4
3 公 債 費	4,844,747	10.2	4,861,367	10.6	△ 16,620	△ 0.3
小 計	21,544,366	45.4	21,546,483	46.9	△ 2,117	0.0
4 物 件 費	5,013,817	10.6	4,694,177	10.2	319,640	6.8
5 維 持 補 修 費	693,706	1.5	729,275	1.6	△ 35,569	△ 4.9
6 補 助 費 等	6,886,163	14.5	6,816,854	14.9	69,309	1.0
7 積 立 金	88,810	0.2	77,551	0.2	11,259	14.5
8 投 資・出 資 金	505,359	1.1	627,025	1.4	△ 121,666	△ 19.4
9 貸 付 金	1,574,214	3.3	1,641,660	3.6	△ 67,446	△ 4.1
10 繰 出 金	3,908,870	8.2	3,803,663	8.3	105,207	2.8
11 投 資 的 経 費	7,214,695	15.1	5,903,312	12.8	1,311,383	22.2
補 助	3,450,237	7.2	2,923,442	6.3	526,795	18.0
単 独	3,764,458	7.9	2,979,870	6.5	784,588	26.3
普 通 建 設 費	6,525,095	13.7	5,786,012	12.6	739,083	12.8
補 助	2,764,937	5.8	2,810,442	6.1	△ 45,505	△ 1.6
単 独	3,760,158	7.9	2,975,570	6.5	784,588	26.4
災 害 復 旧 費	689,600	1.4	117,300	0.2	572,300	487.9
補 助	685,300	1.4	113,000	0.2	572,300	0.0
単 独	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
12 予 備 費	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
合 計	47,470,000	100.0	45,880,000	100.0	1,590,000	3.5

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合がある。

単位：千円、%

増減の主な内容		
会計年度任用職員人件費 52,159 職員給(会計年度任用職員分を除く) 55,492 委員等報酬 △18,351 退職手当 △27,852 市町村共済負担金 △5,167		人件
総合支援訓練等給付事業 36,392 障害児通所支援費 29,288 総合支援医療給付事業 18,793 民間保育所等運営費 △57,930 児童手当費 △49,335 児童扶養手当費 △14,667		扶助
元金 △4,792 利子 △11,828		公債
地域包括支援センター運営事業 140,008 住民情報システム管理費 64,129 情報管理費 36,014 情報セキュリティ対策事業 35,756 ふるさと飯田応援隊募集事業 21,888 予防接種事業 21,222 森林経営管理事業 19,150 情報通信技術活用教育推進事業 18,831 都市公園長寿命化対策事業 18,000 教員指導力向上事業 △21,658 庁内事務システム管理費 △20,991 リニア推進事業 △20,219		物件
道路舗装補修事業 4,796 道路維持管理事業 4,494 道路補修事業 4,334 道路メンテナンス事業 △45,000 除雪費 △4,910 飯田子どもの森公園維持管理費 △3,629		維持
病院事業会計負担金 110,162 工業振興一般経費 85,521 南信州広域連合負担金(焼却場) 66,920 地域エネルギー普及事業 51,263 ふるさと飯田応援隊募集事業 51,010 地域外来・検査センター事業 42,841 下水道費 △247,600 水道費 △42,522 南信州広域連合負担金(竜水園) △25,515		補助
中山間地域振興基金積立金 12,292 特別養護老人ホーム運営基金積立金 258 リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金 △545		積立
水道事業出資金 △79,666 病院事業出資金 △42,000		投資
意欲ある農業者支援事業 △40,000 勤労者協調融資事業 △20,000 奨学金貸与事業 △5,520		貸付
後期高齢者医療広域連合負担金 48,815 国民健康保険特別会計繰出金 36,197 介護老人保健施設事業特別会計繰出金 8,871 介護保険特別会計繰出金 8,096		繰出
		投資
		補助
		単独
		普建
中心市街地活性化推進事業 400,000 防災・安全交付金事業(通学路安全対策) 289,600 公営住宅整備事業費(補助) 194,837 民間保育所等施設整備事業 189,959 改築補助事業 △463,000 リニア代替地整備事業 △142,109 防災・安全交付金事業(道路整備) △100,000 リニア推進事業 △94,710 道路メンテナンス事業 △79,628 リニア駅周辺整備事業 △76,714 道整備交付金事業 △73,000 中学校校舎外壁改修事業 △67,000		補助
中学校空調設備整備事業 445,200 リニア代替地整備事業 355,115 介護医療院整備補助事業 305,431 小中学校施設大規模改修事業 109,870 産業用地整備事業 84,068 リニア駅周辺整備事業 48,170 勤労者福祉センター管理費 △136,317 自治振興センター管理費 △76,812 美術博物館管理費 △54,806 非補助土地改良事業 △50,000 防災対策推進事業 △48,955 企業立地促進事業補助金 △35,958 保健施設管理費 △33,363 情報通信技術活用教育推進事業 △29,986 データ放送システム運営事業 △29,700 消防体制強化整備事業(単独) △28,542 公民館改修事業 △22,523 公営住宅整備事業(単独) △20,193		単独
		災害
土木施設補助災害復旧事業 392,300 過年発生農業施設補助災害復旧事業 180,000		補助
		単独
		予備

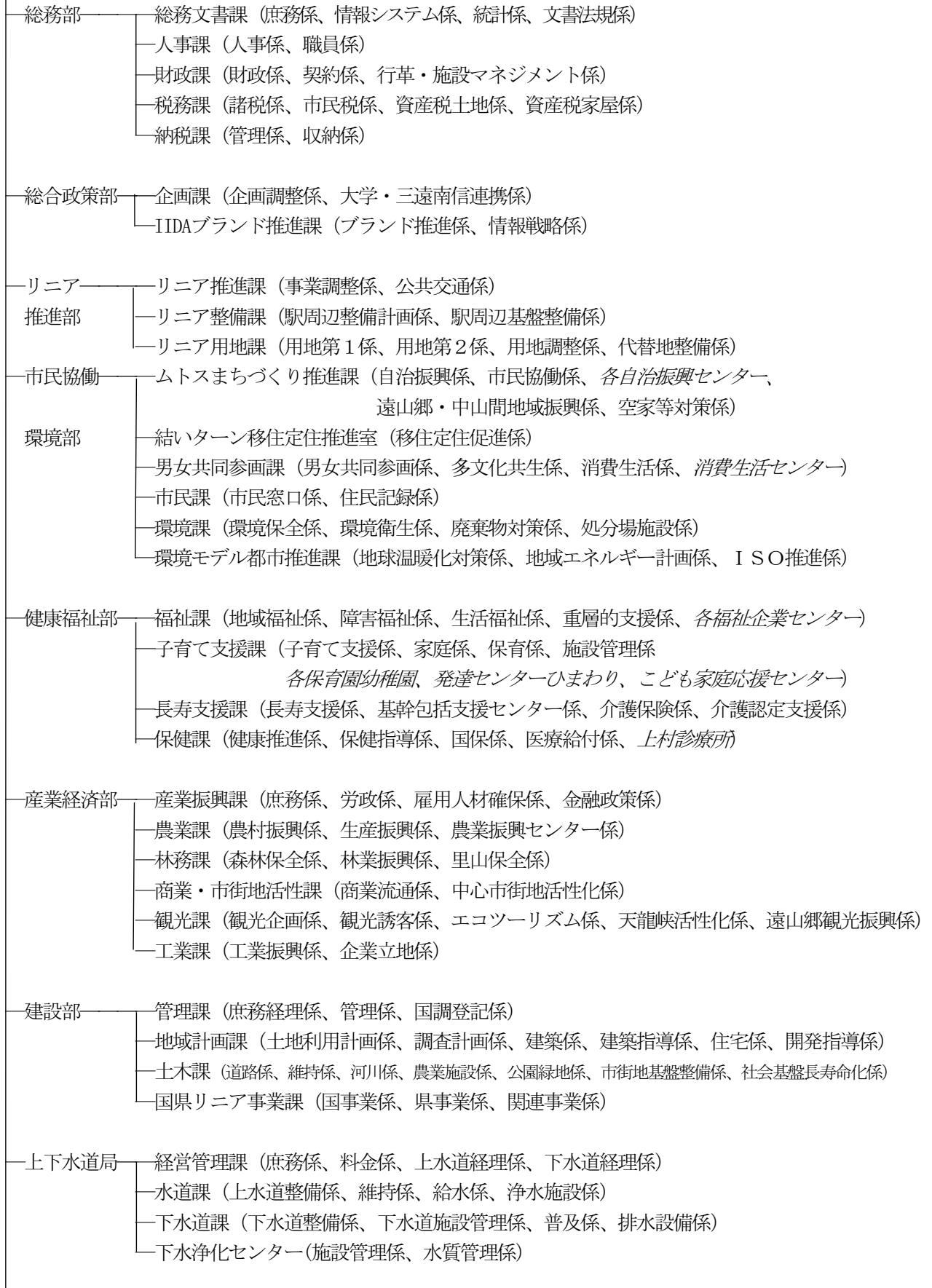
2 飯田市行政組織機構図 (R3. 4. 1)

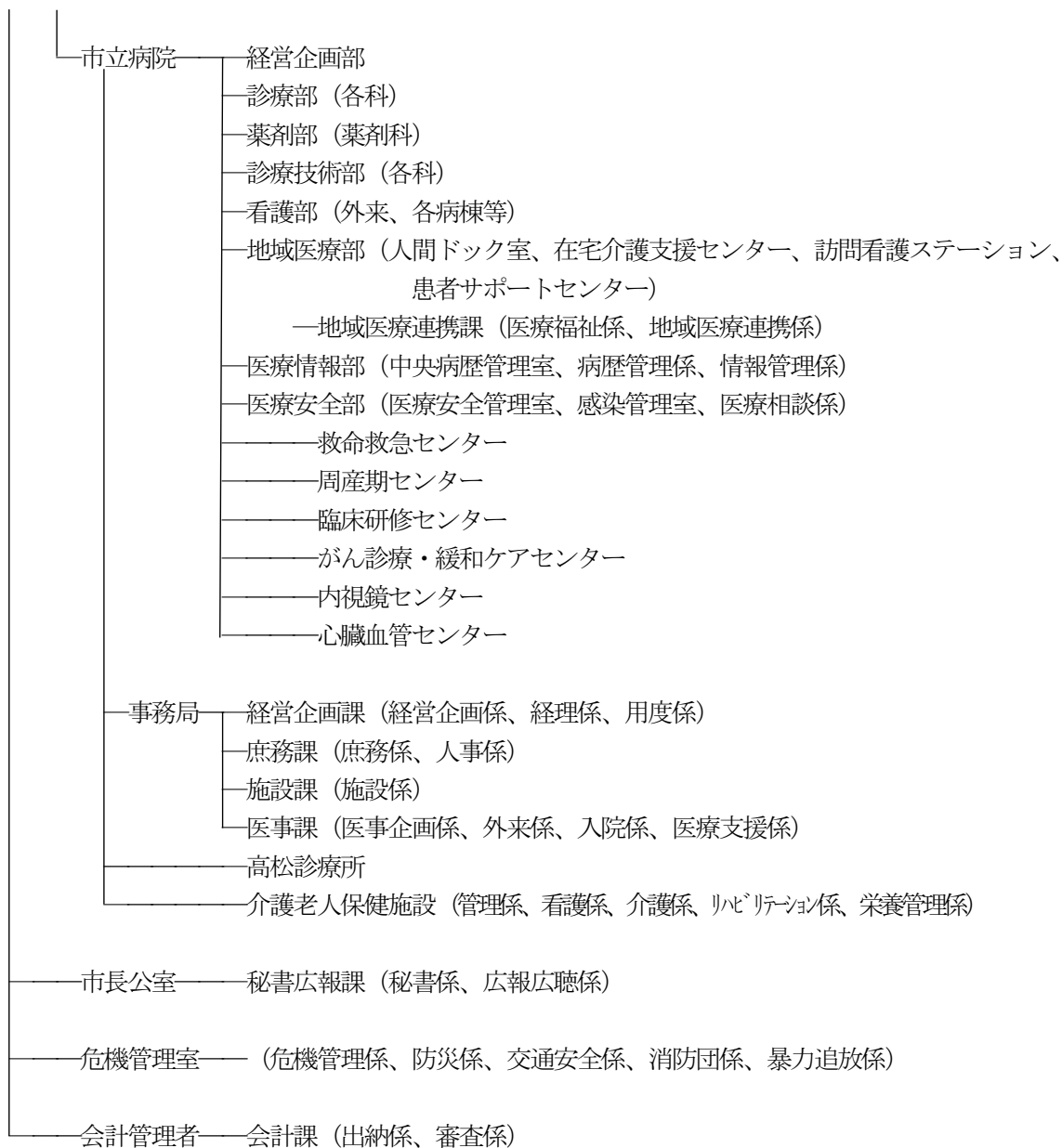
部等 課等 (係・出先機関:正規職員の配置のあるもの)

○市長事務部局

市長

副市長



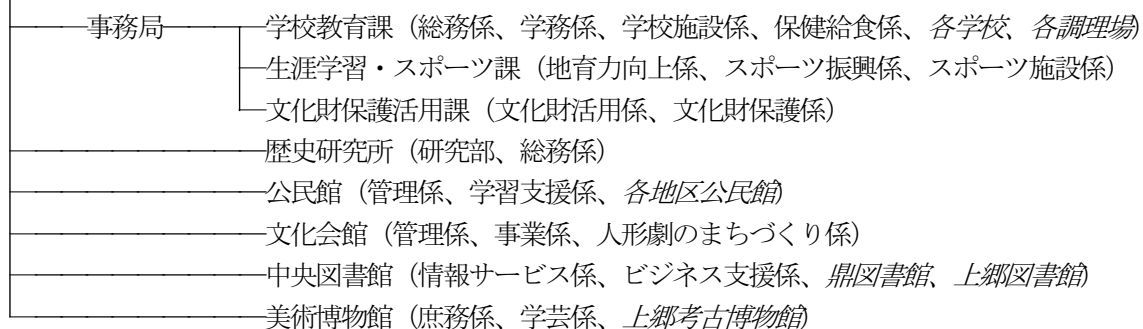


○市議会、行政委員会

市議会事務局 (庶務係、議事係、調査係)

教育委員会

教育長



選挙管理委員会事務局 (選挙係、啓発係)

公平委員会 (事務職員)

監査委員事務局 (監査係)

農業委員会事務局 (農地係、振興係)

固定資産評価審査委員会 (書記)

### 3 職員の定数

(令和3年4月1日現在)

区 分	定 数 (人)	実 数 (人)
市長の事務部局の職員	755	681
議会の事務部局の職員	9	6
教育委員会の事務部局及び教育機関の職員	150	125
選挙管理委員会の事務部局の職員	5	2
公平委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
監査委員の事務部局の職員	4	3
農業委員会の事務部局の職員	16 (市長部局職員兼務8)	5
固定資産評価審査委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
病院事業の職員	750	727
水道事業の職員	32	20
小 計	1,725	1,569
市長部局付派遣職員		
(財)南信州・飯田産業センター		3
(社福)飯田市社会福祉協議会		1
飯田市土地開発公社		-
長野県後期高齢者医療広域連合		1
長野県地方税滞納整理機構		1
飯田市職員労働組合専従		2
小 計		8
派遣職員(自治法派遣)		
南信州広域連合 事務局		6
〃 飯田広域消防		1
〃 飯田環境センター		1
小 計		8
合 計		1,585

## 【 資 料 編 】

### V 市議会のあゆみ

#### 1 市議会議員選挙執行状況

昭和32年4月28日	合併による設置選挙
昭和35年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和36年4月23日	任期満了一般選挙
昭和39年5月15日	龍江・千代・上久堅3か村合併による増員選挙
昭和39年8月28日	伊賀良地区補欠選挙
昭和39年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和40年4月25日	任期満了一般選挙
昭和43年10月20日	補欠選挙
昭和44年4月20日	任期満了一般選挙
昭和47年10月22日	補欠選挙
昭和48年4月22日	任期満了一般選挙
昭和51年10月17日	補欠選挙
昭和52年4月17日	任期満了一般選挙
昭和55年10月19日	補欠選挙
昭和56年4月19日	任期満了一般選挙
昭和60年4月21日	任期満了一般選挙
昭和63年10月16日	補欠選挙
平成元年4月23日	任期満了一般選挙
平成4年10月18日	補欠選挙
平成5年4月25日	任期満了一般選挙
平成5年8月1日	上郷町合併による増員選挙
平成8年10月20日	補欠選挙
平成9年4月20日	任期満了一般選挙
平成12年10月15日	補欠選挙
平成13年4月22日	任期満了一般選挙
平成16年10月24日	補欠選挙
平成17年4月24日	任期満了一般選挙
平成17年10月30日	補欠選挙
平成21年4月19日	任期満了一般選挙
平成25年4月21日	任期満了一般選挙
平成29年4月16日	任期満了一般選挙
令和3年4月25日	任期満了一般選挙

## 2 歴代市議会議員

### (1) 歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	代田源六郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
		昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
		昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
2代	辻 虎松	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
3代	近松 宗一	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
4代	伊原 悦雄	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
		昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
5代	林 昌平	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
		昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
		昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
6代	松嶋 健次	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
7代	平澤 與一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
8代	塩澤 昭	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
9代	竹村 仁實	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
10代	實原 裕	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
11代	今村 八束	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
		平成7. 5. 12	平成9. 4. 27
12代	小林 利一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
		平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
13代	西尾 喜好	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
14代	岩崎 和男	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
15代	熊谷 富夫	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
16代	上澤 義一	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
17代	中島武津雄	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
18代	上澤 義一	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
19代	林 幸次	平成25. 5. 13	平成27. 5. 12
20代	木下 克志	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
21代	清水 勇	平成29. 5. 9	令和元. 5. 14
22代	湯澤 啓次	令和元. 5. 14	令和3. 4. 27
23代	井坪 隆	令和3. 5. 18	



## (2) 歴代副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	伊藤 清	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	片山 均	昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和39. 8. 1
3代	熊谷 一郎	昭和39. 9. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
4代	小林 新吾	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
5代	市村 保人	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
6代	今村 輝男	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
7代	新井 安男	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
8代	林 昌平	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
9代	松江 良夫	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
10代	片桐 勲	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
11代	松江 良夫	昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
12代	平澤 與一	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
13代	細田 直彦	昭和62. 5. 12	昭和63. 11. 10
14代	関島 一郎	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
15代	竹村 仁實	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
16代	松江 良夫	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
17代	内山 照美	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
18代	澤柳辨治郎	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	松島 年一	平成7. 5. 12	平成8. 10. 31
20代	片桐 司郎	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
		平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
21代	中田 佳甫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	牧内 信臣	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
23代	渡 淳	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	林 幸次	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
25代	矢澤 芳文	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	清水 可晴	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
27代	村松まり子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28代	木下 克志	平成25. 5. 13	平成27. 5. 12
29代	木下 容子	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
30代	永井 一英	平成29. 5. 9	令和元. 5. 14
31代	原 和世	令和元. 5. 14	令和3. 4. 27
32代	山崎 昌伸	令和3. 5. 18	

## (3) 歴代総務常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	総務部委員会	木下 章雄	近松 宗一 前島 秀夫	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	大平 節蔵	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	関島彦四郎	北原 正司	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	近松 宗一	前島 秀夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	辻 虎松	松島 健次	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	鳴海 衛	宮嶋 繁	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	総務文教委員会	市村 保人	橋部 肇	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	茂木立好則	前島 成光	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	斉藤 為良	細田 直彦	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	内田 篤	川手 守	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	〃	原 廣男	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐七右衛門	前島 成光	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	細田 直彦	塩澤 文朗	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	竹村 仁實	熊谷 康登	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	今村 八束	今村 淳	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	久保田 元	吉川 昌子	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	松島 年一	今村 淳	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	小林 利一	牧内 信臣	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	吉村徳一郎	渡 淳	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	岩崎 和男	〃	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	熊谷 富夫	小池 清	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	下平 政幸	中島武津雄	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	上澤 義一	村松まり子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	原 勉	森本美保子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	林 幸次	原 和世	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 容子	森本美保子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	総務委員会	清水 勇	原 和世	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
32代	〃	吉川 秋利	古川 仁	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
33代	〃	湊 猛	木下 容子	平成29. 5. 10	令和元. 5. 15
34代	〃	山崎 昌伸	吉川 秋利	令和元. 5. 15	令和3. 4. 27
35代	〃	熊谷 泰人	原 和世	令和3. 5. 19	

※1 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

※2 ※1の議員における常任委員会単独所属については、R1. 5. 14に設置された予算決算常任委員会（議長を除く全議員で構成）においては適用しない

## (4) 歴代社会文教常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	社会部委員会	児島 栄次	久保田安美 宮内 昇	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	実原 徳重	知久陽之祐	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	田口 秀男	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	辻 虎松	漆原 恒実	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	〃	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	漆原 恒実	榊田 太一	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	佐々木清信	松江 良夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	斉藤 宗義	熊谷政一郎	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	林 昌平	伊東 秀彦	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	社会民生委員会	西尾 仁一	松下 茂	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松江 良夫	片桐七右衛門	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	社会委員会	片桐 勲	佐々木文雄	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	松江 良夫	中島 勝美	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	尾沢 貞夫	片桐 芳朗	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	松下 茂	平田 友畝	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	森本 藤登	今村 八束	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	西尾 保雄	吉川 義治	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	〃	小林 利一	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	片桐 司郎	関島 秀夫	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	櫻井 俊夫	西尾 喜好	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	下平 一郎	中田 佳甫	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	中田 佳甫	熊谷 富夫	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	牛山 重一	井坪 隆	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	菅沼 立男	中島武津雄	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	柄澤 紀春	荒木 興利	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	原 勉	森本美保子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	中島武津雄	木下 容子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	森本美保子	村松まり子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 克志	後藤 莊一	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	社会文教委員会	井坪 隆	湯澤 啓次	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
32代	〃	新井信一郎	清水 可晴	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
33代	〃	福沢 清	山崎 昌伸	平成29. 5. 10	令和元. 5. 15
34代	〃	村松まり子	湊 猛	令和元. 5. 15	令和3. 4. 27
35代	〃	木下 徳康	岡田 倫英	令和3. 5. 19	

※1 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

※2 ※1の議員における常任委員会単独所属については、R1. 5. 14に設置された予算決算常任委員会（議長を除く全議員で構成）においては適用しない

## (5) 歴代産業建設常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	産業部委員会	田中 伝	宮下 綱六 宮川藤次郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	小林 新吾	堀 保麿	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	丸山 治郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	葛岡 利治	〃	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	丸山 治郎	松重 新一	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	宮脇 省	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	産業経済部委員会	新井 安男	原 茂	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	今村 輝男	新井 安男	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	林 昌平	原田 正志	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	北原 正司	小松 芳男	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	産業経済委員会	原 茂	佐々木 勝	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	北原 正司	橋部 肇	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	平沢 與一	原 廣男	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	原 康次	林 利実	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	平澤 與一	竹村 仁實	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐 勲	〃	昭和58. 5. 8	昭和59. 10. 14
17代	〃	竹村 仁實	中田 修	昭和59. 10. 26	昭和60. 4. 27
18代	〃	〃	塩澤 昭	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
19代	〃	酒井 米	小林 三郎	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	内山 照美	下平 一郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	下平 一郎	小林 利一	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	〃	伊原 与一	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	佐藤 好英	吉川 義治	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	西尾 喜好	岩崎 和男	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	下平 政幸	熊谷 富夫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
26代	〃	渡 淳	上澤 義一	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
27代	〃	矢澤 芳文	佐々木重光	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
28代	〃	清水 可晴	原 和世	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
29代	〃	原 和世	山崎 紀男	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
30代	〃	木下 克志	木下 容子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
32代	産業建設委員会	吉川 秋利	後藤 莊一	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
33代	〃	永井 一英	湊 猛	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
34代	〃	湯澤 啓次	熊谷 泰人	平成29. 5. 10	令和元. 5. 15
35代	〃	熊谷 泰人	後藤 莊一	令和元. 5. 15	令和3. 4. 27
36代	〃	竹村 圭史	清水優一郎	令和3. 5. 19	

※1 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

※2 ※1の議員における常任委員会単独所属については、R1. 5. 14に設置された予算決算常任委員会（議長を除く全議員で構成）においては適用しない

## (6) 歴代予算決算常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	予算決算委員会	原 和世	村松まり子	令和元. 5. 15	令和3. 4. 27
2代	〃	山崎 昌伸	竹村 圭史	令和3. 5. 19	

※R1. 5. 14から予算決算委員会を常任委員会として設置。従前の総務・社会文教・産業建設各常任委員会での予算・決算、行政評価に関する専門的審査については、それぞれの常任委員会協議会の中で予算決算委員会分科会と位置づけ実施

## (7) 歴代建設環境常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	建設部委員会	辻 虎松	竹内 兵治 伊原 悦雄	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	近松 宗一	林 省三	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	山田 亮一	伊原 悦雄	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	佐々木清信	木下 章雄	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	木下 章雄	新井 安男	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	佐々木清信	林 昌平	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	今牧 照男	〃	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	伊原 悦雄	代田 保雄	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	今牧 照男	茂木立好則	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	新井 安男	大蔵 浜雄	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	建設委員会	茂木立好則	〃	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	斉藤 宗義	今牧 泰三	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	橋部 肇	今村 馨	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	森本 藤登	木下 登	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	今村 馨	熊谷 康登	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	細田 直彦	木下 登	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	関島 一郎	酒井 米	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	〃	實原 裕	昭和62. 5. 12	昭和63. 12. 1
19代	〃	實原 裕	塩澤 昭	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
20代	〃	平田 友畝	澤柳辨治郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	松島 年一	〃	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	吉川 義治	佐藤 好英	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	塩澤 俊彦	伊藤 芳之	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	牧内 信臣	木下 昭一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	實原 公男	久保田平八郎	平成11. 5. 13	平成12. 10. 21
26代	〃	菅沼 立男	〃	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
27代	建設環境委員会	井坪 隆	原 勉	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
28代	〃	木下 昭一	原 和世	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
29代	〃	佐々木重光	湯澤 宗保	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
30代	〃	柄澤 紀春	後藤 修三	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
32代	〃	原 和世	永井 一英	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27

※議会改革による常任委員会の再編により、H25. 4. 27をもって建設環境委員会は所管に応じ他の3常任委員会へ移管

## (8) 歴代議会運営委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	議会運営委員会	木下 章雄	近松 宗一	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 18
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 23
5代	〃	佐々木清信	熊谷 一郎	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	鳴海 衛	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	斉藤 宗義	代田 保雄	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
8代	〃	丸山 治郎	原田 正志	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	新井 安男	原 茂	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
10代	〃	松江 良夫	西尾 仁一	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	〃	伊東 秀彦	太田 猶市	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松嶋 健次	尾沢 貞夫	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
13代	〃	尾沢 貞夫	竹村 仁實	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
14代	〃	片桐七右衛門	塩沢 文朗	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
15代	〃	木下 登	内山 照美	昭和56. 5. 8	昭和57. 3. 1
16代	〃	片桐七右衛門	〃	昭和57. 3. 1	昭和58. 4. 22
17代	〃	中島 勝美	酒井 米	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
18代	〃	内山 照美	平田 友畝	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
19代	〃	平田 友畝	松島 年一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	松島 年一	久保田 元	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	吉川 義治	今村 淳	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
22代	〃	中田 佳甫	牧内 信臣	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	伊原 与一	片桐 司郎	平成7. 5. 13	平成8. 4. 22
24代	〃	澤柳辨治郎	〃	平成8. 6. 4	平成8. 10. 31
25代	〃	〃	桜井 俊夫	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
26代	〃	久保田平八郎	牛山 重一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
27代	〃	木下 昭一	菅沼 立男	平成11. 5. 13	平成12. 10. 30
28代	〃	〃	柄澤 紀春	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
29代	〃	矢澤 芳文	清水 可晴	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
30代	〃	上澤 義一	林 幸次	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
31代	〃	原 和世	下平 勝熙	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
32代	〃	下平 勝熙	木下 克志	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
33代	〃	井坪 隆	清水 勇	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
33代	〃	林 幸次	新井信一郎	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
34代	〃	清水 可晴	村松まり子	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
35代	〃	清水 勇	後藤 莊一	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
36代	〃	村松まり子	吉川 秋利	平成29. 5. 10	令和元. 5. 15
37代	〃	福沢 清	永井 一英	令和元. 5. 15	令和3. 4. 27
38代	〃	永井 一英	清水 勇	令和3. 5. 19	

## (9) 歴代監査委員 (議会選出)

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	田中 悟	昭和31. 10. 1	昭和32. 4. 27
2代	佐々木清信	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	熊谷 一郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	関島彦四郎	昭和36. 5. 15	昭和41. 6. 15
5代	市村 保人	昭和41. 6. 17	昭和42. 6. 5
6代	宮内 昇	昭和42. 6. 6	昭和44. 4. 27
7代	市村 保人	昭和44. 5. 7	昭和46. 6. 3
8代	宮内 昇	昭和46. 6. 4	昭和50. 6. 6
9代	近松 宗一	昭和50. 6. 10	昭和52. 4. 27
10代	伊原 悦雄	昭和52. 6. 6	昭和54. 4. 13
11代	松下 茂	昭和54. 4. 16	昭和56. 5. 7
12代	西尾 保雄	昭和56. 5. 8	昭和60. 4. 27
13代	實原 裕	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
14代	松嶋 健次	昭和62. 5. 13	平成元. 4. 27
15代	小林 三郎	平成元. 5. 10	平成2. 6. 30
16代	實原 裕	平成2. 7. 16	平成3. 5. 9
17代	竹村 仁實	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
18代	〃	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	實原 裕	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
20代	竹村 仁實	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
21代	片桐 司郎	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	小林 利一	平成13. 5. 15	平成15. 3. 3
23代	西尾 喜好	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	岩崎 和男	平成17. 5. 13	平成19. 5. 10
25代	熊谷 富夫	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	上澤 義一	平成21. 5. 13	平成23. 5. 12
27代	中島武津雄	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28代	〃	平成25. 5. 14	平成29. 4. 27
29代	木下 克志	平成29. 5. 10	令和元. 5. 13
30代	清水 勇	令和元. 5. 15	令和3. 4. 27
31代	原 和世	令和3. 5. 19	

## (10) 歴代事務局長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	林 政人	昭和31. 9. 30	昭和39. 3. 31
2代	久保 武敏	昭和39. 4. 1	昭和44. 3. 31
3代	福井 実	昭和44. 4. 1	昭和44. 10. 19
4代	村沢 光男	昭和44. 10. 20	昭和48. 6. 30
5代	酒井 篤	昭和48. 7. 1	昭和50. 3. 31
6代	宮沢 邦男	昭和50. 4. 1	昭和54. 3. 31
7代	木下 良美	昭和54. 4. 1	昭和56. 3. 31
8代	松澤 平吉	昭和56. 4. 1	昭和59. 3. 31
9代	坂下 幸彦	昭和59. 4. 1	平成元. 3. 31
10代	小木曾義信	平成元. 4. 1	平成3. 3. 31
11代	浦野 勉	平成3. 4. 1	平成6. 3. 31
12代	横田 常	平成6. 4. 1	平成9. 3. 31
13代	山岸一二三	平成9. 4. 1	平成11. 3. 31
14代	吉川 元勝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31
15代	中本 卓良	平成13. 4. 1	平成15. 3. 31
16代	福田 富廣	平成15. 4. 1	平成16. 3. 31
17代	大沢 英二	平成16. 4. 1	平成17. 3. 31
18代	尾澤 敏秀	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31
19代	中井 洋一	平成19. 4. 1	平成20. 3. 31
20代	平澤 和人	平成20. 4. 1	平成20. 12. 31
21代	篠田 雅弘	平成21. 1. 1	平成25. 3. 31
22代	福澤 栄二	平成25. 4. 1	平成27. 3. 31
23代	土屋 寿憲	平成27. 4. 1	平成29. 3. 31
24代	吉川 昌彦	平成29. 4. 1	令和3. 3. 31
25代	和泉 忠志	令和3. 4. 1	



(11)歴代市議会議員

ア 昭和31年9月30日執行（1市7か村合併）

(7) 三穂地区 12人

林 武男	林 武司	坂巻 政美	林 保	古川 舎人	佐藤 芳房
宮沢 敬信	前沢 蔵六	川井 邦	西村 文雄	川上 竹市	久保田安美

(イ) 飯田地区 29人

代田源六郎	斉藤 隆久	今村 正美	田口 秀夫	牧島 保一	大竹 四郎
井村豊太郎	井原 淳治	辻 虎松	山田 亮一	深津 一郎	酒井 府
古瀬 仁	菊池 恭平	児島 栄次	宮下 綱六	吉川 一	中田 栄
木下 一人	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	木下 勝義	加藤 英男
田中 悟	早川 清雄	荒井重右衛門	長坂 晃	漆原 恒実	

(ウ) 座光地地区 16人

知久陽之祐	北原 弘	片桐 卓治	上沼 善夫	黒川 利一	今村 良美
湯沢 博司	篠田力三郎	棚田 正雄	佐々木貞雄	竹内 武男	原田 栄治
佐々木信雄	原田 幸雄	三村 利	竹内 兵治		

(エ) 竜丘地区 16人

伊原 悦雄	下平 広志	原 登	吉川 正己	中平恒三郎	今村 恵
長沼 保治	林 正司	松村 新八	前島 秀夫	北沢小太郎	沖田 武一
下田 巖	原 光人	下平 勲資	塚平 睦雄		

(オ) 松尾地区 22人

林 宗三郎	江塚 角三	斉藤 忠治	木下 徳雄	塩沢 秋生	平栗 英祐
山中 竜策	今村 輝男	小木曾嘉一	青山 孝一	常盤 喜八	福島 淡
牛草 利春	藤田 勇夫	塩沢伝之助	中山 政雄	奥田 利吉	松村 信一
熊谷 好次	金井 啓	伊与部金一	木下 章雄		

(カ) 下久堅地区 16人

平沢 清人	池田 嘉篤	吉沢 昇	羽生 一善	宮川藤次郎	森岡 清志
宮内 昇	三石 義臣	宮脇 利雄	桐生 忠治	橋爪徳次郎	三石誠一郎
羽場 義雄	木下 平治	坂井 伸一	平沢 亮治		

(キ) 伊賀良地区 22人

坂下 美富	矢沢 秀一	相原 貢	橋部 文男	今牧 泰三	伊藤 仁
佐々木省吾	元島 均治	今牧 照男	平田 武司	水野 恒夫	神部 稲男
矢沢 清志	松沢 武雄	伊藤 清	肥後 明一	平田 薫	田部 勇
鈴木 太郎	新井 一正	宮下 喜一	原 稲太郎		

(ク) 山本地区 16人

尾沢 元一	熊谷 英雄	竹村 汎愛	平岩四郎吉	竹村 央	遠山 皓
熊谷 広男	山内 精一	田中 伝	金田 伝	唐沢 茂一	玉置 敏夫
久保田久吉	金沢 重雄	熊崎 六蔵	小池 政之		

合計 149人

イ 昭和32年4月28日執行（合併による設置選挙 任期は昭和32年4月28日から昭和36年4月27日まで 8選挙区 定数36）

片山 均	伊藤 誠一	久保田一男	松沢 広	田中 伝	島岡 利雄
林 保	林 省三	北沢小太郎	伊原 悦雄	木下 章雄	伊与部金一
葛岡 利治	丸山 治郎	小林 新吾	宮脇 省	佐々木利夫	知久陽之祐
代田源六郎	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	今村 正美	児島 栄次
井原 淳治	堀 保麿	福島 勝男	古瀬 仁	漆原 恒美	串原 義直
山田 亮一	深津 一郎	辻 虎松	熊谷 一郎	田口 秀男	岡島 新治

ウ 昭和35年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和35年10月26日から昭和36年4月27日まで 定数3）

新井 安男 鳴海 衛 前島 成光

エ 昭和36年4月23日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和36年4月28日から昭和40年4月27日まで9選挙区 定数28）

片山 均	浜島 惣一	伊原 春男	鳴海 衛	宮内 昇	葛岡 利治
岡村 賢作	知久陽之祐	丸山 治郎	関島彦四郎	佐々木清信	代田源六郎
代田 哲	今牧 照男	新井 安男	近松 宗一	木下 章雄	串原 義直
福島 勝男	前島 成光	小林 新吾	沢柳 敏夫	漆原 恒美	辻 虎松
竹村 央	伊藤 誠一	松重 新一	熊谷 一郎		

オ 昭和39年5月15日執行（龍江村、千代村及び上久堅村の3か村合併による増員選挙 任期は昭和39年5月15日から昭和40年4月27日まで 定数は龍江2、千代2、上久堅1の合計5）

林 昌平 松尾 純二 大平 節蔵 林 武男 斉藤 宗義

カ 昭和39年8月28日執行（伊賀良地区補欠選挙 任期は昭和39年8月29日から昭和40年4月27日まで 定数1）

代田 保雄

キ 昭和39年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和39年10月26日から昭和40年4月27日まで 定数1）

宮嶋 繁

ク 昭和40年4月25日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和40年4月28日から昭和44年4月27日まで 全市1選挙区 定数36）

林 昌平	前島 秀夫	北原 正司	鳴海 衛	辻 虎松	市村 保人
小林 新吾	代田 保雄	近松 宗一	代田源六郎	矢崎 三郎	沢柳 俊夫
榊田 太一	今村 治郎	丸山 治郎	松江 良夫	伊原 悦雄	原 茂
大蔵 浜雄	宮嶋 茂	漆原 恒美	富田 政雄	葛岡 利治	大平 節蔵
今村 輝男	新井 安男	佐々木清信	宮内 昇	熊谷 一郎	宮脇 省

前島 成光 熊谷 武志 齊藤 宗義 原田 正志 今牧 照男 関島彦四郎

ケ 昭和43年10月20日執行（補欠選挙 任期は昭和43年10月21日から昭和44年4月27日まで 定数2）

茂木立好則 内田 篤

コ 昭和44年4月20日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和44年4月28日から昭和48年4月27日まで 定数36）

池上 一雄	茂木立好則	位高 勉	永山 忠男	前島 成光	佐藤力三郎
今牧 照男	齊藤 宗義	小松 芳男	江塚 善二	宮内 昇	大蔵 浜雄
松下 茂	原 茂	原 康次	原田 正志	熊谷政一郎	西尾 仁一
中山 栄次	辻 虎松	榊田 太一	内田 篤	伊東 秀彦	北原 正司
松嶋 健次	今村 輝男	林 昌平	新井 安男	片桐 勲	近松 宗一
宮嶋 繁	熊谷 武志	市村 保人	鳴海 衛	伊原 悦雄	松江 良夫

サ 昭和47年10月22日執行（補欠選挙 任期は昭和47年10月23日から昭和48年4月27日まで 定数2）

森本 藤登 今牧 泰三

シ 昭和48年4月22日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和48年4月28日から昭和52年4月27日まで 定数36）

大蔵 浜雄	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	前島 成光	佐藤力三郎
片桐七右衛門	伊藤 祐春	太田 猶市	佐々木 勝	平澤 與一	尾沢 貞夫
松下 茂	森本 藤登	佐々木清信	鳴海 衛	原 茂	松江 良夫
伊東 秀彦	松嶋 健次	今牧 泰三	内田 篤	西尾 仁一	橋部 肇
齊藤 為良	新井 安男	市村 保人	齊藤 宗義	今村 輝男	北原 正司
伊原 悦雄	近松 宗一	江塚 善二	宮内 昇	茂木立好則	林 昌平

ス 昭和51年10月17日執行（補欠選挙 任期は昭和51年10月18日から昭和52年4月27日まで 定数3）

熊谷 康登 西尾 保雄 片桐 勲

セ 昭和52年4月17日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和52年4月28日から昭和56年4月27日まで 定数30に減少）

片桐七右衛門	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	熊谷 康登	齊藤 宗義
竹村 仁實	木下 登	原 広男	原 康次	松下 茂	西尾 保雄
内田 篤	森本 藤登	今村 馨	平澤 與一	片桐 勲	中島 勝美
林 利実	尾沢 貞夫	橋部 肇	細田 直彦	佐々木文雄	佐々木 勝
齊藤 為良	西尾 仁一	茂木立好則	松江 良夫	林 昌平	伊原 悦雄

ソ 昭和55年10月19日執行（補欠選挙 任期は昭和55年10月20日から昭和56年4月27日まで 定数1）

内山 照美

タ 昭和56年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和56年4月28日から昭和60年4月27日まで 定数30）

塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	前島 成光	熊谷 康登
片桐 芳朗	塩沢 文朗	中田 修	竹村 仁實	今村 馨	内山 照美
木下 登	西尾 保雄	原 康次	森本 藤登	中島 勝美	片桐七右衛門
松島 健次	原 広男	細田 直彦	平澤 與一	松下 茂	内田 篤
松江 良夫	林 昌平	片桐 勲	尾沢 貞夫	茂木立好則	伊原 悦雄

チ 昭和59年10月21日執行（補欠選挙 任期は昭和59年10月22日から昭和60年4月27日まで 定数1）

今村 八束

ツ 昭和59年12月1日執行（鼎町合併により鼎町議員が引き続いて市議会議員として在任 任期は昭和59年12月1日から昭和60年4月27日まで 定数52）

田原 慶一	武田 良人	中村 岸美	中島文三郎	木下 為輔	関島 一郎
五十君酒造大	高木 敏美	松沢アサエ	河村 弘久	水野佐知穂	村沢 延
吉川 義治	今村 淳	村沢 博	鷺見 知一	北沢 芳男	新井紀一郎
片桐 司郎	下田 武志	小林 雅夫	関島 秀夫		

テ 昭和60年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和60年4月28日から平成元年4月27日まで 定数31）

田中 秀典	下平 一郎	小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 昌子
熊谷 康登	牧内 信臣	櫻井 俊夫	久保田 元	吉川 義治	武田 良人
今村 八束	原 広男	今村 淳	塩沢 文朗	片桐 司郎	西尾 保雄
塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	関島 一郎	内山 照美
森本 藤登	松下 茂	竹村 仁實	細田 直彦	尾沢 貞夫	平澤 與一
松嶋 健次					

ト 昭和63年10月16日執行（補欠選挙 任期は昭和63年10月17日から平成元年4月27日まで 定数2）

小林 利一 長谷部徳治

ナ 平成元年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は平成元年4月28日から平成5年4月27日まで 定数31）

西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫	吉川 昌子
牛山 重一	牧内 信臣	塩澤 俊彦	長谷部徳治	伊藤 芳之	小林 利一

関島 秀夫	下平 一郎	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎
小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	久保田 元	吉川 義治	今村 八束
西尾 保雄	塩澤 昭	實原 裕	平田 友畝	内山 照美	竹村 仁實
松江 良夫					

ニ 平成4年10月18日執行（補欠選挙 任期は平成4年10月19日から平成5年4月27日まで 定数1）

井出 健介

又 平成5年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は平成5年4月28日から平成9年4月27日まで 定数31）

柄澤 紀春	菅沼 立男	吉川 四郎	實原 公男	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	牛山 重一	牧内 信臣	吉川 昌子	塩澤 俊彦
長谷部徳治	西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫
伊藤 芳之	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎	小林 利一
下平 一郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 義治	今村 八束	實原 裕
竹村 仁實					

ネ 平成5年8月1日執行（上郷町編入合併に伴う増員選挙 任期は平成5年8月2日から平成9年4月27日まで 定数5）

中田 裕康 井坪 隆 岩崎 和男 岡島 豊 大坪 勇

ノ 平成8年10月20日執行（補欠選挙 任期は平成8年10月21日から平成9年4月27日まで 定数1）

矢澤 芳文

ハ 平成9年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は平成9年4月28日から平成13年4月27日まで 定数31）

佐藤久美子	小池 清	清水 可晴	佐々木重光	原 勉	中島武津雄
上澤 義一	荒木 興利	大坪 勇	牛山 重一	牧内 信臣	矢澤 芳文
井坪 隆	岩崎 和男	林 幸次	渡 淳	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好	柄澤 紀春	菅沼 立男	實原 公男
吉村徳一郎	佐藤 好英	中田 佳甫	小林 利一	今村 八束	片桐 司郎
竹村 仁實					

ヒ 平成12年10月15日執行（補欠選挙 任期は平成12年10月16日から平成13年4月27日まで 定数1）

原 和世

フ 平成13年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は平成13年4月28日から平成17年4月27日まで 定数31）

木下 容子	下平 勝熙	伊壺 敏子	大谷 恵子	湯澤 宗保	森本美保子
村松まり子	牛山満智子	清水 可晴	小池 清	牛山 重一	牧内 信臣
原 和世	原 勉	林 幸次	渡 淳	久保田平八郎	柄澤 紀春
菅沼 立男	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	荒木 興利	井坪 隆
岩崎 和男	矢澤 芳文	熊谷 富夫	下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好
小林 利一					

ヘ 平成16年10月24日執行（補欠選挙 任期は平成16年10月25日から平成17年4月27日まで 定数2）

後藤 荘一 木下 克志

ホ 平成17年4月24日執行（任期満了一般選挙 任期は平成17年4月28日から平成21年4月27日まで 定数27）

清水 勇	代田 剛嗣	新井信一郎	内山 要子	吉川 秋利	伊藤 清春
永井 一英	木下 容子	下平 勝熙	後藤 荘一	木下 克志	湯澤 宗保
森本美保子	柄澤 紀春	村松まり子	林 幸次	清水 可晴	伊壺 敏子
原 和世	原 勉	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	矢澤 芳文
岩崎 和男	熊谷 富夫	牧内 信臣			

マ 平成17年10月30日執行（上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙 任期は平成17年10月31日から平成21年4月27日まで 定数2）

山崎 紀男 後藤 修三

ミ 平成21年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は平成21年4月28日から平成25年4月27日まで 定数23に減少）

湯澤 啓次	湊 猛	清水 勇	吉川 秋利	永井 一英	福沢 清
内田 雄一	牛山満智子	新井信一郎	木下 克志	木下 容子	下平 勝熙
村松まり子	森本美保子	後藤 荘一	伊壺 敏子	中島武津雄	上澤 義一
清水 可晴	林 幸次	井坪 隆	原 和世	原 勉	

ム 平成25年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は平成25年4月28日から平成29年4月27日まで 定数23）

竹村 圭史	木下 徳康	熊谷 泰人	湯澤 啓次	山崎 昌伸	森本 政人
古川 仁	小倉 高広	湊 猛	新井信一郎	清水 勇	吉川 秋利
永井 一英	木下 容子	福沢 清	後藤 荘一	木下 克志	中島武津雄
村松まり子	林 幸次	清水 可晴	井坪 隆	原 和世	

メ 平成29年4月16日執行（任期満了一般選挙） 任期は平成29年4月28日から平成33年4月27日  
まで（定数23） <sup>\*</sup>  
<sub>\*</sub>（平成33年は2021年、令和3年）

清水優一郎	岡田 倫英	塚平 一成	竹村 圭史	小林 真一	福澤 克憲
古川 仁	木下 徳康	山崎 昌伸	熊谷 泰人	湯澤 啓次	永井 一英
福沢 清	木下 容子	後藤 荘一	湊 猛	新井信一郎	清水 勇
吉川 秋利	木下 克志	村松まり子	井坪 隆	原 和世	

モ 令和3年4月25日執行（任期満了一般選挙） 任期は令和3年4月28日から令和7年4月27日  
まで（定数23）

小平 彰	下平 恒男	橋爪 重人	西森 六三	宮脇 邦彦	関島 百合
市瀬 芳明	筒井 誠逸	清水優一郎	岡田 倫英	福澤 克憲	竹村 圭史
小林 真一	佐々木博子	古川 仁	木下 徳康	山崎 昌伸	熊谷 泰人
新井信一郎	清水 勇	永井 一英	井坪 隆	原 和世	

3 1年間の記録

(1) 付議事件及び議決結果一覧表

① 市長提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第1号	公平委員会の委員の選任について	2. 2. 25	2. 2. 25	同意
議案第2号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	2. 2. 25	2. 2. 25	同意
議案第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	2. 2. 25	2. 2. 25	同意
議案第4号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第5号	資金積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第6号	飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第7号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第8号	飯田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第9号	飯田市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第10号	地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第11号	飯田市南信濃観光施設等条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第12号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第13号	損害賠償の額を定めることについて	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第14号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市地域資源総合管理施設）	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第15号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市保健休養施設）	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第16号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市上村若者センター等）	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第17号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市南信濃観光施設等）	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第18号	市道路線の認定について	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第19号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市上村山村文化資源保存伝習施設）	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第20号	令和元年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第21号	令和元年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第22号	令和元年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第3号）案	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第23号	令和元年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号）案	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第24号	令和元年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案	2. 2. 25	2. 3. 19	可決
議案第25号	令和元年度飯田市下水道事業会計補正予算（第2号）案	2. 2. 25	2. 3. 19	可決



事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第26号	令和元年度飯田市各財産区会計補正予算（第2号）案	2.2.25	2.3.19	可決
議案第27号	令和2年度飯田市一般会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第28号	令和2年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第29号	令和2年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第30号	令和2年度飯田市介護保険特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第31号	令和2年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第32号	令和2年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第33号	令和2年度飯田市墓地事業特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第34号	令和2年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第35号	令和2年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第36号	令和2年度飯田市病院事業会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第37号	令和2年度飯田市水道事業会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第38号	令和2年度飯田市下水道事業会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第39号	令和2年度飯田市各財産区会計予算（案）	2.2.25	2.3.19	可決
議案第40号	訴えの提起について	2.3.5	2.3.19	可決
議案第41号	令和元年度飯田市一般会計補正予算（第9号）案	2.3.5	2.3.19	可決
議案第42号	令和元年度飯田市病院事業会計補正予算（第3号）案	2.3.5	2.3.19	可決
議案第43号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案	2.5.1	2.5.1	可決
議案第44号	令和2年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案	2.5.1	2.5.1	可決
議案第45号	農業委員会の委員の任命について	2.5.26	2.5.26	同意
議案第46号	飯田市中央財産区管理委員の選任について	2.5.26	2.5.26	同意
議案第47号	飯田市東野財産区管理委員の選任について	2.5.26	2.5.26	同意
議案第48号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について	2.5.26	2.5.26	同意
議案第49号	飯田市鼎財産区管理委員の選任について	2.5.26	2.5.26	同意
議案第50号	飯田市特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第51号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第52号	飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第53号	飯田市南信濃福祉研修センター条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第54号	飯田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第55号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第56号	飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第57号	飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第58号	飯田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第59号	飯田市南信濃観光施設等条例の一部を改正する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第60号	飯田市記号式投票に関する条例を廃止する条例の制定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第61号	市道路線の認定について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第62号	市道路線の変更について	2.5.26	2.6.22	可決
議案第63号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案	2.5.26	2.5.26	可決
議案第64号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案	2.5.26	2.6.22	可決
議案第65号	令和2年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	2.5.26	2.6.22	可決
議案第66号	令和2年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	2.5.26	2.6.22	可決
議案第67号	飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2.6.9	2.6.22	可決
議案第68号	工事請負契約に関する紛争の仲裁について	2.6.9	2.6.22	可決
議案第69号	飯田市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2.6.22	2.6.22	可決
議案第70号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第4号）案	2.6.22	2.6.22	可決
議案第71号	飯田市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2.6.22	2.6.22	可決
議案第72号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案	2.8.4	2.8.4	可決
議案第73号	令和2年度飯田市病院事業会計補正予算（第2号）案	2.8.4	2.8.4	可決
議案第74号	飯田市南部財産区管理委員の選任について	2.8.25	2.8.25	同意
議案第75号	飯田市中央財産区管理委員の選任について	2.8.25	2.8.25	同意
議案第76号	飯田市羽場財産区管理委員の選任について	2.8.25	2.8.25	同意
議案第77号	飯田市野底財産区管理委員の選任について	2.8.25	2.8.25	同意

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第78号	飯田市東野財産区管理委員の選任について	2. 8. 25	2. 8. 25	同意
議案第79号	飯田市千代財産区管理委員の選任について	2. 8. 25	2. 8. 25	同意
議案第80号	飯田市野底財産区管理会条例の一部を改正する条例の制定について	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第81号	飯田文化会館条例の一部を改正する条例の制定について	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第82号	令和元年度飯田市水道事業剰余金の処分について	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第83号	令和元年度飯田市下水道事業剰余金の処分について	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第84号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第85号	令和2年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第86号	令和2年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第87号	令和2年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第88号	令和2年度飯田市病院事業会計補正予算（第3号）案	2. 8. 25	2. 9. 23	可決
議案第89号	令和元年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第90号	令和元年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第91号	令和元年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第92号	令和元年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第93号	令和元年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第94号	令和元年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第95号	令和元年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第96号	令和元年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第97号	令和元年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第98号	令和元年度飯田市病院事業決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第99号	令和元年度飯田市水道事業決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第100号	令和元年度飯田市下水道事業決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第101号	令和元年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について	2. 8. 25	2. 9. 23	認定
議案第102号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案	2. 9. 10	2. 9. 23	可決
議案第103号	教育委員会の委員の任命について	2. 11. 25	2. 11. 25	同意

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第104号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	2. 11. 25	2. 11. 25	同意
議案第105号	飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	2. 11. 25	2. 11. 25	可決
議案第106号	飯田市地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第107号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第108号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第109号	飯田市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第110号	飯田市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第111号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市法山地域振興センター）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第112号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市箱川郷づくり研修センター）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第113号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市多世代交流プラザ）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第114号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市千代デイサービスセンター）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第115号	工事請負契約の一部変更について（過年発生土木施設補助災害復旧事業道路災害復旧工事）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第116号	損害賠償の額を定めることについて	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第117号	公の施設の指定管理者の指定について（市営住宅等及び共同施設等）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第118号	工事請負契約の一部変更について（改築補助事業橋りょう鋼上部工工事）	2. 11. 25	2. 11. 25	可決
議案第119号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市コミュニティ防災センター）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第120号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市総合運動場等）	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第121号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第9号）案	2. 11. 25	2. 11. 25	可決
議案第122号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第10号）案	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第123号	令和2年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第3号）案	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第124号	令和2年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第125号	令和2年度飯田市下水道事業会計補正予算（第1号）案	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第126号	令和2年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）案	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第127号	令和2年度飯田市病院事業会計補正予算（第4号）案	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第128号	令和2年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案	2. 11. 25	2. 12. 18	可決
議案第129号	副市長の選任について	2. 12. 18	2. 12. 18	同意

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第130号	令和2年度飯田市一般会計補正予算（第11号）案	2.12.18	2.12.18	可決

② 議会提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
発委第1号	飯田市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2. 6. 22	2. 6. 22	可決
発委第2号	核兵器禁止条約へ日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について	2. 6. 22	2. 6. 22	可決
発委第3号	種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書の提出について	2. 6. 22	2. 6. 22	可決
発委第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	2. 9. 23	2. 9. 23	可決
発委第5号	飯田市自治基本条例の一部を改正する条例の制定について	2. 12. 18	2. 12. 18	可決
発委第6号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について	2. 12. 18	2. 12. 18	可決
発委第7号	国の責任による35人学級の推進と教育予算の増額を求める意見書の提出について	2. 12. 18	2. 12. 18	可決
発委第8号	複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書の提出について	2. 12. 18	2. 12. 18	可決
発委第9号	へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書の提出について	2. 12. 18	2. 12. 18	可決

③ 報告議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について）	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について）	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市一般会計補正予算（第10号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第4号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市墓地事業特別会計補正予算（第1号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第2号））	2. 5. 1	2. 5. 1	承認

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第13号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.5.1	2.5.1	
報告第14号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.5.1	2.5.1	
報告第15号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.5.1	2.5.1	
報告第16号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について）	2.5.26	2.5.26	承認
報告第17号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	2.5.26	2.5.26	承認
報告第18号	権利の放棄について（市営住宅の家賃に係る債権）	2.5.26	2.5.26	
報告第19号	権利の放棄について（病院料金に係る債権）	2.5.26	2.5.26	
報告第20号	権利の放棄について（水道料金に係る債権）	2.5.26	2.5.26	
報告第21号	令和元年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	2.5.26	2.5.26	
報告第22号	令和元年度飯田市病院事業会計継続費繰越計算書の報告について	2.5.26	2.5.26	
報告第23号	令和元年度飯田市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	2.5.26	2.5.26	
報告第24号	令和元年度飯田市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	2.5.26	2.5.26	
報告第25号	飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	2.5.26	2.5.26	
報告第26号	株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の提出について	2.5.26	2.5.26	
報告第27号	一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類の提出について	2.5.26	2.5.26	
報告第28号	一般財団法人飯田市南信濃振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	2.5.26	2.5.26	
報告第29号	飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出について	2.6.9	2.6.9	
報告第30号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度飯田市一般会計補正予算（第5号））	2.8.4	2.8.4	承認
報告第31号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.8.25		
報告第32号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.8.25		
報告第33号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	2.8.25		
報告第34号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.11.25		
報告第35号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.11.25		
報告第36号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.11.25		
報告第37号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	2.11.25		

## (2) 議会において執行した選挙・選任等

(令和2年1月から令和2年12月まで)

会期	年月日	選挙・選任の内容
第1回定例会	R2. 2. 25	・公平委員会の委員の選任
		・固定資産評価審査委員会の委員の選任
		・人権擁護委員の候補者の推薦
第2回定例会	R2. 5. 26	・農業委員会の委員の任命
		・飯田市中央財産区管理委員の選任
		・飯田市東野財産区管理委員の選任
		・飯田市松尾地区財産区管理委員の選任
第3回定例会	R2. 8. 25	・飯田市南部財産区管理委員の選任
		・飯田市中央財産区管理委員の選任
		・飯田市羽場財産区管理委員の選任
		・飯田市野底財産区管理委員の選任
		・飯田市東野財産区管理委員の選任
		・飯田市千代財産区管理委員の選任
第4回定例会	R2. 11. 25	・教育委員会の委員の任命
		・固定資産評価審査委員会の委員の選任
	R2. 12. 18	・副市長の選任

## (3) 委員会活動開催状況

(令和2年1月から令和2年12月まで)

	常任委員会							特別委員会	議会運営委員会	議会改革推進会議	広報広聴委員会	全員協議会
	総務委員会	社会文教委員会	産業建設委員会	予算決算委員会				リニア推進特別委員会				
				全体会	総務分科会	社会文教分科会	産業建設分科会					
委員会	6	5	5	10	10	9	11	5	19	15	14	-
協議会	4	5	6	-	-	-	-	5	-	-	-	9
計	10	10	11	10	10	9	11	10	19	15	14	9



## (4)請願陳情

## ①請願議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程 年月日	議決 年月日	議決 結果
社文	2請願 第1号	国に対し、医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書を提出願いたい	2. 3. 5	2. 3. 19	不採択
総務	2請願 第2号	国に対し、核兵器禁止条約への署名・調印と批准を求める意見書を提出願いたい	2. 6. 9	2. 6. 22	採択
総務	2請願 第3号	国に対し、辺野古新基地建設工事を中断して、話し合いを求める意見書を提出願いたい	2. 8. 25	2. 9. 23	不採択
総務	2請願 第4号	国に対し、消費税率5%への引き下げを求める意見書を提出願いたい	2. 8. 25	2. 9. 23	不採択
総務	2請願 第5号	国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書を提出願いたい	2. 8. 25	2. 9. 23	採択
社文	2請願 第6号	国に対し、今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書を提出願いたい	2. 12. 9	2. 12. 18	不採択
社文	2請願 第7号	国に対し、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書を提出願いたい	2. 12. 9	2. 12. 18	採択
社文	2請願 第8号	国に対し、国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書を提出願いたい	2. 12. 9	2. 12. 18	採択
社文	2請願 第9号	国に対し、複式学級の編成基準の改善、教職員定数増を求める意見書を提出願いたい	2. 12. 9	2. 12. 18	採択
社文	2請願 第10号	県に対し、少人数学級の一日も早い実現を求める意見書を提出願いたい	2. 12. 9	3. 3. 19	趣旨採択
社文	2請願 第11号	国に対し、少人数学級の一日も早い実現を求める意見書を提出願いたい	2. 12. 9	3. 3. 19	趣旨採択

※請願第2号、第5号及び第7号から第9号については、いずれも国に対し意見書の提出を行いました。

## ②陳情議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程 年月日	議決 年月日	議決 結果
産建	2陳情 第1号	国に対し、種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書を提出願いたい	2. 6. 9	2. 6. 22	採択
社文	2陳情 第2号	長野県知事に対し、へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書を提出願いたい	2. 12. 9	2. 12. 18	採択

※陳情第1号については、国に対し意見書の提出を行いました。

※陳情第2号については、長野県知事に対し意見書の提出を行いました。

(5) 定例会の質問事項

① 令和2年飯田市議会第1回定例会一般質問通告表

令和2年3月4,5日

No.	氏名	項目・要旨
1	清水 勇 (会派のぞみ)	1 市の感染症対策について (1) 今までの取り組みと、今後の感染症に対する考えはどうか ① 今までに感染症に取り組んだ事例はあるか ② 感染症に対する、マニュアルはあるか ③ 新型コロナウイルスに対する、政府の「基本方針案の骨子」が出されたが内容をどう考えるか ④ 新型コロナウイルスに対する、飯田市の具体的な取り組みは ア 小中学校への対応は イ 他市では消防職員の感染例が報道されたが、市としてどう捉えるか ⑤ 危機管理を含め全庁的な検討をするべきと思うがどうか 2 令和2年度予算編成について (1) 予算編成の市長の基本的な考えは (2) 会派からの予算要望に対する対応はどうか 3 市政経営の方向について (1) 市長として4期が過ぎるが、今までの取り組みをどう捉えているか
2	小林 真一 (公明党)	1 2020年年頭所感と市政経営について (1) 地域における「当事者」という価値観の共有をどう発信、定着させるか ① フラットな組織とは ② 地域における行政の役割は ③ パワーアップ交付金の増額の経過は ④ 当事者として行動する地場産業の中の「ものさし」とは具体的に何か ⑤ 大人に対する地域人教育の具体的な考え方は (2) スマートシティについての今後の考え方は 2 立地適正化計画と災害リスクの啓発について (1) 飯田市版の立地適正化計画について ① 特徴は ② 街の暮らし推進区域の設定の考え方は (2) 災害リスク啓発の取り組みは 3 新規就農について (1) UIターン者の新規就農状況は ① 新規就農者数は ② 当地域を選んだ理由は ③ 就農後の状況把握は (2) 「農業の担い手と語る会」の目的は (3) 農業次世代人材投資資金について ① 内容はどのようなものか ② 来年度からの変更点は
3	村松 まり子 (公明党)	1 持続可能な開発目標(SDGs)達成への行政運営について (1) 第2期飯田市版総合戦略にSDGsへの認識を示すべきと考えるがどうか (2) 国が示すSDGsアクションプランでは、「SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり」が掲げられている。裾野を広げる取り組みが必要と思うが、今後の進め方は

No.	氏名	項目・要旨
	村松 まり子	<p>(3) 新学習指導要領の前文に掲げられた「持続可能な社会の創り手」のイメージとその育成は</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 危機管理の対応は</p> <p>(2) 市民への周知、情報伝達は</p> <p>(3) 医療体制の状況は</p> <p>(4) 学校、保育園・幼稚園での対応は</p> <p>(5) 経済への影響と支援は</p>
4	原 和 世 (会派みらい)	<p>1 令和2年度市政経営の基本方針について</p> <p>(1) 令和2年度当初予算編成に関し、健全な財政運営の維持と主要4基金残高の関係は</p> <p>(2) 行財政改革の推進に関し、公共施設マネジメントの推進における「すべての建物施設の方向性の整理を行う」とは</p> <p>(3) エス・バードの機能強化と活用に関し、既存産業の支援において現下の課題をどうとらえるか</p> <p>2 中学校の部活動のあり方について</p> <p>(1) 中学校部活動の見直しは、何を目指しどこに向かおうとしているのか</p>
5	福 沢 清 (会派みらい)	<p>1 令和2年度市政経営の基本方針について</p> <p>(1) 行財政改革の推進のうち、指定管理者制度についてどのように取り組んでいくか</p> <p>① 昨年の年頭所感及び市政経営の方向には「新たな指定管理者制度の導入」についての記述があるが、今年「指定管理者制度」に触れていないのは</p> <p>② 指定管理者制度の業務評価や情報公開は改善されたか</p> <p>③ 指定管理者制度の公平性や透明性を保証するため、「行政手続条例」に指定管理者も入れるべきではないか</p> <p>④ 指定管理者制度導入施設での「利用者満足度調査」を充実すべきではないか</p> <p>(2) 「いいだ未来デザイン2028」に関する社会基盤の強化について</p> <p>① 社会基盤の1つ河川等に関して、外から見ることでできない「暗渠」は、飯田市にどのくらいあるか</p> <p>② 災害と「暗渠」の関係についてどのように認識しているか</p> <p>③ 河川等に関する災害を未然に防ぐために「暗渠」の点検マニュアルを作成すべきではないか</p>
6	岡 田 倫 英 (会派のぞみ)	<p>1 小学校の学年単位における適正規模について</p> <p>(1) 長野県教育委員会は「少なくとも学年で20人程度を確保することが望ましい」と示しているが、飯田市の考え方はどうか</p> <p>① きめ細やかな学習指導ができる「小規模学級」と、人間関係が固定化されやすい「小規模学年」では性質が異なるが、認識は</p> <p>② 1学年1学級の小規模状態は改善策が必要と考えるがどうか</p> <p>③ 適正規模の確保だけでなく、魅力ある学校づくりの目的で中一貫校や義務教育学校の導入を検討してはどうか</p> <p>2 リニア中央新幹線関連について</p> <p>(1) 移転をお願いする皆さんへの対応は</p> <p>① 丹保・北条地区代替地の区画等情報が公表されたが、反響はどうか</p> <p>② 代替地以外の手法を検討する方への支援状況は</p>

No.	氏名	項目・要旨
	岡田倫英	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ メンタルヘルスケアの取り組みは</li> <li>(2) リニア駅の効果を最大化する地域戦略は <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「駅から地域に人を呼び込む」ことに焦点を絞った戦略は明確になっているか</li> <li>② ワクワク感のある検討を見せていく段階に入ると思うがどうか <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 「仕事」を通じた利用を増やす戦略は</li> <li>イ 「暮らし」、特に若い女性を対象とする戦略は</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
7	福澤克憲 (市民パワー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 地方財政の考え方について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 健全化判断比率から考える財政運営について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現状の分析は</li> <li>② 早期健全化基準とは</li> <li>③ 財政再生基準とは</li> </ul> </li> <li>(2) 飯田市の予算規模・決算の考え方は</li> <li>(3) 飯田市の実質公債費比率の考え方は</li> <li>(4) 地方交付税の動向に対する飯田市の考え方は</li> <li>(5) 将来を見据えた飯田市予算の考え方は</li> </ul> </li> <li>2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 働き方改革関連法施行に係る飯田市の取り組みは</li> <li>(2) 飯田市役所(事業主)としての取り組みと現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 法改正を受けての対応状況は</li> <li>② 職員のストレスチェックの結果、療養休暇(心の病)の状況は</li> <li>③ 飯田市人財育成基本方針に基づく、人財づくりのための体制(環境整備)の状況は</li> <li>④ 今後の方向性は</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
8	吉川秋利 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 エス・バードについて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) エス・バードの位置づけについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 責任体制や方向性の決定についてはどのようにしているか</li> <li>(2) デザイン系高等教育機関設立についてはどのように考えているか</li> <li>(3) 長野県の支援体制はどうか</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 居場所について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員の不祥事に関連して、「居場所」の解釈をどのようにとらえているか</li> </ul> </li> <li>3 組合未加入問題について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 組合未加入に対する庁内での共通認識はどのようにしているか</li> <li>(2) 高齢者を見守っていく地域をつくるには</li> </ul> </li> </ul>
9	新井信一郎 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新型肺炎(コロナウイルス)等感染症への対応状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染症対応の現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 病院の受け入れ態勢は <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 病院数・病棟、ベッド数は</li> <li>イ 医師・看護師等医療従事者数は</li> <li>ウ 受け入れ状況は</li> <li>エ 院内感染予防対策は</li> </ul> </li> <li>② 市役所など公共施設の対応について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 市民や来庁者へどのような対策を施しているか</li> <li>イ 職員の健康管理は</li> <li>ウ 大規模な集会、イベント等への対応は</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新 井 信 一 郎	<p>(2) 今後の対応について(官民挙げてのパンデミック対策)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 病院等医療機関の連携は</li> <li>② 幼稚園や保育園及び学校の対応は</li> <li>③ 特養など高齢者施設への対応は</li> <li>④ 公共交通機関や道路封鎖等の対応は</li> <li>⑤ リニア開通を見越し、関係人口増加が見込まれる事への防災意識は</li> </ol> <p>(3) 日頃の健康や他人へのマナー(スマート防災)について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 感染症(インフルエンザ等)にかからないための手法は</li> <li>② 持ち物を床に置かない、「新 咳エチケット」・「市民に咳エチケットの励行」など、衛生文化の周知普及に取り組めないか</li> </ol> <p>2 リニア新時代に向けた山岳観光産業づくりについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 山岳観光の現状、南信州観光公社の観光資源発掘への支援について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一般社団法人 南信州山岳文化伝統の会への支援状況と今後の取り組みは</li> </ol> </li> <li>(2) 今後の展開について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 南アルプスエリアの今後の展開は</li> <li>② 交流人口を増加させるため、市内20地区の取り組みは</li> </ol> </li> <li>(3) インフラ整備の対応状況は <ol style="list-style-type: none"> <li>① 特に遠山郷の主要路線が観光のトップシーズン前に通行止めになる現状回避は</li> <li>② 「しらびそ高原天の川」への周遊道路(市道上村1号線)の通年通行(除雪・のり面工事等)への考えは</li> </ol> </li> </ol> <p>3 フィルムコミッションについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 映画「いつくしみふかき」が飯田市内を中心に6年の歳月をかけ制作された。飯田市内で先行上映をされ多くの感動が広がっている <ol style="list-style-type: none"> <li>① 飯田市が後援に至った経緯は</li> <li>② 後援をした結果見えたものは</li> <li>③ テアトル新宿にて公開が予定(4/17より)されているが、それは飯田市を全国(世界)に告知できる大きなチャンスと捉えられないか</li> <li>④ フィルムコミッション(映画等の撮影場所誘致や撮影支援)への考えは</li> </ol> </li> </ol> <p>4 土地活用(ソーラーパネル等設置)について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 設置しようとする土地周辺に住宅地等がある場合、住民への周知はどのように指導しているのか</li> <li>(2) 全国の設置後のトラブル事例は把握しているか</li> <li>(3) 施設が放置され付近住民が災害等含め困惑するケースなど予想される。いかなる場合も最終的に撤去できる責任の所在の明確化が必要と考えるが、市の考えは</li> <li>(4) ランドスケープの概念(空間デザイン・景観配慮)が飯田市でもようやく認知されてきたが、実効性が無ければ意味がない。今後の行動指針は</li> </ol>
10	塚 平 一 成 ( 会 派 の ぞ み )	<p>1 ユニバーサルツーリズムの促進について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市としての認識は</li> <li>(2) 外出困難者へのアウトドア支援について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 意義をどう捉えるか</li> <li>② 現状を把握しているか</li> </ol> </li> <li>(3) 支援体制充実について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 必要性をどう考えているか</li> </ol> </li> <li>(4) リニア時代へ向け飯田の善さを生かした体制構築が有益と考えるがどうか</li> </ol>

No.	氏名	項目・要旨
	塚 平 一 成	2 音楽による地域づくりについて (1) 市民イベントの取り組みについて ① 地域力向上の観点からどう評価するか ② 生きがいづくりの視点からどう支援するか (2) 地区の歌について ① 地域づくりへの効果をどう評価するか ② 広く普及される方策をどう考えるか
11	古 川 仁 (日本共産党)	1 飯田市の国民健康保険について (1) 飯田市の国民健康保険の状況について ① 加入者の構成はどうか ② 保険税の納入状況はどうか ③ 資格証明書の発行はあるか、また短期保険証の発行状況はどうか (2) 国民健康保険税について ① 子育て支援策として保険税を軽減してはどうか 2 飯田市の教育について (1) 「飯田市小中学校いじめ対策指針」の改定について ① いじめをどう定義しているか ② いじめをどのように把握するか
12	熊 谷 泰 人 (会派のぞみ)	1 飯田市水道事業経営戦略について (1) 令和元年度版飯田市水道事業経営戦略の概要は (2) 飯田市における水道事業の現状と課題は ① 管路の老朽化の状況は ② 施設の老朽化の状況は ③ 水道事業の経営状況は (3) 現状の課題解決に向けた具体的な施策と事業の実施状況及び今後の計画について ① 管路の更新状況と今後の計画は ② 施設の改修状況と今後の計画は ③ 災害時の対策は ④ 事業の「見える化」の取り組みは (4) 平成28年度策定の経営戦略に比べ、令和元年度版では大幅に事業費がアップしているがその要因は何か (5) 財源の確保について ① 事業遂行のための財源は ② 一般財源からの繰出基準とは ③ 補てん財源とは ④ 令和5年度には補てん財源残高が半減、企業債残高は大幅に増加する見込みだが、その後の事業の見通しは (6) 効率化・経営健全化への取り組みについて ① 施設の統廃合や施設規模の適正化の具体策は ② 人材育成の考え方は ③ 官民連携、コンセッション事業の検討は ④ 給水人口の今後の見込みは ⑤ 料金改定の考えは
13	永 井 一 英 (公明党)	1 人生100年時代を見据えて (1) 飯田市民の男女別平均寿命と健康寿命の推移は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永 井 一 英	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 100歳以上人口の10年前との比較は</li> <li>② 将来予測と市の認識は</li> <li>(2) 「人生100年時代」における市政経営の方向性について <ul style="list-style-type: none"> <li>① これまでの現役世代や高齢者の概念を変えていく必要が指摘されているが、市長はどう考えるか</li> <li>② 今後の社会の変化を想定した時、行政のあり方をどう考えるか</li> </ul> </li> <li>(3) 健康寿命そして活動寿命の延伸に向けた市の政策は <ul style="list-style-type: none"> <li>① フレイル予防の取り組みは</li> <li>② オーラルフレイル予防の取り組みは</li> </ul> </li> <li>(4) アクティブシニア層に向けた、就労支援や地域で活躍するための支援は</li> <li>(5) アクティブシニア層のチャレンジを後押しする社会教育について、市はどう考えるか <ul style="list-style-type: none"> <li>① リカレント教育はどう考えるか</li> </ul> </li> </ul>
14	木 下 容 子 ( 市 民 パ ワ ー )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 児童・生徒のインターネット・ゲーム依存防止について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 飯田市における児童・生徒のインターネット等の利用の実態はどうか</li> <li>(2) インターネット・ゲームがもたらす弊害についての認識はどうか</li> <li>(3) 厚生労働省での2種類の調査と長野県教育委員会での調査が実施されたが、これらの結果をどう受け止めるか</li> <li>(4) 香川県において、「ネット・ゲーム依存症対策条例(仮称)」制定の動きがあるが、これをどう考えるか</li> <li>(5) 今後の対策はどうか</li> </ul> </li> </ul>
15	木 下 徳 康 ( 会 派 の ぞ み )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 市内のインフラ整備等に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市道の整備・維持管理について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地区要望への対応状況と今後の見通しは</li> <li>② 上下水道工事等による再三の舗装復旧を防ぐには</li> <li>③ 長期にわたるリニア工事における道路維持の対応は</li> <li>④ 住宅新築等により重量積載車両の通行が増加したことで、道路損傷が起きた場合の対応は</li> </ul> </li> <li>(2) 電気・ガスなど民間事業者のインフラについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 昨年の台風15号による千葉県の大停電を教訓として事業者との協議は</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 情報社会の形成に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 公共インフラとしての情報通信網について <ul style="list-style-type: none"> <li>① ネット利用の現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 小・中学校の教育においてはどうか</li> <li>イ 観光面ではどうか</li> <li>ウ 今後の農業においてはどうか</li> </ul> </li> <li>② 公共インフラとしてWi-Fi整備の重要性について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 市庁舎、美術博物館、小・中学校などへWi-Fiを整備した目的は</li> <li>イ 市のすべての拠点施設にWi-Fiを整備してはどうか</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 第5世代移動通信システム(5G)について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 5G、あるいはローカル5Gの市の認識は</li> <li>② 次世代の移動通信システムの整備に関する市の取り組みは</li> </ul> </li> <li>(3) スマートシティに必要な次世代の情報通信網の整備推進について、市長の考えは</li> </ul> </li> </ul>

② 令和2年飯田市議会第2回定例会一般質問通告表

令和2年6月9日

No.	氏名	項目・要旨
1	新井 信一郎 (会派のぞみ)	1 新型コロナウイルス感染症に対する緊急対策について (1) 医療現場の現状について ① 医療連携の現状は ② 鍼灸師との連携は ③ 鍼灸師への支援は ④ コロナウイルス感染の疑いがもたれる方々の待機施設の確保は ア 民間宿泊施設等との連携はできているか (2) 民間事業者への支援について ① 家賃補助に「地代」は含まれないのか ② 事業存続のために一律ではなく、事業規模に見合う補助をしなければ経営を維持することはできないのではないか
2	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 教育を受ける機会の保障について (1) ICT環境整備までの授業実施方法の考え方は ① 中学3年生の高校受験に向けたフォローは ② 夏休み期間短縮による効果と課題は (2) ICT環境整備後の活用に向けて ① 家庭におけるインターネット環境調査の集約状況は ② 整備後の活用にあたり保護者との連携をどのように考えているか ③ 教師の積極的な利活用に向けた取り組みをどのように考えているか (3) 再び臨時休校せざるを得なくなった場合の対応方針をどのように考えているか
3	塚平 一成 (会派のぞみ)	1 コロナ禍における介護サービス上で抱える諸問題について (1) 感染拡大を防止するために介護サービスを断られた高齢者の把握は (2) 安心して介護サービスが提供される環境づくりについて ① 感染者発生リスクを視野に入れた介護事業者間の実効的な連携体制の構築は ② サービス提供側の不安を和らげていく土壌をどのように作っていくか 2 コロナ禍における市民生活の安心と安全の確保について (1) 行き過ぎた正義感による個人攻撃や風評被害への対処は (2) 関連詐欺等への注意喚起と効果的な対策は (3) 社会不安から起こりうる犯罪の増加への懸念があると思うが、市としてどう対策を講じるか
4	福沢 清 (会派みらい)	1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 感染症対策の基となる検査について ① 国の検査の進め方について飯田市の考え方は ② 飯田市内の検査体制や検査数は ③ 今後の飯田下伊那の検査、医療体制は (2) 雇用調整助成金と労働者の雇用について ① 飯田下伊那における雇用調整助成金の申請と支給状況は ② 雇用調整助成金にかかわる課題をどう考えているか ③ 飯田市において解雇・失業者に対する支援は (3) 介護施設をはじめとする福祉施設への対策について



No.	氏名	項目・要旨
	福 沢 清	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 福祉施設に対する支援の状況は</li> <li>② 介護施設など福祉施設と医療施設の連携は</li> <li>③ 特に小規模福祉施設への行政からの情報提供は</li> <li>④ 介護施設の事業運営が厳しくなっているが介護計画に支障はないか</li> </ul>
5	岡 田 倫 英 ( 会 派 の ぞ み )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 リニア中央新幹線の代替地整備事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響で地元説明会を開催できずにいるが、情報の共有や地元意見の把握はどのようにしているか</li> <li>(2) 大鹿村内ではトンネル掘削工事が一時休止していたが、進行管理に影響はあるか</li> <li>(3) 座光寺の共和、唐沢宮の前の進捗状況は</li> </ul> </li> <li>2 災害発生時における避難生活のあり方について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新型コロナウイルス感染症対策により3密状態を避けなければならない中、避難所設置のあり方をどのように考えているか</li> <li>(2) 在宅避難生活という考え方に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民周知に取り組んではどうか</li> <li>② ライフラインのうち特に電力の確保のため、蓄電池の普及促進にお一層力を入れてはどうか</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
6	福 澤 克 憲 ( 市 民 パ ワ ー )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 国・県の制度を受けての飯田市の施策の展開について(新型コロナウイルス感染症関連) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 特別定額給付金の給付状況、子育て世帯臨時特別給付金の給付予定は</li> <li>(2) 県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力金・支援金の支給状況は</li> <li>(3) 飯田市の事業継続支援緊急助成金(家賃補助)、借換え支援補助金、雇用調整助成金等申請支援事業補助金の申請・交付状況は</li> <li>(4) 国・県の制度を受けての飯田市の支援の考え方は</li> <li>(5) 国・県・他市町村との連携の考え方は</li> </ul> </li> <li>2 地域自治活動、地域コミュニティの考え方について(新型コロナウイルス感染症関連) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市有施設の休館による地域自治活動、地域コミュニティ活動への影響は</li> <li>(2) 感染防止対策の状況は</li> <li>(3) 行政と地域の連携・協働の考え方は</li> </ul> </li> </ul>
7	小 林 真 一 ( 公 明 党 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症の緊急時対応段階からの取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 国・県による個人、事業者への支援について市の関わり方は <ul style="list-style-type: none"> <li>① 雇用調整助成金申請支援の状況は</li> <li>② 緊急小口資金の状況は</li> <li>③ 借地料に対する支援は</li> </ul> </li> <li>(2) 高齢者、障がい者の介護・医療支援、福祉支援について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康維持のための取り組み状況は</li> <li>② 介護、障がい者施設における感染防止対策は</li> </ul> </li> <li>(3) 国が進める「子ども見守り強化アクションプラン」への取り組みは <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童虐待の実態はどうか</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 新型コロナウイルス感染症の継続・回復段階に向けての取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地方創生交付金の活用について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童扶養手当の上乗せ支給への考え方は</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

No.	氏名	項目・要旨
	小林 真一	<p>(2) 梅雨、台風の到来、地震発生へ向けての備えはどうか</p> <p>(3) 小中学校におけるGIGAスクール構想の加速と学びの保障をどう考えるか</p> <p>① 当初、タブレットが1人1端末行き渡った後、どのような活用、教育のあり方を想定していたか</p> <p>② コロナウイルスによる現状からどのように対応が変わるか</p> <p>③ 今年度中に1人1端末となる予定だが、学校ごと・学年ごとの計画的な整備をどう考えるか</p> <p>④ GIGAスクールサポーター・ICT支援員導入の考えは</p> <p>⑤ 教育長は「武雄式反転授業」についてどのように考えるか</p> <p>(4) 「飯田市出身の学生応援プロジェクト」への想いは</p> <p>(5) ウイズコロナ、アフターコロナに対応した地域経済・観光の構築と、今後の働き方にどのように取り組むか</p> <p>① テレワーク、リゾートテレワーク導入への考えは</p> <p>② テレワークでは対応できない業種への支援や「新しい生活様式」への対応支援は</p> <p>③ 市役所への様々な手続きや、申請書類の電子申請化、オンライン対応への取り組みは</p> <p>④ 飯田市の観光、食文化について</p> <p>ア 県内で観光地をめぐるツアー、地元近隣の観光の考えは</p> <p>イ 焼き肉文化への対応は</p> <p>(6) 将来を見据えた感染症等への対策をどう考えるか</p>
8	古川 仁 (日本共産党)	<p>1 飯田市の新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 特別定額給付金について現在の対応状況は</p> <p>① 申請書作成・提出の困難事例とその対応は</p> <p>② 特別定額給付金は、差押禁止資産となっているが、市の対応は</p> <p>(2) 地域医療・介護について</p> <p>① 全国的にも医療機関への受診を控えている状況だが地域の状況は</p> <p>② 感染者拡大時の対応として民間医療機関への受け入れ協力要請の状況について市の把握は</p> <p>③ 行政が中心となり医療・福祉・介護分野の新型コロナウイルス対策会議を開催しては</p> <p>(3) 市の教育について</p> <p>① 休校明けの児童・生徒の様子は</p> <p>② 虐待などの発生状況は</p> <p>③ 給食の野菜など地産地消の状況は</p>
9	木下 徳康 (会派のぞみ)	<p>1 コロナショックと「いいだ未来デザイン2028」の関連性について</p> <p>(1) 現状をどう捉えているか</p> <p>① 新型コロナへの対応を求められる現在、「いいだ未来デザイン2028」推進への影響はどうか</p> <p>② コロナショックは経済、生活習慣等に不可逆的な変化をもたらすとされているが、今後の市政運営にどう取り組むか</p> <p>(2) 定住人口維持のための移住について</p> <p>① 現在新型コロナウイルス感染者のいない飯田に移住してもらうことについてどう考えるか</p> <p>ア 新型コロナ対策の状況下における移住定住促進の取り組みの現状と対応は</p> <p>イ 終息後に飯田への移住を推進する契機とならないか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	木下 徳康	<ul style="list-style-type: none"> <li>② テレワークと教育移住を結びつけて推進できないか</li> <li>③ 農業への転職を支援してはどうか</li> </ul> <p>(3) 今後の交流人口増加に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民の個人的なネットワークを使った誘客を支援できないか</li> </ul>
10	吉川 秋利 (会派のぞみ)	<p>1 コロナ対策による公共施設の利用制限について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 緊急事態宣言による公民館の利用制限の経過と、その影響はどのようなものだったか</li> <li>(2) コミュニティ活動の拠点としての位置づけとしてはどのように考えるか</li> </ul> <p>2 公民館の予約手続きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) テレワークなど新しい生活様式が提唱されているが、ネット予約の検討はできないか</li> </ul>
11	山崎 昌伸 (会派のぞみ)	<p>1 新型コロナウイルス感染症への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染者情報の公開のあり方について市長の考えは</li> <li>(2) 本年度の予算執行、将来に亘る財政面への影響は <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現時点での予算執行への影響はどうか</li> <li>② 今後どのような影響があると予想されるか</li> <li>③ 今後の財政面への影響はいつ示せるか</li> </ul> </li> <li>(3) 新型コロナウイルスへの対応・対策にあたっての検討過程の記録は、正確かつ詳細に残されているか</li> <li>(4) 新しい生活様式への対応とコミュニティの維持にどう取り組むか <ul style="list-style-type: none"> <li>① 域内循環の促進に向けての具体的な取り組みは</li> <li>② コミュニティの維持に向けて行政としてどう取り組むか</li> </ul> </li> </ul>
12	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	<p>1 県道飯田南木曾線知久町踏切道改良工事に伴う市の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 改良工事の内容は</li> <li>(2) 改良工事に伴う全面通行止めの期間は</li> <li>(3) 知久町踏切を通行する車両及び歩行者の現状は</li> <li>(4) 現状の交通車両や歩行者が迂回することとなる市道の現状は</li> <li>(5) 長期間の通行止めによる市民への影響をどう見ているか</li> <li>(6) 影響を回避するためには早急な迂回路の整備や交通規制看板の設置、市民への周知などの対応が必要と考えるが市の考えは</li> </ul>
13	湊 猛 (会派のぞみ)	<p>1 遠山郷かぐらの湯の現状と今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) かぐらの湯の現状把握と市の対応は <ul style="list-style-type: none"> <li>① かぐらの湯の経過・背景は</li> <li>② 現在の運営状況は</li> </ul> </li> <li>(2) かぐらの湯について早急な対応が必要と思われるが考えは <ul style="list-style-type: none"> <li>① メンテナンス契約をしていた業者との協議の状況は</li> <li>② 今後の方向性は見えているか</li> </ul> </li> <li>(3) 遠山郷の振興に源泉は必要と考えるが、新規掘削への市長の考えは</li> <li>(4) かぐらの湯の今後の方向性を市長はどう考えているか</li> </ul>

③ 令和2年飯田市議会第3回定例会一般質問通告表

令和2年9月9日、10日

No.	氏名	項目・要旨
1	清水 優一郎 (会派のぞみ)	1 社会基盤の維持管理について (1) 市道、農道について ① 維持管理の現状は ② 地区要望への対応は (2) 災害対応について ① 近年の被害状況は ② 農地災害復旧にかかる個人負担を軽減できないか 2 これからの市政運営について (1) 牧野市長の当事者意識について ① 当事者意識とは ② 飯田市長としての当事者意識は (2) コロナ禍で変わる社会、飯田市をどう導くか ① 地域経済については ② 地方移住については ③ 若者回帰については ④ 産業振興と人材育成の拠点「エス・バード」の展望は ⑤ いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)の見直しは ⑥ リニア開業については ⑦ 今後の意気込みは
2	岡田 倫英 (会派のぞみ)	1 リニア中央新幹線関連の重点協議区域について (1) 具体的な検討内容が見えてこないが、市としてどのように関わってきたか (2) 今後どのように扱っていく見通しか 2 (仮称)飯田駅前プラザについて (1) 公共空間の新しい有り様として試金石になるか (2) 交流の促進に市としてどう関わっていくか (3) 駐車場対策の考え方は 3 新文化会館の整備方針について (1) 整備時期は「リニア開通後」としているが、2027年以後を指すのか (2) 中心市街地に整備する方針の決め手は何か (3) 駐車場対策の見通しは (4) 整備にかかる財源計画を立てていく考えは (5) 市民を巻き込んだ検討のロードマップを示してはどうか
3	福澤 克憲 (市民パワー)	1 7月の豪雨災害における対応状況について (1) 災害復旧事業の状況は ① 土木施設補助・単独災害復旧事業は ② 農業施設補助・単独災害復旧事業は ③ 農地補助災害復旧事業は ④ 林道単独災害復旧事業は (2) 7月の災害被害箇所の特徴は (3) 今後の防災対策として必要なことは 2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて(新型コロナウイルス感染症関連) (1) 当地域の雇用情勢をどのように分析しているか (2) 市立病院の経営状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 澤 克 憲	(3) 当地域の医療機関への影響は (4) 地域公共交通への影響は 3 地方の財政需要と国との連携について (1) 現在の国の制度をどのように分析しているか (2) 国との連携の考え方は
4	木 下 徳 康 (会派のぞみ)	1 防災について (1) 事前整備による減災の可能性について ① 豪雨等による法面等の危険の軽減について ア 倒木の恐れある木を事前除去できないか ② 井水について ア 井水の整備・管理の主体は イ 氾濫予測箇所の把握や点検の状況は ウ 氾濫箇所について原因究明は (2) 「わが家の避難計画」づくりと災害用伝言ダイヤルについて ① 計画策定の状況や災害用伝言ダイヤルの体験状況を把握しているか ② この活用をより広められないか 2 ウィズコロナにおける感染防止と経済・市民活動について (1) 新型コロナウイルス感染症の疑いに対する検査体制について ① 現状は ② 今後の見通しは ③ 医療行為以外の検査はどうか (2) 感染拡大防止のための感染経路の把握の取り組みについて ① 接触確認アプリ(COCoA)のダウンロード状況は ② 来館者や利用者などの記帳について ア 市有施設の取り組み状況は イ 記帳への取り組みの協力、呼び掛けを拡大できないか (3) コロナ対策版として「わが家のコロナ対応計画づくり」に取り組んではどうか (4) 現状のウィズコロナでも経済・市民活動にそれぞれの立場で取り組めることが重要と思うがどうか
5	塚 平 一 成 (会派のぞみ)	1 観光産業の支援及び需要喚起について (1) 応援割宿泊キャンペーンについて ① スタート後の反響は ② 課題をどう捉えるか (2) 観光プラットフォーム事業について ① どのような形で進められているか ② 各分野の連携は有効に図られているか 2 児童生徒の安全確保について (1) 公共交通機関利用者の通学時の新型コロナウイルス感染対策は (2) 公園、学校等の遊具の安全対策について ① コロナ対策の状況は ② 点検整備の状況は ③ 安全性の問題に対する市民との共有は
6	木 下 容 子 (市民パワー)	1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 検査体制の拡充について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 容 子	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 現在の検査体制は</li> <li>② 感染拡大を未然に防ぐために検査対象の拡大は考えられないか</li> <li>(2) 安心して必要な診察等が受けられるために <ul style="list-style-type: none"> <li>① 感染への不安から受診を控える傾向が見られるが地域での現状は</li> <li>② 乳幼児の健診、予防接種の状況は</li> <li>③ 必要な診察、健診、予防接種等を安心して受けられるための行政としての役割は</li> </ul> </li> <li>(3) 安心して働くことができる医療環境について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市立病院の職員が業務上で感染してしまった場合の対応は</li> <li>② 医療従事者を不当な偏見差別から守るための対策は</li> </ul> </li> <li>(4) 小中学校での状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 臨時休校、夏休みと長期の休みとなったが、児童・生徒の様子は</li> <li>② 学校における健康診断の実施は</li> <li>③ 運動会や修学旅行など、学校行事実施の現状と今後の予定は</li> </ul> </li> <li>2 子どもの読書活動の推進について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新型コロナ禍の中での図書館の本の貸し出し状況は</li> <li>(2) 長野県では「第4次長野県子ども読書推進計画」を策定したが、飯田市における子どもの読書活動の取り組みは</li> <li>(3) 今年は「ブックスタート」が始まってから20年目に当たる年。新たな事業に取り組む考えは</li> </ul> </li> </ul>
7	新 井 信 一 郎 ( 会 派 の ぞ み )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症に対する緊急対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 民間事業者への支援について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 家賃補助に「地代」は含まれないのか</li> <li>② 各種団体との懇談を持たれているが十分と思うか</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 観光戦略及び地域活性化推進のため、ユネスコ無形文化遺産登録について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 国指定重要無形民俗文化財である「神楽」(湯立神楽)をユネスコ登録し、地域活性化と伝統継承を図ることについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 神楽をどのように理解しているか</li> <li>② 現在の取り組み状況は</li> <li>③ 九州の神楽ネットワーク協議会の活動をどう捉えるか</li> <li>④ 全国的に見ても神楽の保存継承を望む地域は、過疎地が多い。過疎と伝統継承について、市の現状認識は</li> <li>⑤ 普段から「神楽」(湯立神楽)への伝統継承の支援を行っているか</li> <li>⑥ 神楽は広域にまたがるが多く、県や国との連携が欠かせないが取り組み状況は</li> <li>⑦ 「神楽」(湯立神楽)をユネスコ無形文化遺産登録し、地域活性化と伝統継承、観光戦略に繋げないか</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
8	永 井 一 英 ( 公 明 党 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 現状と将来推計について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 高齢者人口と高齢化率のピーク時期はいつ頃か。また、全国平均に対して何年ほど前倒しとなるか</li> <li>② 要支援・要介護認定者数と出現率の最近の動向は。出現率は他市に比べて高いか</li> </ul> </li> <li>(2) 第7期介護保険事業計画を総括し、見えてきた課題は何か。また、第8期介護保険事業計画の策定に向けた市の考え方、方向性は <ul style="list-style-type: none"> <li>① 厚生労働省は今年7月に第8期介護保険事業計画策定をめぐり基本方針を改正したと聞く。市の対応は</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

No.	氏名	項目・要旨
	永井 一英	<p>(3) 飯田市議会が、第6期と第7期の介護保険事業計画に係わる飯田市介護保険特別会計当初予算に附帯決議を付したが、対応状況は</p> <p>(4) 介護サービス給付費と介護保険料の見込みはどうか</p> <p>2 「いいだ未来デザイン2028」の中期に向けて</p> <p>(1) SDGsの取り組みについて</p> <p>① 市長は、「持続可能な地域創造ネットワーク」の共同代表に就任されたと聞く。どのような団体か。また、市長の考えは</p> <p>② 「いいだ未来デザイン2028」の中に、SDGsの17のゴール、169のターゲットなどを落とし込む考えはないか</p> <p>(2) リニア時代を支える情報基盤の整備と活用について</p> <p>① 市が、コロナ禍において学んだことは何か。また、それを中期に向けてどう生かすか</p>
9	後藤 荘一 (日本共産党)	<p>1 リニア関連事業について</p> <p>(1) 駅周辺の国道道改良について</p> <p>① 地権者は何人か、立ち退きを余儀なくされている世帯は</p> <p>② 買い上げる土地の単価は聞いているか</p> <p>③ 代替地の土地単価の決定方法は</p> <p>④ 駅周辺含め、立ち退きに関する土地の単価交渉などでJR東海の意見を受けているか</p> <p>⑤ 地権者組合はできているか</p> <p>⑥ 現地事務所は相談を受けているか</p> <p>(2) 飯田市内の残土置き場について</p> <p>① 候補地の設計等の進捗状況は</p> <p>② 下流域住民の安全が第一と考えるが、現状と同等の安全の保障は</p> <p>③ 飯田市として、住民の立場に立ってJR東海と向き合って対応しているか</p> <p>(3) リニア工事の進捗の遅延などから、リニア中央新幹線の必要性について</p> <p>① コロナ禍の中で、東海道新幹線の利用客が減少し、人の移動がなくなっている。このことなどからリニア新幹線の必要性が問われている。このことについてどう考えるか</p> <p>② 大井川の水量が大幅に減少する恐れ等で環境影響調査の不備が現れてきているが、このことについてどう考えるか</p> <p>③ 飯田市として、どうしても2027年開業を求めるのか</p>
10	古川 仁 (日本共産党)	<p>1 飯田市の新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 国民健康保険税の減免について</p> <p>① 現在の対応状況は</p> <p>(2) 通所介護サービス事業所等の支援について</p> <p>① 現在の対応状況は</p> <p>② 国へ特例措置法の見直しを求めている</p> <p>2 飯田市の教育について</p> <p>(1) 小中学校の新型コロナウイルス感染予防対策について</p> <p>① 感染予防対策の現状は</p> <p>② 今後の感染予防対策は</p> <p>(2) ふるさとを思う気持ちの教育は</p>
11	山崎 昌伸 (会派のぞみ)	<p>1 安心・安全のまちづくりについて</p> <p>(1) 頻発する豪雨災害に対する市民の意識向上に、どのように取り組む考えか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	山崎昌伸	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本年7月7日からの梅雨前線豪雨災害対応で、全市に避難勧告が出された際の避難状況をどう捉えているか</li> <li>② 市民の意識を、有事の際に「命を守る」行動に結びつけられるまで高める事が重要と思うが、これにどう取り組むか</li> <li>③ 避難場所の確保は十分か</li> </ul> <p>(2) 緊急時の情報伝達手段</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災行政無線デジタル化の進捗状況は</li> <li>② デジタル化した地域のその後の状況把握は</li> <li>③ 市民の、緊急時の情報や避難に関する情報の入手手段は適正か</li> </ul> <p>2 交流人口と関係人口について</p> <p>(1) 交流人口と関係人口をどう拡大させるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 移住定住促進には、交流人口と関係人口の拡大が必要と言われてはいるが、その論拠は</li> <li>② 飯田市への移住者で、交流人口や関係人口から移住に結びついた人数は</li> <li>③ 交流人口、関係人口の拡大に向けて「健康」をキーワードとして取り組んではどうか</li> </ul>
12	木下克志 (会派のぞみ)	<p>1 道水路対策について</p> <p>(1) 県道改良(さわやかロード下山工区)に伴う車川下流の越水対策の実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 県道改良の進捗状況は</li> <li>② 越水対策の難易度はどこにあるのか</li> <li>③ 具体的な対策はどうか</li> </ul> <p>2 組合未加入対策について</p> <p>(1) 加入促進の全市一斉取り組み強化月間の状況と今後に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 各地区のまちづくり委員会とどのように連携したか</li> <li>② この施策の成果はどうであったか</li> <li>③ 今後どのような活動展開を計画しているか</li> </ul> <p>3 危機管理について</p> <p>(1) みんなが安心して暮らせる防災減災のまちづくりで消防団員確保と赤十字奉仕団員の確保をどう考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 消防力維持のための具体的対策は <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 定年延長はどうか</li> </ul> </li> <li>② いいだ未来デザイン2028戦略計画での赤十字奉仕団の位置付けは</li> </ul> <p>4 観光行政について</p> <p>(1) 今後の観光誘客をどう考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① リニア開通を見据え、元善光寺を中心とした誘客戦略は</li> <li>② 観光三大拠点の誘客戦略の考え方は</li> </ul>
13	吉川秋利 (会派のぞみ)	<p>1 組合未加入問題について</p> <p>(1) 組合未加入者に対して、入りたくなるような自治活動についてはどのように考えるか</p> <p>(2) ゆるやかなつながりを重視した自治組織をどう考えるか</p> <p>(3) 組合加入に対して、高齢者の見守りを兼ねた、いいだ未来デザイン2028の基本目標7と8に基づく具体的な取り組みは</p> <p>2 リニア中央新幹線開業に向けて</p> <p>(1) 「新長野駅(仮称)」は乗るための駅か、降りるための駅か</p> <p>(2) JR飯田線結節のための乗換新駅の目的は何か</p>



No.	氏名	項目・要旨
	吉川秋利	(3) 飯田のリニア駅に降り立つための目的(目標)をどのように考えるか

④-1 令和2年飯田市議会第4回定例会代表質問通告表

令和2年12月7,8日

No.	氏名	項目・要旨
1	竹村圭史 (会派のぞみ)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 「新・環境文化都市」が描こうとする都市像は</p> <p>(2) 「いいだ未来デザイン2028」が中期計画へ移行する中において、行政の継続性に対する認識は</p> <p>(3) 「対話と現場主義で、心かよう市政」をつくるための考え方は</p> <p>(4) 「2050年、飯田は『日本一住みたいまちになる』」実現のため、この4年間ですべきことをどのように考えるか</p> <p>2 市政運営について</p> <p>(1) 「市民の声を反映できるまちづくりに取り組む」ための考え方は</p> <p>(2) 「市民の声が届く市役所となるよう改革する」ための考え方は</p> <p>(3) 市長の考える「真の現場主義」とはどのようなものか</p> <p>3 交通網・インフラ整備について</p> <p>(1) リニア駅周辺整備に伴い移転を余儀なくされる方々への対応の考え方は</p> <p>(2) リニア駅からの二次交通の考え方は</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の設置目的と今後の展開の考え方は</p> <p>5 文化振興について</p> <p>(1) 伝統文化をこの地域の宝として守るための考え方は</p> <p>(2) 飯田文化会館の建て替えに対する市長の考え方は</p> <p>6 子育て、教育について</p> <p>(1) 分娩体制の充実を図るための施策の考え方は</p> <p>(2) 大学(学部)誘致の可能性を探るうえで、ターゲットの考え方は</p> <p>(3) 文部科学省が中学校の休日の部活動を段階的に地域移行していくとの方向性を示したことに対する考え方は</p> <p>7 産業振興について</p> <p>(1) 本社機能の地方移転やバックアップオフィス・サテライトオフィスを誘致するための考え方は</p> <p>(2) エス・バードを産業分野全般にわたる振興拠点とするためには</p> <p>(3) 「長野県SDGs未来都市計画」と連動した、環境・エネルギー分野の産業創出の考え方は</p> <p>(4) リニア時代を見据えた観光振興・交流人口拡大に向けた考え方は</p> <p>8 持続可能な美しいまちづくりについて</p> <p>(1) 「2050二酸化炭素排出実質ゼロ自治体(ゼロカーボンシティ)」宣言に向けた道筋は</p> <p>(2) 「燃料電池車や電気自動車の普及促進」を図るための施策は</p> <p>(3) 「リニア駅周辺を新・環境文化都市のモデル地区」とするための考え方は</p> <p>9 令和3年度予算編成について</p> <p>(1) 令和3年度予算編成にあたっての基本的な考え方は</p> <p>(2) コロナ禍における税収見込みは</p> <p>(3) 中長期的な財政見通しは</p>
2	小林真一 (公明党)	<p>1 市政運営と予算編成について</p> <p>(1) 世界的パンデミックが起きている中、人口減少、少子高齢化という日本全体の課題に、市はどのように対応していくか</p> <p>(2) 外国人観光客、外国人労働者についての対応をどうしていくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一	<p>(3) 「対話と現場主義」で「心かよう市政をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市長の思いは</li> <li>② 市長マニフェストには「対話と現場主義」で「心かよう市政をつくる」とあるが、具体的にはどのような活動をしていくのか</li> <li>③ 市民との対話に軸足を置くと考えるが、国、県との連携についての考え方は</li> </ul> <p>(4) 市長は2050年「日本一住みたいまちになる」とし、「新・環境文化都市」創造プランを掲げた。どう「いいだ未来デザイン2028」の中期計画に落とし込み実現していくか</p> <p>(5) SDGsについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① SDGsに対する市長の考え方は</li> <li>② SDGsの理念・考え方を中期計画にどう反映させていくか</li> <li>③ 市民や、民間企業等への意識づけをどうしていくか</li> </ul> <p>(6) 本年、国勢調査が行われ、飯田市の人口も10万人を割ると考える。地方交付税の減少、税収の減少が考えられるが予算編成についてはどう考えるか</p> <p>2 Society5.0の到来へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) Society5.0の到来へ向けて市長の思いは。また、かじ取りをどうするか</li> <li>(2) コロナ禍において行政手続きのデジタル化は急務と考えるが、現状の取り組みは。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① デジタル化、オンライン化推進への取り組み状況は</li> <li>② 行政のデジタル化の一方で情報弱者を取り残さないための方策は</li> </ul> </li> </ul> <p>3 ウィズコロナ、アフターコロナにおける小中学校の教育環境と交流人口・関係人口について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) コロナ禍における小中学校の教育環境の課題は</li> <li>(2) GIGAスクール構想の加速における当市の現状は <ul style="list-style-type: none"> <li>① 各小中学校にモバイル端末が配備された。児童・生徒の学習への取り組みの変化は。また、現在見えてきている課題は</li> </ul> </li> <li>(3) ウィズコロナ、アフターコロナにおける交流人口・関係人口について、市長の思いは</li> </ul> <p>4 これからの子育て環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 男性にとっての男女共同参画推進による子育て参加しやすい環境づくりの考えは</li> <li>(2) 市長マニフェストでは、不妊治療への助成を強化とあるが、具体的な方策は</li> </ul>
3	原 和 世 (会 派 み ら い)	<p>1 市長の市政運営に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市政運営における基本的な考え方について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「日本一住みたいまち」、「閉塞感」、「停滞感」の認識とは</li> <li>② 「対話と現場主義」で「心かよう市政」とは</li> <li>③ 県及び上伊那・周辺町村との連携を「結びなおす」とは</li> </ul> </li> <li>(2) 政策転換を目指そうとする施策について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 前市政をどの様に評価するか</li> <li>② リニア駅周辺整備について乗り換え新駅設置方針の転換とこれまでの積み上げ議論は</li> <li>③ エス・バードの今後の運営指針について航空宇宙産業からの転換と新分野への展望は</li> </ul> </li> <li>(3) 市政運営における今後の展望について <ul style="list-style-type: none"> <li>① コロナ禍において想定される経済不況が次年度以降の市財政及び地域社会にどのような影響を与えると考えるか</li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 住民自治に関し、人口減少・中山間地施策・組合未加入をどう考えていくのか</li> <li>③ リニア新幹線静岡工区の遅延による開業時期の変更が地域経済と市財政に与える影響をどう考えるか</li> </ul> <p>2 マニフェストからみる新機軸の政策に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 目指す都市像について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「文化経済自立都市」と「いいだ未来デザイン2028」、更に「新・環境文化都市」創造プランとの関係性は</li> </ul> </li> <li>(2) 新型コロナについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① コロナ後を見据えた事業転換を行うためのサポートとは</li> </ul> </li> <li>(3) 産業振興について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域内循環型経済の仕組みとブロックチェーンによる地域通貨を官民共同で開発とは</li> <li>② 域内発注、域内調達を促進するための助成策とは</li> <li>③ バックアップオフィス・サテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの設置をどの様に進めるか</li> <li>④ 地元業者の「職人の技」を活かした「飯田版ZEH」推進とは</li> </ul> </li> <li>(4) 子育て・教育について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 未満児保育・延長保育・学童クラブを充実できる組織・体制の整備とは</li> <li>② 小中学校の授業を「分かる」ようにするため「読解力」を高めるとは</li> <li>③ 「南信州全域に芝生グラウンドの整備」及び「複合アリーナ整備構想の早期にめど」とは</li> </ul> </li> <li>(5) マニフェストの実現について <ul style="list-style-type: none"> <li>① マニフェストの優先順位をどう考えているのか</li> </ul> </li> </ul>
4	後 藤 莊 一 (日本共産党)	<p>1 今定例会での市長挨拶などから見る政治姿勢および新年度予算編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市長の政治姿勢について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本国憲法の持つ3原則である、基本的人権の尊重、国民主権(主権在民)、平和主義(戦争放棄)に基づく憲法の精神を、市政運営全般に生かすべきと考えるがどうか</li> <li>② 市長は、「対話と現場主義」で市民の声を聞く姿勢を職員にも求めたが、具体的にはどうか</li> </ul> </li> <li>(2) 新型コロナウイルス感染症対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 検査・医療体制の充実と同時に、経済の再生を目指すと強調しているが、感染拡大が収束しない今、市民の命と暮らしを守ることを第一に考え、力を尽くすべきと考えるがどうか</li> <li>② コロナ対策として、また子どもたちの成長が確実になる「少人数学級」は、保護者ばかりでなく多くが求めるものと認識している。「国県の事業」と言わず市として取り組む考えは</li> <li>③ コロナ後の社会で、「グリーンリカバリー」の考え方、また、「地域内経済循環」を市政の経済政策の中心に据えて市政運営を図ることを強調しているが、具体的にはどう考えているか</li> </ul> </li> <li>(3) 今年7月飯田市を襲った豪雨災害の経験から、気候変動と、災害を減少させる対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 1千世帯を超える土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)指定の解消と、河川や道水路の危険箇所を把握し、対策を図っていく考えは</li> <li>② 「気候変動対策」を「グリーンリカバリー」の考え方を使って取り組むべきと考えるがどうか</li> </ul> </li> <li>(4) 消費税について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 消費税が昨年10月増税されたが、飯田市民や業者への影響は</li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 荘 一	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 地方消費税を含む市財政への影響は</li> <li>③ 消費税に対する市長の考えは</li> <li>④ 2023年10月から「適格請求書発行事業者登録(インボイス)」制度が始まるが、これへの対策は考えているか</li> <li>⑤ コロナ禍の中、市民の暮らしや営業を守る立場から消費税率を5%に減税するよう国に申し入れる考えは</li> <li>(5) 介護保険事業計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2021年度からの第8期計画はどういう方針で取り組むか</li> <li>② 第7期計画では県内19市中最高額だった介護保険料について、第8期計画ではどう考えるか</li> <li>③ 総合事業対象者の弾力化が国から示されているが、市としてはどう考えるか</li> <li>④ 保険者機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金に対する市としての考えは</li> <li>⑤ 国の負担割合を増額すべきと考えるが、市の考えは</li> </ul> </li> <li>(6) リニア中央新幹線整備計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 駅周辺整備について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア トンネル工事などの本線工事が遅れている今、また、環境を守る観点からも駅周辺整備は立ち止まって見直す考えは</li> <li>イ 重点協議区域の設定について、駅周辺整備の面積は、地元からの要望で面積を縮小したとしているが、駅周辺整備区域の当初の面積7.8haは必要なものを積み上げたものではなかったのか</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(7) 市財政について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 財政調整基金についての考え方は</li> <li>② 人口10万人を切る中で地方交付税に対する考えは</li> <li>③ 「あれかこれか」の選択で市民の暮らし優先の財政運営にすべきと考えるがどうか</li> </ul> </li> </ul>
5	福 澤 克 憲 ( 市 民 パ ワ ー )	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 市長公約(マニフェスト)について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「新・環境文化都市」創造プランについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 飯田市第4次基本構想基本計画(1996～2005年)に掲げられた「環境文化都市」との違いは</li> <li>② 「持続可能な美しいまちづくり」の考え方は</li> <li>③ 地域経済における「地域内経済循環」の考え方は</li> <li>④ 市民の環境意識の醸成は</li> </ul> </li> <li>(2) 「日本一住みたいまち」について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 30年後の飯田市を見据えた現状施策の整理、今後どのような事業展開を行うか</li> </ul> </li> <li>(3) 「対話と現場主義」について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市長が行う「対話と現場主義」とは</li> <li>② 「真の現場主義」を実現するための市役所の組織体制の見直しとは、どのようなものを想定しているか</li> <li>③ 職員との対話と連携は</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて(新型コロナウイルス感染症関連) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 当地域の雇用情勢をどのように分析しているか</li> <li>(2) 国・県の制度を受けての飯田市の施策の展開について <ul style="list-style-type: none"> <li>① これまでの施策の検証は</li> <li>② 今後の展開は</li> </ul> </li> <li>(3) 失業された方への就労支援の考え方は</li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 澤 克 憲	<p>3 地方財政について</p> <p>(1) 将来を見据えた飯田市予算の考え方について</p> <p>① 通常時の飯田市予算規模の考え方は</p> <p>② 予算・決算のピーク年度の想定は</p> <p>③ 今後の実質公債費比率の動向は</p> <p>④ 将来を見据えた飯田市予算の考え方は</p> <p>(2) 7月豪雨による災害復旧事業やコロナの影響による病院の特殊事情など、今後、地方交付税に大きく係る財政需要をどう考えているか</p> <p>4 地域自治について</p> <p>(1) 飯田市の地域自治について</p> <p>① 地域自治組織の今後の方向性は</p> <p>② パワーアップ地域交付金の検証は</p> <p>③ 地域コミュニティの拠点整備をどう考えるか</p>

④-2 令和2年飯田市議会第4回定例会一般質問通告表

令和2年12月8日、9日

No.	氏名	項目・要旨
1	清水 優一郎 (会派のぞみ)	1 市立病院の新型コロナウイルス感染症への対応について (1) 「原則、面会禁止」の対応について ① 現状と課題は ② 患者と家族の気持ちに寄り添うには (2) 当面の対応方針は
2	福 沢 清 (会派みらい)	1 公契約条例の制定について (1) 公契約条例をどう考えるか (2) 公契約条例について今までの飯田市の対応についてどう考えるか (3) 「公契約に関する基本方針」は目的実現に向けどのように進められてきたか (4) 今後、公契約条例の制定に向け、どのように進めていくか ① 研究会の設置はどうか ② 賃金下限額を盛り込むことが必要ではないか
3	岡 田 倫英 (会派のぞみ)	1 リニア中央新幹線関連事業について (1) 移転をお願いする方から寄せられている集合住宅を希望する声に対する市の考え方は (2) 代替地のコミュニティ形成をどのように考えるか 2 情報発信・広報について (1) 飯田市における弱点とは何か (2) 飯田市公認「ふるさとユーチューバー(仮称)」とはどのような考えか (3) 「分かりやすい市政」を実現する上で、広報いいだ等の改善はどうか (4) 市長によるメッセージ力が重要と考えるがどうか
4	古 川 仁 (日本共産党)	1 飯田市の新型コロナウイルス感染症対策について (1) 地域医療について ① 未だに受診控えのため厳しい経営状況と聞かすが、現状は ② 物資の状況は ③ 11月17日以降の地域医療体制は ④ コロナ禍における地域医療を支えるための市長の考えは
5	吉 川 秋利 (会派のぞみ)	1 市長のマニフェストの「地域経済」における農業について (1) 「外貨を稼ぐ農業を振興するとともに、市民農園や家庭菜園を推奨し、『農ある豊かな暮らし』が広がる取り組み」について ① 具体的にどのようなことを目指すのか ② 「外貨を稼ぐ農業」「市民農園」「家庭菜園」はそれぞれ異なる特色を有するが、どのように展開していくのか
6	村 松 まり子 (公明党)	1 ウィズコロナ時代に求められる「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現について (1) ウィズコロナ時代に求められる「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現についての考えは (2) 重層的支援体制整備事業についてどう取り組むのか ① 重層的支援体制整備事業の認識は

No.	氏名	項目・要旨
	村松 まり子	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 庁内の連携体制は</li> <li>③ 庁外との連携体制は</li> <li>(3) コロナ禍で進む高齢者の生活不活発を基盤とするフレイル化・健康への危惧について <ul style="list-style-type: none"> <li>① コロナ禍で地域在住高齢者に何が起きているのか</li> <li>② ウイズコロナ・アフターコロナ社会を見据えた取り組みは</li> </ul> </li> <li>(4) 子育ての孤立を防ぐための取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① コロナ禍において1年前とは違う子育て環境の現状をどう把握し認識しているか</li> <li>② 子育て世代への情報発信の検討状況は</li> <li>③ オンラインによる相談窓口の設置の考えは</li> <li>④ 子育てに関する父親の役割の重要性に対する市長の考えは</li> <li>⑤ 父親対象の子育て講座の強化等は</li> <li>⑥ コロナ禍において、「孤立を防ぐための居場所」や「地域や友人とのつながり」が重要となっているため、「社会的処方」の考え方やオンラインを活用するなど新しい生活様式に対応した「つながり」(双方向)を構築すべきと考えるかどうか</li> </ul> </li> </ul>
7	木下 徳康 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 コロナ禍の経済発展・市民活動の基礎について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「コロナ禍を乗り越える」ためのベースとなることは <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国内および県内の状況に対する認識は</li> <li>② 市内の現状は</li> <li>③ 感染拡大を最小限にするために必要なことは</li> </ul> </li> <li>(2) 経済発展・市民活動のための検査の必要性について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 検査の重要性への認識は</li> <li>② 検査のためのルール化は必要ではないか</li> </ul> </li> <li>(3) 感染経路の把握について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 経路把握の重要性をどうとらえているか</li> <li>② 経路把握を向上させる手立ては</li> <li>③ 接触確認アプリCOCOAに対する市の評価は</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
8	塚平 一成 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 事業所の新型コロナ感染症対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 年末年始休暇の分散取得要請への対応は</li> <li>(2) 飯田市新しい生活様式定着支援補助金について <ul style="list-style-type: none"> <li>① これまでの申請の状況は</li> <li>② 第3波が懸念されるが今後の対応は</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 国際交流の推進体制について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小さな世界都市の推進について、市長の考え方は</li> <li>(2) 地域力強化の観点から、市民交流の基盤強化へどう取り組むか</li> <li>(3) 国際的な都市力向上へどう取り組むか</li> </ul> </li> </ul>
9	井坪 隆 (会派みらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新飯田文化会館の建設について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 当地域における飯田文化会館の普遍的な在り方をどう考えるか</li> <li>(2) 公約では、建て替えについて「十分な駐車場の確保」を前提条件としているが、これを新飯田文化会館の建設適地と考えるか</li> </ul> </li> </ul>
10	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 市内スポーツ施設の整備について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 総合体育施設アリーナについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 検討状況は</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>



No.	氏名	項目・要旨
	熊谷泰人	<p>② スポーツ振興による青少年の健全育成、交流人口の拡大にはアリーナは必要と考えるが市長の考えは</p> <p>(2)グラウンドの芝生化の検討状況は</p> <p>(3) テニスコートの夜間照明設置の考えは</p> <p>2 中学校部活動の状況について</p> <p>(1) 活動指針の試行を終えたが、部活動の状況は</p> <p>(2) 部活動の延長で行われていた社会体育活動に代わる活動状況は</p>
11	木下克志 (会派のぞみ)	<p>1 親子3世代が同居するまちづくりについて</p> <p>(1) 親子3世代同居はたくさんのメリットがある</p> <p>① 現状、親子3世代が同居している実数は把握しているか</p> <p>② 今は別に暮らしているが同居可能な世帯を調査したことはあるか</p> <p>③ 3世代同居を推奨する考え方はあるか</p> <p>2 観光行政について</p> <p>(1) 今後の観光誘客をどう考える</p> <p>① 観光が本当に産業になっているか</p> <p>② 遠山郷の魅力づくりは</p>
12	木下容子 (市民パワー)	<p>1 「コロナ禍を乗り越える」ための取り組みについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス禍での自殺防止対策について</p> <p>① 全国では自殺の急増が見られるが、どう認識しているか</p> <p>② 本年10月は全国で男性に比べて女性の自殺が増加しているが、どうとらえているか</p> <p>③ 今必要とされる自殺防止対策は</p> <p>(2) 新型コロナウイルスが妊娠活動に及ぼす影響について</p> <p>① 新型コロナの感染拡大により、全国では妊娠届け出件数が減少しているが、飯田市はどうか</p> <p>② 妊娠が減少している原因をどうとらえているか</p> <p>③ 少子化対策は喫緊の課題だと考えるが市長の思いは</p> <p>(3) 「すべての女性が輝く社会」の実現のためには、女性の課題に社会全体が目を向けるべきだと考える。市長マニフェストの「共に支え合えるコミュニティづくり」の考えは</p>
13	山崎昌伸 (会派のぞみ)	<p>1 「新・環境文化都市」創造プランについて</p> <p>(1) 「新・環境文化都市」創造プランの理解を深めるために</p> <p>① 「日本一住みたいまち」実現への道筋として「新・環境文化都市」創造プランを打ち出した市長の思いは</p> <p>② 「新・環境文化都市」創造プランにおいて、過去に出された「環境文化都市宣言」の位置付けは</p> <p>(2) 環境文化都市実現に向けてのこれまでの取り組みをどう捉えているか</p> <p>(3) 「新・環境文化都市」の実現に向けて</p> <p>① 「2050二酸化炭素排出実質ゼロ自治体(ゼロカーボンシティ)」実現への決意は</p> <p>② 「飯田市の環境への取り組みを市民の誇りに」という考え方についてどう思うか</p> <p>③ 環境に対する市民の意識を高めるには、ターゲットを絞った取り組みを進める必要があると考えるがどうか</p> <p>④ 市の推進体制をどう考えているか</p>

## (6) 本会議等傍聴状況(R2)

会 期	年 月 日	傍 聴 人 数
第1回定例会	令和2年2月25日	19
	令和2年3月4日	31
	令和2年3月5日	49
	令和2年3月19日	6
第1回臨時会	令和2年5月1日	2
第2回定例会	令和2年5月26日	1
	令和2年6月9日	17
	令和2年6月10日	0
	令和2年6月22日	3
第2回臨時会	令和2年8月4日	1
第3回定例会	令和2年8月25日	0
	令和2年9月9日	14
	令和2年9月10日	12
	令和2年9月23日	1
第4回定例会	令和2年11月25日	8
	令和2年12月7日	11
	令和2年12月8日	43
	令和2年12月9日	5
	令和2年12月18日	4
計		227

#### 4 市議会のあゆみ（昭和46年から）

年	議会の動き
昭和46年 (1971年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田の常備消防を廃止し、飯田市・鼎町・上郷町消防組合へ全面移管するための規約改正を可決</li> <li>・議長 近松宗一、副議長 今村輝男を選出</li> <li>・昭和45年から始まったコメの減反政策について多くの質問があった</li> <li>・鼎、上郷との合併を積極的にすすめるよう質問があった</li> <li>・中央自動車道の早期着工と四車線化を求める意見書を可決</li> <li>・中央道遺跡発掘に伴う埋蔵文化財を収蔵・展示する資料館の建設を求める質問があった</li> <li>・日中国交回復を求める決議がされた</li> <li>・アメリカのドル防衛措置に対して、地元産業の育成策をただす質問があった</li> <li>・県下に先がけて「モーテル建築の規制に関する条例」を可決</li> </ul>
昭和47年 (1972年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民憲章の制定について質問があった</li> <li>・市立病院運営審査特別委員会が市立病院の総合病院化を目指す必要性を検討</li> <li>・PCBなど公害の検査機能の充実を求める質問があった</li> <li>・国民体育大会のラグビー等の競技を飯田において開催できるよう県に対して陳情を行った</li> <li>・飯田市公民館の全面改築を求める陳情を採択</li> <li>・乱開発による環境破壊を防止して郷土の自然を守るため、「自然環境保全条例」を可決</li> <li>・中津川線の見通しと中央新幹線構想についての質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> <li>・松澤市政の誕生に伴い、その政治姿勢について、活発な質問がなされた</li> <li>・中央自動車道関連の道路整備などを要望する質問があった</li> <li>・福祉や教育施策充実を要望する質問があった</li> </ul>
昭和48年 (1973年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人医療費を無料化する対象年齢を69歳に引き下げる条例を制定</li> <li>・飯田に大学を設立すべきとする質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 伊原悦雄、副議長 新井安男を選出</li> <li>・中央道開通後予想される騒音、排気ガス、電波障害等の公害対策について質問があった</li> <li>・老朽化がすすむ小中学校の早期改築を求める質問があった</li> <li>・オイルショック、物価高、モノ不足に対する対策を求める質問が集中</li> <li>・鼎、上郷との合併の推進を求める質問が集中</li> <li>・石油危機打開を求める意見書を可決</li> <li>・中央新幹線の早期建設と飯田への駅設置を求める意見書を可決</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
昭和49年 (1974年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計予算に関して予算審査特別委員会で賛否の結論が出ず、「六月段階で措置されるよう市長に要望する」という議長斡旋で収拾され、可決</li> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する条例案に関して、し尿の収集料金の改定について意見が分かれ、最終日を迎えても結論が出ないため、議会の会期を延長して審査を行い、委員会修正案を可決</li> <li>・国保税率の決定にあたって、特別委員会の意見を踏まえ、市長が税率を下方修正する原案の訂正を行って可決</li> <li>・中央道開通を間近に控え、地場産業振興や観光振興策、あるいは公害対策を求める質問があった</li> <li>・教育文化センター（新飯田市公民館）の建設構想について質問があった</li> <li>・西部統合中学の計画について、地元対策をただす質問があった</li> <li>・東中学校の火災で緊急に議会全員協議会が開かれた</li> <li>・飯田市民の消費生活を守る条例を可決</li> </ul>
昭和50年 (1975年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央道の恵那山第二トンネルの早期着工を求める意見書を可決</li> <li>・中津川線の建設見通しをただす質問があった</li> <li>・議長 伊原悦雄、副議長 林 昌平を選出</li> <li>・中央道開通に伴う飯田 I C 周辺の道路整備、公害対策、観光開発、産業振興策について多くの質問がされた</li> <li>・窮迫した地方財政のもとでの市行政について集中論議が行われた</li> <li>・開通した中央道の恵那山、網掛トンネル前後の40キロ規制の緩和を求める意見書を可決</li> <li>・風越高校の跡地利用について質問があった</li> <li>・中央道の騒音公害対策や天竜峡付近の交通渋滞の解決を求める質問があった</li> </ul>
昭和51年 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜から未明に及ぶ議会において、市議会議員の定数をそれまでの36名から30名に減少する条例が可決された。一口に「暁の本会議」と言われている</li> <li>・市長が提案した国保税率の引上げ率が下方修正して可決</li> <li>・付加価値税新設に反対する意見書を可決</li> <li>・工場再配置補助金問題調査特別委員会と駅前観光案内所問題調査特別委員会を設置</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> <li>・ニホンカモシカの食害対策を求める意見書を可決</li> <li>・風越高校跡地利用に関して、警察署の建設と、東中学校の建設を求める陳情が出され、その対応で慎重な審査がされた</li> <li>・メッキ工場の建設を求める質問があった</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
昭和52年 (1977年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人医療費特別給付金の一部改正条例を修正可決</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 林 昌平、副議長 松江良夫を選出</li> <li>・広域水道の統合について質問があった</li> <li>・飯田駅前再開発を求める質問があった</li> <li>・円高不況対策について質問があった</li> </ul>
昭和53年 (1978年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長姫高校の移転を想定した跡地利用について質問があった</li> <li>・水道事業の統合が特別議決をもって可決</li> <li>・中央新幹線・中津川線建設促進特別委員会を設置</li> <li>・市立図書館の改築について質問があった</li> <li>・合併促進特別委員会が設置された</li> <li>・国道153号線バイパスの建設促進を求める意見書を可決</li> <li>・中学生が教師を殴打した事件について質問が集中</li> </ul>
昭和54年 (1979年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人医療費の無料化を65歳までとする条例を可決</li> <li>・国際児童年に対する取組について質問があった</li> <li>・議長 林 昌平、副議長 片桐 勲を選出</li> <li>・地震防災対策強化地域の指定に関して質問があった</li> <li>・駅前、知久町、銀座、本町など旧市街地の再開発について質問があった</li> <li>・果樹共済制度の改善に関する意見書を可決</li> <li>・モデル定住圏の指定に関して質問があった</li> <li>・県営野球場の誘致と総合運動公園の整備について質問があった</li> <li>・一般消費税創設反対に関する意見書を可決</li> <li>・市立病院の総合病院化について質問があった</li> </ul>
昭和55年 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国鉄経営再建促進特別措置法案の見直しを求める意見書を可決</li> <li>・中津川線を断念し、中央新幹線建設促進に乗換えたかどうかとする質問があった</li> <li>・土地買収に関する土地開発公社の不手際等について調査特別委員会を設置</li> <li>・大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の自主的平和統一に関する意見書を可決</li> <li>・カモシカの食害防止策についての意見書を可決</li> <li>・西部統合中学の改築計画の進捗状況について質問があった</li> <li>・土地開発公社をめぐる不祥事について質問が集中</li> <li>・アメリカシロヒトリの防除対策について質問があった</li> <li>・B型肝炎への対策について質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> </ul>

年	議会の動き
昭和55年 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土の返還促進などを求める意見書を可決</li> <li>・川路、龍江の天竜川流域の災害危険区域条例撤廃に関して質問があった</li> </ul>
昭和56年 (1981年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業振興センターの建設について質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 林 昌平、副議長 松江良夫を選出</li> <li>・国際障害者年に際しての取組について質問があった</li> <li>・中央新幹線、飯田線の強化、中津川線問題を審議する鉄道問題特別委員会を設置</li> <li>・婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条例の早期批准を求める意見書を可決</li> <li>・国鉄飯田線の合理化計画撤回等に関する意見書を可決</li> <li>・若者が定着できるよう企業誘致条例の復活を求める質問があった</li> <li>・地元との調整が長引く西部統合中問題について、多くの質問があった</li> </ul>
昭和57年 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時議会において、伊賀良と山本の両中学校を統合し、昭和60年に新たに西部中学校として発足することが可決</li> <li>・長姫高校跡地のあり方について質問があった</li> <li>・統合中学の進捗状況について多くの質問があった</li> <li>・A議員の問責決議案が可決</li> <li>・市民の直接請求による西部統合中学校を廃止する条例案を否決</li> <li>・飯田市・鼎町合併協議会の設置を可決</li> <li>・飯田線の分割・民営化反対に関する意見書を可決</li> </ul>
昭和58年 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院の経営改善と改築について審査するため、病院問題特別委員会を設置</li> <li>・飯田市農協、中央農協の合併の推進について質問があった</li> <li>・議長 松嶋健次、副議長 平沢與一を選出</li> <li>・農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止に関する意見書を可決</li> <li>・大中型店の出店の動きと丘の上商店街の活性化について質問があった</li> <li>・美術博物館の構想について質問があった</li> <li>・コンピューター導入に伴うプライバシー保護の問題、あるいは情報公開制度について質問があった</li> <li>・西部統合中学校の名称を「旭ヶ丘中学校」とする条例改正案を可決</li> <li>・10万都市実現のため、鼎、上郷との同時合併を求める質問があった</li> <li>・9月28日の10号台風による災害復旧を検討するため、緊急に臨時議会が開かれ10号台風災害対策特別委員会と、天竜水系治水災害対策特別委員会を設置</li> </ul>

年	議会の動き
昭和58年 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40人学級早期実現に関する意見書を可決した</li> <li>・松くい虫対策について質問があった</li> <li>・川路、龍江、竜丘の災害危険区域に関する今後の対応について質問があった</li> </ul>
昭和59年 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三遠南信自動車道の実現の可能性について質問があった</li> <li>・非核平和都市宣言を可決</li> <li>・人種差別撤廃条約の早期批准に関する意見書を可決</li> <li>・天竜川治水対策と天竜峡の景観保全について質問があった</li> <li>・鼎町との合併に関する議案審議のため臨時議会が開かれ、12月1日の合併を全会一致で議決</li> <li>・市職員に60歳の定年制を導入する条例を可決</li> <li>・国鉄の分割民営化反対に関する意見書を可決</li> <li>・市議会議員の定数を31名に減少する条例を可決</li> <li>・新しい街づくりの中での鼎地区の位置付けについて質問があった</li> <li>・天竜川の恒久的な治水対策を求める意見があった</li> <li>・テクノハイランド構想について質問があった</li> </ul>
昭和60年 (1985年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スパイクタイヤの粉じん公害について質問があった</li> <li>・上郷町との早期合併を求める質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 松嶋健次、副議長 平沢與一を選出</li> <li>・指紋押捺問題に関連して、外国人登録法の改正に関する意見書を可決</li> <li>・ゴミ焼却場移転問題について質問があった</li> <li>・国鉄飯田線の分割民営化の動きに関して質問があった</li> <li>・若者の定住対策と企業の育成策について質問があった</li> <li>・路線バスの廃止問題が質問された</li> <li>・鼎との合併一年後の評価について質問があった</li> <li>・学校の「いじめ」問題について質問があった</li> <li>・世界人形劇フェスティバル開催(1988年)に名乗りを上げることの質問があった</li> <li>・婦人の地位向上のための施策について質問があった</li> <li>・高齢化が一層すすむ中で、在宅福祉について質問があった</li> </ul>
昭和61年 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上郷町との合併に向けた取組について質問があった</li> <li>・コンピューター専門学校の建設費について質問があった</li> <li>・市立病院の赤字と院長人事問題で特別委員会を設置</li> <li>・院長解任に伴う市立病院の正常化について質問があった</li> <li>・大型間接税の導入は慎重に対処すべきという旨の意見書を可決</li> </ul>

年	議会の動き
昭和61年 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国引き揚げ孤児の定住援護策について質問があった</li> <li>・美術博物館の性格と財源について質問があった</li> <li>・公文書の公開条例と、個人情報の保護条例を可決</li> <li>・暴力団追放都市宣言を可決</li> <li>・飯田工業高校の移転に伴う跡地利用について質問があった</li> </ul>
昭和62年 (1987年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上げ税導入に反対する意見書を可決</li> <li>・美術博物館建設特別委員会を設置</li> <li>・中央新幹線、三遠南信自動車道の建設促進について質問があった</li> <li>・エイズ対策について質問があった</li> <li>・議長 平沢與一、副議長 細田直彦を選出</li> <li>・屋外広告物に係る環境美化等に関する条例を可決</li> <li>・老人福祉の中間施設の計画について質問があった</li> <li>・市政50周年記念事業として、中学生による子ども議会が開かれた</li> <li>・市立病院の移転決定と、地元対策について質問があった</li> <li>・世界人形劇フェスティバルの準備状況と、シャルルヴィル・メジエール市との姉妹都市締結について質問がされた</li> <li>・中央新幹線の飯田経由と駅舎設置に関する決議を行った</li> <li>・東中学校の教師死亡に関して質問があった</li> <li>・人形劇場の入札が保留になったことについて質問があった</li> </ul>
昭和63年 (1988年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランスのシャルルヴィル・メジエール市と国際友好都市の締結をすることを可決</li> <li>・美術博物館の職員体制や、運営について多くの質問があった</li> <li>・三遠南信自動車道の竜東地域にインターチェンジを求める質問があった</li> <li>・新しい市立病院の整備方針（マスタープラン）を了承</li> <li>・上郷町との合併協議30項目を了承</li> <li>・天竜川治水対策、四者協議の結論を了承</li> <li>・ギフチョウの保護対策について質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙 副議長 関島一郎を選出</li> <li>・コメの市場開放阻止に関する意見書を可決</li> <li>・保育園の空き室を託老所にする質問があった</li> </ul>
平成元年 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税導入に関して賛成、反対の論議が集中</li> <li>・リニア新幹線が停まるまちづくりについて質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 塩澤 昭、副議長 竹村仁實を選出</li> <li>・土曜閉庁関連条例を可決</li> <li>・新市立病院建設の基本計画を了承</li> </ul>



年	議会の動き
平成元年 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有線放送局の不祥事に関して質問が集中</li> <li>・長野の冬季五輪招致への考え方について質問があった</li> <li>・学校教育における日の丸掲揚と君が代斉唱についての考え方について質問があった</li> <li>・天竜川治水対策の基本計画を了承</li> <li>・有線放送を廃止し、オフトーク通信システムを導入することを了承</li> <li>・土地利用計画の策定の必要性について質問があった</li> </ul>
平成2年 (1990年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税導入を想定した新年度予算に関して賛否両論の議論が展開された</li> <li>・有線放送局不正経理事件について質問が多くされた</li> <li>・中国からの帰国者のために日本語学級を開設するよう質問があった</li> <li>・県議会議員の飯田市区定数1名増を求める意見書を可決した</li> <li>・飯田駅貨物用地跡地利用に関して質問があった</li> <li>・天竜峡温泉の交通渋滞の解消、下水道の整備等について質問があった</li> <li>・松尾地区の内水排除について質問があった</li> <li>・登校拒否児童への適切な指導を求める質問があった</li> </ul>
平成3年 (1991年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長 竹村仁實、副議長 松江良夫を選出</li> <li>・竜東地区の開発計画について質問があった</li> <li>・農村集落の活性化を図る地域マネジメント事業について質問があった</li> <li>・議長 實原 裕、副議長 内山照美を選出</li> <li>・松くい虫の被害が広がる深刻な事態に対して質問があった</li> <li>・土地利用政策審議会の設置を求める質問があった</li> <li>・りんご並木の整備構想について質問があった</li> <li>・MRSA感染対策について質問があった</li> <li>・看護婦養成のための高等看護学校の誘致を求める質問があった</li> <li>・上郷町との合併時期について市長の政治決断を求める質問があった</li> <li>・平和予算の創設を求める質問があった</li> <li>・信州いいだ農協発足に伴い、行政と農協が一体となった農業振興を求める質問があった</li> <li>・飯田駅貨物用地跡地取得の経過について質問があった</li> </ul>
平成4年 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学誘致についての質問があった</li> <li>・拠点都市地域の指定を目指すことについて質問があった</li> <li>・学校5日制の受け皿について質問があった</li> <li>・オフトークでの議会本会議中継はじまる</li> <li>・若者定着と工業振興について質問があった</li> </ul>

年	議会の動き
平成4年 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別委員会にて大詰めの合併協議が行われた</li> <li>・自然環境の保全と環境に優しい社会の実現を期して、「環境宣言」が決議された</li> <li>・市役所の完全週休2日制の導入について質問があった</li> <li>・エイズに対する予防啓発について質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> <li>・上郷町と平成5年7月1日に合併することを議決した</li> <li>・拠点都市指定に向けての取組状況について質問があった</li> <li>・中学生の問題行動に対する指導について質問があった</li> </ul>
平成5年 (1993年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガットにおけるコメの例外なき関税化の導入を拒否し、基礎的食料の国内自給堅持を求める意見書を可決</li> <li>・地域医療に果たす新市立病院の役割について質問があった</li> <li>・中心市街地のドーナツ化現象への対策について質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 今村八束、副議長 澤柳辨治郎を選出</li> <li>・上郷との合併関連議案68件を可決</li> <li>・コメの市場開放阻止等を求める意見書を可決</li> <li>・拠点都市の計画策定に関して、高速交通網の整備等について質問があった</li> <li>・上郷合併に伴う議員の増員選挙が行われ、5名が市議会議員に仲間入りした</li> <li>・シャルルヴィル・メジエール市のロジェマス市長が市議会を表敬訪問された</li> <li>・地方拠点都市地域整備促進特別委員会を設置</li> <li>・みどりの基金創設について質問があった</li> <li>・県営サッカー場の誘致について質問があった</li> <li>・不況下での産業振興策について質問があった</li> <li>・天竜川流域にカヌー競技施設の建設を求める意見書を可決</li> <li>・地方分権の実現を求める意見書を可決</li> <li>・コメの市場開放を阻止し、抜本的農業施策実現を求める意見書を可決</li> </ul>
平成6年 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯伊広域行政組合設立に伴う関連議案を可決</li> <li>・4年制大学の誘致について質問があった</li> <li>・市町村の共同出資のバス運行について質問があった</li> <li>・環境、文化、情報化、公共施設の4つのテーマで政策調査研究部会が発足</li> <li>・三遠南信地域に首都機能の移転を目指せという質問があった</li> <li>・サッカーくじ法案化について質問があった</li> <li>・農業集落排水事業実施区域の拡大を求める質問があった</li> <li>・不況下において女性の雇用を守ることを求める質問があった</li> <li>・12年ぶりの水道料金値上げを、建設委員会が3日間にわたる審査のうえ賛成多数で可決した。</li> </ul>

年	議会の動き
平成6年 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北信越市議会議長会産業・経済対策特別委員会が天竜峡で開催</li> <li>・議会だより100号記念号発行</li> <li>・今村八束議長が友好都市シャルルヴィル・メジエール市（フランス）を訪問</li> <li>・市民の生活環境の確保と市土の均衡ある発展を図るための国土利用計画（飯田市計画）を可決</li> <li>・水道料金を12年ぶりに改定。平均アップ率18・7%を三日間の審議の末に可決</li> <li>・上郷町との合併により、新たな議員定数を調査研究する「議員定数問題調査特別委員会」を設置</li> </ul>
平成7年 (1995年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回臨時会において、今村八束議長・松島年一副議長を選出</li> <li>・「中国の核実験に抗議し、フランスの核実験再開中止を求める決議」を可決し両大使館に意見書を送付</li> <li>・飯田市における政治倫理の確立のため「市長の資産等の公開に関する条例」を可決。これにより市長は資産等の報告書の作成が義務付けられ、閲覧請求が可能になった</li> <li>・上郷町編入合併に伴い5人増の36人となっていた議員数を定数31人にすることを議決</li> </ul>
平成8年 (1996年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全議員による「基本構想審査特別委員会」を設置、第四次基本構想・基本計画「環境文化都市を目指して」を可決</li> <li>・第2回定例会において「第四次基本構想に基づく組織機構改革案」を否決。この採決をめぐり最大会派の明政会が分裂し過半数を割ることとなった。この議案は第3回定例会で一部修正のうえ再提案され起立採決の結果賛成多数で可決</li> <li>・飯田市はあらゆる人権侵害の根絶を誓うため、「人権尊重都市宣言」を可決</li> <li>・「病原性大腸菌O157による食中毒対策に関する意見書」を国関係機関に提出</li> <li>・市議会議員補欠選挙で1人選出</li> </ul>
平成9年 (1997年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会改選（投票率81・9%、上郷町と合併後初、特例による議員数36人から議員定数31人に）</li> <li>・第1回臨時会において、小林利一議長・片桐司郎副議長を選出</li> <li>・市立病院と高松病院の機能、役割分担を検討するために「病院問題特別委員会」を設置</li> <li>・風越山麓に計画された送電線建設に対して景観、電磁波、産業振興、飯田市の環境条例などの観点から第2回、第3回定例会において計6件の請願・陳情があり審査・市政に関する独自の調査をし、政策提言をする「政策調査研究部会」（農業振興・交通施策・観光施策の3部会）がスタート</li> </ul>

年	議会の動き
平成10年 (1998年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数削減に続く財政改革で、「議員の各種審議会報酬を辞退すること」を全会一致で可決。長野県下初であり、全国的にも先駆的な取り組み</li> <li>・「インド並びにパキスタンの地下核実験に対する抗議の決議」を可決</li> <li>・第3回定例会において、人形劇カーニバルのあり方について活発な議論を展開</li> <li>・「大型店の元旦営業自粛に関する決議」を可決し、市内大型店に申し入れ</li> </ul>
平成11年 (1999年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成9年にスタートした「政策調査研究部会」が2か年の研究を報告</li> <li>・第1回臨時会において、小林利一議長・中田佳甫副議長を選出</li> <li>・ごみ処理手数料として30円から60円を負担する、「ごみ処理費用有料化」を可決</li> <li>・「公共下水道受益者負担金改定」を可決（面積1㎡当たり現行390円から520円に段階的な引上げ）</li> <li>・「中心市街地総合再生特別委員会」及び「介護保険特別委員会」を設置</li> </ul>
平成12年 (2000年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「政策調査研究部会」（地方分権・ISO・工業振興3部会）が平成12年度1か年の研究を報告</li> <li>・介護保険制度の施行に伴い関連する12件の条例を可決</li> <li>・国民健康保険税事業から介護保険への移行に伴う、「国保税の引き下げ」を可決</li> <li>・公共下水道（平均9.8%）及び農業集落排水施設（7.2%）の「使用料引き上げの改定」を可決</li> <li>・市議会議員補欠選挙で1人選出</li> </ul>
平成13年 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会改選（投票率75.3%、議員数31人の内女性議員6人が誕生）</li> <li>・第1回臨時会において、西尾喜好議長・牧内信臣副議長を選出</li> <li>・森林・林業・林産業の活性化と山村振興の推進を図ることを目的に「林業活性化推進飯田市議員連盟」が発足</li> <li>・飯田市地域交流センター設置条例（本町一丁目に建設中の「トップヒルズ本町」に「りんご庁舎」を設置、及びその管理について定めるもの）を可決</li> <li>・水道料金（上水道平均4.0%・簡易水道平均2.7%）の「引き上げの改定」を可決</li> <li>・アメリカでのテロの犠牲者に対し黙祷し、「同時多発テロを強く糾弾する決議」を採択</li> </ul>
平成14年 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機関の保有する情報の公開に関する法律が施行されたのに伴い「飯田市情報公開条例」を可決</li> <li>・暴走運転をなくし平穏な地域社会を実現するための「飯田市暴走行為を根絶する条例」を可決</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成14年 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「飯田市議会の議員の報酬等に関する条例」の一部を改正する条例を可決 (議員の月額報酬3%の引き下げ)</li> <li>・「飯田市議会あり方研究会」を発足</li> <li>・「飯田市差別の撤廃と人権の尊重に関する条例」を可決</li> <li>・菱田春草筆「菊慈童」及び「牧童」を取得することを承認(取得金額3億5千万円)</li> </ul>
平成15年 (2003年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「飯田市福祉医療費給付金条例」を可決(全県統一の自動給付方式を導入)</li> <li>・第1回臨時会において、議長に岩崎和男氏・副議長に渡淳氏を選出</li> <li>・「合併特別委員会」「土地利用特別委員会」「議員定数特別委員会」を設置</li> <li>・「住基ネット関連2議案」を可決(住基カードを希望者に、1枚500円で交付するための条例改正)</li> <li>・「歴史研究所条例案」を可決(市民の教育及び文化の向上発展などに寄与するための研究所を設置)</li> <li>・「ごみ処理手数料の改定案」を可決(環境保全対策により経費増のため、半分を利用者が負担)</li> </ul>
平成16年 (2004年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市議会議員定数を4人減の27人」にすることを可決</li> <li>・「わがまちの“憲法”を考える市民会議」を5月に設置</li> <li>・「飯田市都市計画条例」の一部を改正する条例を可決</li> <li>・「わがまちの“憲法”を考える市民会議」が11月8日、岩崎和男議長に中間報告を提出</li> <li>・「合併関連2議案」を可決(飯田市・上村・南信濃村合併協議会の設置について)</li> <li>・市議会議員補欠選挙で2人選出</li> </ul>
平成17年 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上村、南信濃村との合併関連6議案」を可決</li> <li>・市議会改選(投票率72.3%、議員数27人)</li> <li>・第1回臨時会において、議長に熊谷富夫氏・副議長に林幸次氏を選出</li> <li>・「自治基本条例」「土地利用計画」の特別委員会を設置</li> <li>・「高等学校改革プランの検討に関する意見書」を県に提出(高等学校数の削減を行わないよう求める意見書)</li> <li>・「個人情報保護条例」を可決</li> <li>・一般質問において一問一答方式を試験導入(一括質問一括答弁方式から、一問一答方式に変更)</li> <li>・上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙(定数2、投票率82%、特例により議員定数27人から29人に)</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成17年 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会本会議の映像生中継をスタート</li> <li>・ 「男女共同参画推進条例」を可決</li> </ul>
平成18年 (2006年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「国民保護法関連2条例」を可決（武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に関連する条例）</li> <li>・ 飯田市における土地利用の基本的な指針を策定「国土利用計画」（第2次飯田市計画）を可決</li> <li>・ 第5次基本構想・基本計画の策定にあたり「基本構想基本計画検討委員会」を設置</li> <li>・ 市民・議会・行政の連携により研究を進めてきた「飯田市自治基本条例」を第3回定例会で議員提出議案として全会一致で議決</li> <li>・ 飯田市の各地区に平成19年度から設置される地域自治区について、「飯田市地域自治区の設置等に関する条例案、飯田市公民館条例の一部を改正する条例」を可決</li> </ul>
平成19年 (2007年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温泉宿舎天竜峡を飯田市が購入することを承認</li> <li>・ 「飯田市土地利用基本条例」を可決</li> <li>・ 「環境文化都市宣言」を可決</li> <li>・ 第1回臨時会において、上澤義一議長・矢澤芳文副議長を選出</li> <li>・ 議員定数の削減に向けて「議員定数特別委員会」を設置し定数を23人に決定</li> <li>・ 「第2回マニフェスト大賞審査委員会特別賞」を受賞（飯田市自治基本条例の制定までの取組みが評価される）</li> </ul>
平成20年 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「飯田市後期高齢者医療制度に関連した条例」を可決（75歳以上の高齢者に新たな負担となるため議論が集中）</li> <li>・ 「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（子どもの支給対象を小学6年生まで引上げ）</li> <li>・ 「飯田市議会の議員の定数を定める条例」を可決（平成21年4月の選挙から定数23人に決定）</li> <li>・ 議会議案検討委員会に置いて、ポイ捨ての規制に関する条例制定の必要性を調査</li> <li>・ 決算認定に結びつける議会の行政評価がスタート（行政評価の手法を用い決算を認定）</li> <li>・ 「庁舎検討委員会」が発足（3回の委員会を経て市側の新庁舎建設の基本的な方針案を了承）</li> <li>・ 市内20地区で初の議会活動報告会を開催（市政懇談会終了後30分間）</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成21年 (2009年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「副市長の定数を1から2に改める条例」を可決</li> <li>・「土地利用計画特別委員会」を廃止</li> <li>・市議会改選（投票率64・3%、上村・南信濃村との合併特例による議員数27人から議員定数23人に）</li> <li>・第2回臨時会において初の立候補制による正副議長選挙を実施。中島武津雄議長・清水可晴副議長を選出</li> <li>・「リニア中央新幹線の早期実現及び飯田駅設置実現に関する決議」を賛成多数で可決</li> <li>・市内を6ブロックに分け2回目の議会報告会を開催（市民487名が参加）</li> </ul>
平成22年 (2010年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎の建替整備に向け調査研究を行うため「庁舎特別委員会」を設置</li> <li>・「飯田市リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金条例」を可決（リニア中央新幹線の実現に向けた取り組みを強化）</li> <li>・年度内にルート決定が見込まれる中、調査研究を深めていくため「リニア推進対策特別委員会」を設置</li> <li>・「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（子どもの支給対象を中学3年生まで引上げ）</li> <li>・第3回議会報告会を開催（市民469人が参加）</li> <li>・「飯田市地域自治区の設置等に関する条例の一部改正条例」を可決（上村及び南信濃地区を地域自治区に移行）</li> </ul>
平成23年 (2011年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回定例会において東日本大震災支援のための22年度補正予算を可決</li> <li>・第2回臨時会において、上澤義一議長・村松まり子副議長を選出</li> <li>・東日本大震災支援のための23年度補正予算を可決</li> <li>・「飯田市国民健康保険条例の一部改正条例」を可決 （2年連続平均7%の増額）</li> <li>・損害賠償に係る議会未提出案件（110件）について議会を軽視するものとして市側に改善申し入れ</li> <li>・「第5次基本構想基本計画後期計画」を可決（人口目標10万2千人に）</li> <li>・第4回議会報告会を開催（市民444人が参加）</li> </ul>
平成24年 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「議会改革・運営ビジョン」を策定し新たな議会改革の取り組みとして常設の機関「議会改革推進会議」を設置</li> <li>・議会改革の一環として、初の「議長記者会見」を開催、委員会の自由傍聴の実現、本会議のインターネットによる映像配信を開始</li> <li>・新庁舎実施設計を了承</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成24年 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第7回マニフェスト大賞最優秀成果賞」を受賞（行政評価や議会報告会の実践などが評価される）</li> <li>・第5回議会報告会を開催（市民461人が参加）</li> </ul>
平成25年 (2013年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会改選（投票率58・3%議員数23人）</li> <li>・第1回臨時会において、林幸次議長・木下克志副議長を選出</li> <li>・常任委員会を3委員会とし、議員の複数所属をやめ単独所属とする</li> <li>・より開かれた議会運営のため「広報広聴委員会」を設置</li> <li>・委員会審議において初の「議員間自由討議」を実施</li> <li>・初の政策討論会を開催（不法投棄対策について市長に提言）</li> <li>・「ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」を可決</li> <li>・「特定秘密保護法案に対する慎重な審議を求める意見書」を国関係機関に提出</li> <li>・議会の行政評価で「天竜峡温泉交流館管理事業」について、廃止を含め指定管理委託など検討を行うよう提言</li> <li>・第6回議会報告会を開催（市民510人が参加）</li> </ul>
平成26年 (2014年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の行政評価において「農業課合同事務所事業」の廃止、「農作物被害対策事業」「リニア推進事業」「小中連携・一貫教育推進事業」の拡大などを提言</li> <li>・天龍峡温泉交流館の指定管理者管理委託を承認</li> <li>・「手話言語法(仮称)等の早期制定を求める意見書」を国及び県の関係機関に提出</li> <li>・第7回議会報告会を開催（市民543人が参加）</li> <li>・第4回定例会終了後、議場の新庁舎移転に伴う「旧議場のお別れ会」を開催</li> </ul>
平成27年 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初の議会出前講座を広報広聴委員会が実施（松尾小学校）</li> <li>・県下初の対面式新議場で第1回定例会を開催</li> <li>・社会文教委員会が介護保険条例の一部改正に関して自由討議を実施。議案可決後に委員提案の附帯決議を可決。</li> <li>・第2回定例会から淡路結びの水引を議場に設置</li> <li>・第1回臨時会において、木下克志議長・木下容子副議長を選出</li> <li>・「長期欠席議員の議員報酬の特例に関する条例」を議決</li> <li>・「平和安全法制の慎重かつ適正な運用を求める意見書」を国及び関係機関に提出</li> <li>・「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（支給対象を満15歳から満18歳に引上げ）</li> <li>・木下克志議長が友好都市シャルルヴィル・メジェール市（フランス）を訪問</li> </ul>



年	議 会 の 動 き
平成27年 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第8回議会報告会を開催（市民498人が参加）</li> <li>・ 新教育委員会制度で初の教育長に代田昭久氏を任命することに同意</li> </ul>
平成28年 (2016年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「飯田市議会パネル取扱要綱」、「飯田市議会災害対応指針」を制定</li> <li>・ 基本構想基本計画特別委員会を設置し、次期総合計画「いいだ未来デザイン2028」を審査</li> <li>・ 天龍峡温泉交流館建設に関し、産業建設委員会で自由討議実施後、附帯決議をつけて可決、本会議での委員長報告に対する討論を経て予算案を可決</li> <li>・ 地元産材のPRを目的に飯田市産ヒノキと遠山杉のネームプレートを作成し、全議員が着用を開始</li> <li>・ 議会だより200号記念号を発行</li> <li>・ 7月から9月にかけて議会による行政評価を実施（42施策、19事務事業）</li> <li>・ インターネットで委員会の映像配信を開始（12月12日 総務委員会から）</li> <li>・ 第9回議会報告会を開催（9月～10月、6会場で市民554人が参加）</li> <li>・ 議会議案検討委員会を設置し、議員提出による「飯田産の地酒及び果実飲料で乾杯する条例」を議決</li> <li>・ 議会出前講座を松尾小学校で実施（2回目：2月、3回目：11月）</li> </ul>
平成29年 (2017年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飯田市議会の主催による飯伊市町村議員研修会を開催。藤山 浩氏を講師に迎え、「田園回帰1%戦略」を学ぶ（1月）</li> <li>・ 社会文教委員会が「地域ケアシステムの構築」に関する調査研究を行い、議会全体の政策討論会を経て、議会から市長へ政策提言（3月）</li> <li>・ 産業建設委員会は、「若者定住の促進について」ほか、5つのテーマについて2年間の調査研究活動をまとめ、所管部署へ提案（3月）</li> <li>・ 飯田市スポーツの振興に寄与することを目的に「飯田市議会スポーツ振興議員連盟」が発足（3月）</li> <li>・ 市議会改選（4月16日執行、投票率 57.95%、議員23名うち新人5名）</li> <li>・ 議会出前講座を山本小学校で実施（6月）</li> <li>・ 第5次基本構想の平成28年度分について議会による行政評価を実施（7月～）評価結果に基づく成果や課題を反映させるため、4月からスタートした総合計画「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画に対して、市長へ提言（9月）</li> <li>・ 第10回議会報告会を開催（10月、6会場で市民582人参加）</li> </ul>
平成30年 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会出前講座を松尾小学校で実施（1月 6年生143人）</li> <li>・ 飯田市議会の主催による飯伊市町村議員研修会を開催。大森 彌氏を講師に迎え、「自治体議会の改革と議員の法的位置づけ」について学ぶ（1月）</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成30年 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リニア推進特別委員会が、リニア駅周辺整備などをテーマとして、商工会議所支部や地域団体と意見交換会を実施（2－3月）</li> <li>・ リニア推進特別委員会が、リニア駅周辺整備を含むリニア関連事業の進め方等に対する要望書を所管部署へ提出（6月）</li> <li>・ 飯田市議会（リニア推進特別委員会）主催による「リニアを活かしたまちづくり講演会」を開催（7月）</li> <li>・ 飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン2028」に対する議会による行政評価がスタート。各常任委員会や合同委員会での大局的な評価（森の評価）を経て政策提言を実施（7月－9月）</li> <li>・ 社会文教員会が、「市内小中学校及び保育園等にエアコン設置を求める要望書」を所管部署へ提出（9月）</li> <li>・ 第11回議会報告会を開催（10月 7会場で市民654人が参加）</li> <li>・ 予算決算委員会の設置に向け、予算決算審査検討プロジェクトを発足（12月）</li> </ul>
平成31年 (2019年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報広聴委員会、同委員会内の議会だより検討会議により、議会だよりの見直しを図り、リニューアルパイロット版を発行（1月）</li> <li>・ 飯田市議会主催による「飯伊市町村議会議員研修」を開催。山梨学院大学大学院の江藤俊昭教授を講師に招き議会改革について学ぶ（1月）</li> <li>・ 一般質問等における執行機関側の議員に対する「反問権」の行使について定めた、改正飯田市議会会議規則が施行（2月）</li> <li>・ 総務委員会が、市内3か所で「地域コミュニティーの在り方」について意見交換会を実施（2月）</li> <li>・ 第1回定例会において市長が初の反問権を行使（3月）</li> </ul>
令和元年 (2019年5月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回臨時会において、湯澤啓次議長・原和世副議長を選出（5月）</li> <li>・ 第1回臨時会において、予算決算委員会を常任委員会として設置。予算・決算及び行政評価を所管し、今後は分割付託されてきた予算・決算議案について一括で付託を行うこととなった（5月）</li> <li>・ 長野県市議会議長会総会を飯田市で開催。龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏を講師に招き「政策議会をつくる議員力・議会力」を学ぶ（7月）</li> <li>・ 予算決算委員会所管による「議会による行政評価」を実施。9月定例会後、議長から市長に対し評価提言書を手交（7月－9月）</li> <li>・ 議会出前講座を山本小学校で実施（10月）</li> <li>・ 議会報告会を開催（10月 7会場で市民743人が参加）</li> <li>・ 議長、副議長及び事務局長が「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」に参加（10月－3月）</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
令和2年 (2020年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風第19号で被災地となった長野市へ、長野県市議会議長会を通じて見舞金を送った（11月）</li> <li>・議会報告会で出された「小学校のトイレ環境」に対する意見を受けて、社会文教委員会が市内の小中学校全てのトイレ環境の現状把握と学校職員への聞き取り調査を行い、予算決算委員会での審査、本会議での同意をもって市長に提言書を提出した（12月）</li> <li>・飯田市議会主催による「飯伊市町村議会議員研修」を開催。（㈱地方議会総合研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招き「議会の活性化と議会運営」について学ぶ（1月）</li> <li>・市議会災害対策会議を実施（1月ー）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で市の行事が開催中止（2月ー）</li> <li>・第1回定例会で新型コロナウイルス感染症対策についての質問が複数あり（3月）</li> <li>・第1回臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算等を審議（5月）</li> <li>・タブレット端末を活用したペーパーレス会議システムについての全員協議会勉強会を開催（6月）</li> <li>・「子育ての孤立化」をテーマに、社会文教委員会が「課題共有型えんたく会議」を開催（7月）</li> <li>・飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン2028」に対する議会による行政評価・提言を行いました（9月）</li> <li>・議会報告・意見交換会を開催（10月 7会場で市民420人が参加）</li> <li>・県知事と市長にリニア中央新幹線関連事業等により移転をお願いする皆さんに係る農振除外手続きに関する要望書を提出（12月）</li> </ul>
令和3年 (2021年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業など対策に関する補正予算等を審議（2月）</li> <li>・全議員を対象としてペーパーレス会議システムの研修を実施（2月）</li> <li>・第1回定例会からタブレット端末を活用した議案審議を試行的に開始（3月）</li> <li>・議会、飯田商工会議所、飯田市行政の3者の共同声明として、「ゼロカーボンシティ宣言」を実施</li> <li>・市議会改選（4月25日執行、投票率 60.74%、議員23名うち新人9名）</li> <li>・第2回臨時会において、井坪隆議長・山崎昌伸副議長を選出（5月）</li> </ul>

## VI 参考資料

### 1 都市宣言

#### ① 安全都市宣言

わが国における産業経済の成長と生活文化の向上は、近年著しいものがあり、わが飯田市も近代的生産都市として発展の一翼をにない、市勢も各方面にわたり伸展しつつある。反面、産業災害、交通事故、火災などの各種災害が多発し、日常生活をおびやかされていることは、憂慮にたえないところである。

もとより、災害を防止するための措置は、それぞれの分野において積極的に実施されているが、われわれはさらに進んで市民の生命尊重と、産業文化伸展の理念のもとに、各種の災害をより効果的に防止するため、飯田市各階層を一丸とする市民運動を強力に推進し市民の安全意識の高揚をはかることこそ緊要であると確信する。

われわれは、この際「国民安全の日」制定の意義に沿い、本市における産業・労働・交通・消防・教育・文化・婦人団体など各界の連携をはかり、市民生活のあらゆる面において安全を確保し、明るく住みよい都市建設を目指して、ここに飯田市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和36年 6月26日

飯 田 市 議 会

#### ② 明るい選挙都市宣言

民主政治の健全を期するためには、明るい選挙が行わなければならない。即ち、民主政治の基盤は選挙にある。

本市は、さきに公明選挙都市宣言をなし、これが運動を推進し、その実績をあげつつあるとはいえ、なお、遺憾な点なしとはいえない。

よって市民の代表である、本市議会はここに決意を新たにするとともに、市民の希望と熱意を結集し、これが現実を期するため、飯田市を「明るい選挙都市」とすることを宣言する。

昭和40年 6月29日

昭和61年 6月25日（一部変更）

飯 田 市 議 会

③ 青色申告都市宣言

本市は自主申告納税の理想郷を実現するため、また市民が青色申告の本質を再認識して国民の基本的義務である納税についての思いを新たにし、かつ、その納税意欲の向上をはかって、社会経済の発展に貢献するとともに、市民相互の繁栄と幸福を築くため、ここに飯田市を「青色申告都市」とすることを宣言する。

昭和52年9月21日

飯 田 市 議 会

④ 電波障害防止都市宣言

今日の情報化社会において、テレビ・ラジオは市民生活にとって不可欠のものとなっている。

しかるに、都市の近代化による高層建築物の増加、電気設備などの高度化は電波障害を誘発する要因となっている。

当市議会は、かつて昭和41年9月、他の市町村に先駆けて「電波無雑音都市宣言」を議決し、多大の成果を得て今日にいたっている。

今後、都市の近代化がさらに進む中で発生を免れない電波障害を一掃し、市民の快適な生活環境を築くため、その宣言の精神を一層敷延化して、ここに本市を電波障害防止都市とすることを宣言する。

昭和54年12月21日

飯 田 市 議 会

⑤ シートベルトヘルメット着用都市宣言

飯田市における交通事故は激増の一途をたどり、悲惨な事故のために多くの市民がその犠牲となっており、昭和56年度における人口1万人当りの事故率は55.3人で、県下17市中第1位という極めて憂慮される事態を迎え、事故絶滅は現下の緊急課題である。

交通事故の実態を見ると、シートベルト並びにヘルメットの着用は被害の防止、軽減を図る上で大きな効果が認められているが、その着用率は未だ十分といえない状況である。交通量の増加に伴い、ますます交通事故の危険が迫る現状にかんがみ、運転者のなご一層の交通安全意識を高めるため、ここに「シートベルト並びにヘルメットの着用」を宣言する。

昭和57年12月21日

飯 田 市 議 会

⑥ 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実でますます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。

わが国は、世界唯一の核被爆国としてこの地球上に広島、長崎の惨禍を再びくりかえしてはならないと訴えるものである。

飯田市は、平和憲法の精神にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成をめざすものである。

ここに、飯田市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年6月28日

飯 田 市 議 会

⑦ 振替納税推進都市宣言

期限内完納の思想の高揚をはかるため、市民が振替納税の本質を理解して国民の基本的義務である納税意識が向上し、社会経済の発展と市民相互の繁栄に貢献することを願い、ここに飯田市を「振替納税推進都市」とすることを宣言する。

昭和60年6月29日

飯 田 市 議 会

⑧ 暴力団追放都市宣言

飯田市は、美しい自然と長い歴史と伝統文化にまつまれた人情豊かなまちとして、平和で明るく住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいるところである。

しかしながら、暴力団による不法行為は増加の一途を辿り、暴力団同志によるけん銃発砲事件も発生し、善良な市民生活が脅かされるなど、美しい郷土のイメージが損なわれことは、まことに遺憾であり、強い憤りを感じるものである。

善良な市民の平穏な日常生活と安全を守る立場から全市民の総意を結集し、暴力を是認しない地域づくりにつとめ、すべての暴力の根絶を図らなければならない。

よって、本市議会は、犯罪のない平和な住みよい郷土の建設をめざし、暴力行為を壊滅し、すべての暴力団を追放するため、ここに飯田市を「暴力団追放都市」とすることを宣言する。

昭和61年12月22日

飯 田 市 議 会

⑨ 人権尊重都市宣言

私たちは、だれもが人間らしく幸福に生きる権利を有し、だれからも尊重され、親しまれ、愛されながら豊かに暮らすことを求めています。そして、美しい自然と同様に、だれ隔てなく接する思いやりのある美しい心を持つ市民が明るく生活するまちを目指して努力しています。

しかし、大変残念なことに、現実には偏見による差別など様々な人権侵害が存在しています。このことは、早急に解決しなければならない重要な課題です。

よって、私たちは基本的人権を正しく理解し、尊重し、人権擁護の良き実践者となるとともに、善意を広め、互いに励まし合い、手を取り合っであらゆる人権侵害を根絶することを誓うため、ここに飯田市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

平成8年6月24日

飯 田 市 議 会

⑩ 環境文化都市宣言

私たち飯田市民は、地球環境問題が人類共通の課題であることに着目し、人と自然のかかわりを見つめ直して、日々の生活から産業活動まですべての営みが自然と調和するまちづくりに、先駆的に取り組んできました。

自然環境や生活環境などを取り巻く状況が厳しさの度を増している今日、「持続可能性」と「循環」を基本にして自分たちのライフスタイルから社会の有り様に至るまでをあらためて見直し、「環境に配慮」する日常の活動を「環境を優先」する段階へと発展させながら、新たな価値観や文化の創造へと高めていく必要があります。

私たちは、かけがえのない地球にある生態系の中で自然と共生する地球市民の一員としての原点に立ち返り、先人から受け継いだ美しい自然環境と多様で豊かな文化を活かしながら、市民、事業者、行政など多様な主体の積極的な参加と行動とによって人も自然も輝く個性ある飯田市を築くことを誓い、ここに「環境文化都市」を宣言します。

平成19年3月23日

飯 田 市 議 会

## 2 市政提携に関する覚書

長野県飯田市（以下「甲」という）と岡山県津山市（以下「乙」という）は、市政執行の面において相互に啓発し、いっそう市政の伸展と住民福祉の向上を期するため、緊密に提携することを協定し、当面、この目的達成のため、次の事項を実行することを確認する。

### 記

- 1 この目的達成のため、甲、乙において作成したあらゆる行政事務資料で、相手方の参考になると考えられるものは、相互に送付するものとする。この場合は窓口は、総務課扱いとする。
- 2 甲、乙は、必要に応じて協議の上、相互に研修のため職員を派遣することができる。この派遣職員の滞在に要する経費は、それぞれ派遣する側の負担とする。ただし、執務に要する事務的経費は、委託を受けた側が負担する。
- 3 この協定書以外の特別な事項で必要があると認めるときは、その都度双方協議のうえ、決定する。

以上この協定を証するため、覚書2通を作成し、甲・乙各1通を保有する。

昭和44年3月25日

甲	飯田市長	清水重美
乙	津山市長	生末敏夫

## 3 友好都市締結

### 盟 約 書

日本国長野県飯田市とフランス共和国アルデンヌ県シャルルヴィル・メジエール市は、共に古きよき伝統を有し、人形劇芸術において重要な役割を果たしつつある。

両市の市民と市民が構成するさまざまな組織間の相互理解と友情を深めることにより、日本国とフランス共和国の親善を促進し、世界の平和に貢献することを希求し、ここに両市が友好都市として提携することを盟約する。

昭和63年8月5日

日本国 長野県  
飯田市  
市長 松澤 太郎

フランス共和国アルデンヌ県  
シャルルヴィル・メジエール市  
市長 ロジェ・マス



#### 4 飯田市の主要年表

年 月	事 項
昭和12. 4	飯田・上飯田町合併 飯田市誕生 人口31,289人
5	第1回市議会議員選挙
6	飯田市初議会で、市長に野原文四郎氏を推挙
14. 11	市瀬泰一氏第2代目市長に就任
17. 5	市議選翼賛選挙で無投票当選
18. 8	伊那電鉄など飯田線となる
19. 12	県立飯田保健所開所
21. 4	戦後初の衆議院選挙 飯田市の人口33,772人
7	飯田駅前大火
22. 4	公選による知事、市長選。高田茂氏当選 第4代目市長に
4	飯田市大火 市街地の3分の2を焼失
23. 3	飯田市消防本部、消防署発足
26. 12	飯田市立病院開院
28. 11	りんご並木の植付始まる
29. 4	飯田長姫高校全国高校野球選抜大会で優勝
10	飯田市公民館、復興記念館開館
30. 4	市長選に松井卓治氏当選、第5代目市長に就任
31. 9	飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村、下久堅村が合併、新飯田市発足
31. 10	合併初の市議会 飯田市公民館で開催、議員数145名 合併後の市長選 松井卓治氏無投票当選
32. 4	松井市長、鼎町と上郷村へ合併を申入れる
34. 7	飯田市下水処理場供用開始。県下初、全国で6番目
35. 7	飯田市民プール完成
36. 3	川路村を合併
6	梅雨前線豪雨伊那谷を襲う 死者11人 行方不明5人
37. 10	建設大臣伊那谷の災害地を視察
11	飯田市役所新庁舎落成
38. 10	低開発地域工業開発地区に指定される
12	りんご並木後援会発足
39. 3	龍江村、千代村、上久堅村を合併
40. 7	市立病院新館落成
9	組合立、飯田衛生センター落成
12	老人ホーム川路寮開設
41. 1	市議会、地財法準用を議決
10	中央自動車道杭打式（今宮球場附近）

年 月	事 項
昭和42. 5	飯田勤労者福祉センター開館
9	飯田市議会 財政再建のため議員報酬5割削減可決
11	りんご並木15周年記念式典を行う
11	市制施行30周年記念式典を行う
43. 4	飯田市・鼎町・上郷村消防組合発足
5	りんご並木、NHK総合テレビで放映される
8	飯田市・鼎町・上郷村下水道組合発足
10	市長選に清水重美氏当選 第6代目市長に
44. 3	岡山県津山市と市政業務提携
8	36年災害復旧状況視察のため皇太子御夫妻来飯
11	飯伊地域広域行政市町村圏協議会設立
45. 2	飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合発足
11	大平部落解散式
11	飯田卸売団地開設
46. 3	飯田・鼎・上郷消防組合発足
6	名誉市民日夏耿之介氏死去 行年81才
6	市議会、生活改善推進を議決
8	りんご並木の碑除幕式
47. 4	飯田文化会館竣工
10	市長選に松澤太郎氏当選 第7代目市長に
49. 3	飯田市農業協同組合発足
5	松川ダム完成、妙琴浄水場通水式
50. 1	飯田中央農業協同組合発足
6	飯伊特別養護老人ホーム「飯田荘」完成
8	中央自動車道西の宮線開通（中津川一駒ヶ根間）
51. 2	鼎町・上郷町へ合併の申し入れをする
3	市議会議員定数を30人に削減
10	松尾終末処理場供用開始
11	飯田市公民館竣工
52. 5	飯田市総合運動場、勤労者体育センター完成
6	市民憲章制定
53. 10	第33回国民体育大会「やまびこ国体」開催（ラグビー会場）
12	飯田市基本構想、基本計画策定
54. 7	飯伊モデル定住圏地域の指定を受ける
8	人形劇カーニバル始まる
12	飯田市墓地霊園、桐林に完成

年 月	事 項
昭和55. 3	市営弓道場移転完成
4	橋北コミュニティ防災センター完成
56. 4	飯田地区広域消防組合発足（松川町・喬木村・大鹿村・豊丘村・高森町・清内路村・阿智村が加入）
9	鼎町早期に合併したいとの回答
57. 3	飯田市武道館完成
7	上郷町に再度合併の要請
8	飯田まつりに新曲「りんごん」を踊る
11	中央自動車道西宮線全線開通
12	飯田市・鼎町両議会合併協議会設置を可決
58. 1	第1回飯田市・鼎町合併協議会開かれる
3	飯田市保健センター完成
9	台風10号大きな被害を受ける
59. 2	座光寺小学校完成
3	橋南にコミュニティ防災センター完成 龍江公民館、支所完成
8	飯田市と鼎町との合併調印式
12	鼎町と合併
60. 3	天竜川治水基本協定の調印
4	旭ヶ丘中学校の開校
4	鼎町と合併後初の市議選
5	「三遠南信道路」3県レベル同盟会の設立
10	「美術博物館」基本構想委員会発足
61. 3	座光寺公民館・支所完成
8	人形劇アジア会議開催
10	飯田消防署新庁舎完成
12	北方地区土地区画整理事業着工
62. 1	飯田市立病院新副院長人事発令
2	飯田工業技術センター完成
3	イタチガ沢埋立地完成 丸山地区土地区画整理事業着工
4	飯田コンピュータ専門学校開校
8	飯田市子ども議会開催
10	市制施行50周年記念式典
11	りんご並木ヘニュートンのりんごの木、国道153号線バイパスへりんご植付
12	飯田市基本構想、基本計画策定

年 月	事 項
昭和63.	3 市道知久町中村線・国道153号線バイパス第1工区竣工
	6 飯田市・上郷町両議会合併協議会設置可決
	7 第1回飯田市・上郷町合併協議会開かれる 人形とけい塔ハミングパル並木通りに設置
	8 シャルルビル・メジェール市と友好都市提携 飯田人形劇場開館 世界人形劇フェスティバル開催
	10 飯田市美術博物館10月1日落成式 市長選に田中秀典氏当選 第8代目市長に
平成元.	3 飯田衛生施設組合 桐林クリーンセンター完成 飯田運動公園県営飯田野球場完成
	6 桐林運動広場完成
	8 アフィニスセミナー開催 山梨リニア実験線、建設正式決定 三遠南信自動車道、程野・飯田東IC間のルート公表
1.	9 伊那谷高速交通フェア開催 第2. 4土曜日の閉庁実施
	10 飯田市美術博物館開館
	11 飯田市立病院、総合病院となる
	12 飯田勤労者総合福祉センター完成
2.	3 松尾公民館・支所完成
	4 名勝天竜峡温泉利用開始
	8 新病院本体建設着工
	11 新し尿処理場着工
	12 県議定数（飯田地区）2人から3人に
3.	1 市営駐車場30分無料化
	2 テレトピアモデル都市に指定
	3 千代診療所完成
	7 飯田市斎苑完成、動物炉が新設される
	9 今田人形座が仏国で開催の人形劇世界フェスに出演
	10 飯田工業高校跡地一帯が建設省「平成記念子供のもり公園」に指定される
	12 飯田農協と飯田中央農協が合併「信州いいだ農協」が誕生
4.	2 天竜川治水対策事業起工式が行われる
	3 飯田市で初の「かなえデイサービスセンター」完成 国道153号線バイパス第2工区と飯田下山線開通 飯田運動公園弓道場竣工

年 月	事 項
平成4. 3	飯田市有線放送局閉局
4	オフトーク通信事業開始 かなえデイサービスセンター開所 飯田ふれあい農園開園
6	オフトーク通信による議会本会議生中継開始 緑ヶ丘中学校プール完成
7	新し尿処理場「飯田竜水園」運転開始 伊賀良「育良町」誕生
9	新市立病院竣工式
10	国道153号線バイパス新市立病院まで開通 新市立病院開院（外来診療開始）
12	飯田市・上郷町合併調印式 飯伊地域が地方拠点都市第一次指定される
5. 1	地方拠点都市整備計画策定室設置
2	丸山羽場第2地区区画整理事業起工式
3	男女共同参画型社会をめざして「信州飯田女性プラン」（女性行動計画） まとまる 上久堅福祉企業センター竣工
4	市役所の業務が毎週土曜日閉庁となる
6	飯田駅前にアイパーク竣工
7	上郷町と合併し、人口が106千人となる
8	人形劇カーニバル15周年を迎える アフィニスセミナー5周年を迎える
10	飯田のシンボル「りんご並木」が40周年を迎える 浜松市のフルーツパークに飯田のりんごの苗木が植樹される また両市の美術館で所蔵品の交換展を開催 特別養護老人ホーム第二飯田荘が開所
12	飯伊地方拠点都市地域基本計画が知事承認を受ける
6. 2	三遠南信地域の振興を考える「三遠南信サミット」が浜松で開かれる 天竜川治水対策事業、龍江側で盛土工事本格着工
3	三遠南信自動車道「矢筈トンネル」供用開始 山本公民館、支所竣工
4	今田人形の館竣工 飯伊広域行政組合発足 オフトーク通信事業の放送業務を民間委託
6	ゆとり宣言都市指定モニュメント「ゆとり創造の樹」完成

年 月	事 項
平成6. 9	飯田市議長が友好都市フランスのシャルルヴィル・メジエール市を訪問
10	飯田市議会だより100号記念発行 飯田市総合運動場全面改修工事竣工
12	国土利用計画（飯田市計画）策定議決
7. 2	中心市街地から「西友」撤退 阪神大震災被災地へ支援 飯田市下水道整備計画策定
4	北部・竜東デイサービスセンター開所 天竜峡活性化センター「あざれあ」開館
7	飯田運動公園プール「アクアパーク I I D A」竣工 飯田市立病院に併設の伝染病棟隔離病舎（飯伊広域行政組合）供用開始
8	戦後50年平和祈念事業を開催（8～11月）
10	「三遠南信サミット&シンポジウム i n 飯田」開催 第41回風越登山マラソン開催（7年ぶりに復活）
12	飯田市議会12月定例会で条例定数は現行31人で議決 飯田農業振興地域整備計画を変更、都市計画の用途地域も変更
8. 2	天竜川治水対策事業、川路、竜丘側築堤工事起工式 市民構成劇「かざこし姫となかまたち」上演
3	市議会本会議で「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」否決
4	飯田市農政プラン策定 第4次基本構想・基本計画「環境文化都市をめざして」策定 飯田市工業振興マスタープラン策定 飯田やまびこマーチ10周年
5	矢高共同調理場竣工
6	人権尊重都市宣言 「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」可決
7	市役所組織機構改革が実施される（7月1日より）
12	さんとびあ飯田竣工 信州飯田ふるさと大使館開館 21' いいだ環境プラン策定
9. 2	ハートヒル川路竣工
4	市制施行60周年
5	市議会改選
5	市誌編さん委員会誕生
7	太陽光発電に無利子融資

年 月	事 項
平成9. 7	エコタウン地域に指定される
8	全国夏期巡回ラジオ体操会
10	世界地方都市十字路口会議
12	J Aみなみ信州発足
平成10. 2	市民バス運行開始
2	長野オリンピック冬季競技大会開催
3	長野パラリンピック冬季競技大会開催、飯田市より2人参加
3	議員の各種審議会報酬辞退を全会一致で可決
4	天竜川治水対策・龍江側工事完成
6	飯田市役所ISO14001を取得する方針決定
	第1回飯田市藤本四八写真文化賞 (芳賀日出男さん、宮島功さん、南島孝さん受賞)
8	第20回人形劇カーニバル (20回を記念して世界人形劇フェステバル開催)
	第10回アフィニス夏の音楽祭ロストロ・ポーヰチ氏を迎え開催
平成11. 3	市議会「政策調査研究部会」報告(農業振興・交通施策・観光施策3部会の平成9年・10年度の2カ年の研究報告)
	病院問題特別委員会審査終了
	飯田工業技術研修施設・EMCセンターオープン
	りんご並木リニューアル
4	飯伊広域行政組合を継承、発展する形で南信州広域連合設立
7	よこね田んぼ「日本の棚田100選」に選ばれる
12	ごみ処理費用負担制度開始
平成12. 1	I S O 14001認証取得
3	市議会「政策調査研究部会」報告(地方分権・I S O・工業振興3部会の平成12年度の1カ年の研究報告)
4	介護保険制度がスタート
7	丸山羽場地区区画整理事業第1地区完成
10	三遠南信パテントメッセ・EMCシンポジウムと工業技術交流相次ぐ
平成13. 1	観測開始以来の大雪に見舞われ市民生活に大きな影響が出る
3	政務調査費の交付に関する条例の制定
4	市議会改選
7	橋南第1地区再開発ビル「トップヒルズ本町」完成
8	地域交流センター「りんご庁舎」オープン
10	いいだFM開局
11	りんご並木「かおり風景100選」に選ばれる

年 月	事 項
平成14. 4	平成記念かざこし子どもの森公園開園
9	天竜川治水対策事業完成
10	菱田春草作「菊慈童」を購入
平成15. 1	ISO14001自己適合宣言
3	市議会「在り方研究会」「合併問題調査研究会」報告(半年間の研究報告) 「環境首都コンテスト」人口規模別第1位、総合第4位
5	南信州グリーンツーリズム特区取得
8	飯田市・喬木村・上村・南信濃村の4市村、任意合併協議会設立
10	りんご並木50周年記念事業
12	飯田市歴史研究所オープン
平成16. 1	橋南第2地区市街地再開発ビル着工
2	第1回ほんもの体験フォーラムin南信州の開催
3	オーライ!ニッポン大賞グランプリ内閣総理大臣賞受賞
3	飯田お練りまつり盛大に開催
5	「わがまちの“憲法”を考える市民会議」の発足
5	第12回環境自治体会議「いいだ会議」開催
6	自治体環境グランプリ環境大臣賞受賞
7	市立病院が地域医療支援病院として県から承認を受ける
10	飯田市長選で、牧野光朗新市長誕生
平成17. 4	地域経済活性化プログラム2005を策定、農業課と農業委員会の事務所移転
6	国際自転車レース「第9回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ」を開催
7	高校統廃合問題に関連し、鼎公民館で「高校改革シンポジウム」を開催
10	上村及び南信濃村と合併
10	日独地域国際化サミットを飯田市で開催
平成18. 4	飯田やまびこマーチ20回記念大会 結いターンキャリアデザイン室を設置
6	一般廃棄物最終処分場(千代地区)の建設工事開始
9	飯田市自治基本条例の制定
10	橋南第二地区市街地再開発ビル トップヒルズ第二オープン
平成19. 3	第5次基本構想基本計画と環境文化都市宣言を可決 川本喜八郎人形美術館オープン 市制70周年記念式典を開催
4	飯田市自治基本条例、地域自治区、第5次基本構想基本計画、総合的土地利用計画、行財政改革大綱など地域の自立に向けた新しい枠組みスタート 全国さくらシンポジウムin飯田開催
11	南信濃地域交流センター完成



年 月	事 項
平成19. 11	市議会が、「第2回マニフェスト大賞審査委員会特別賞」を受賞 飯田市自治基本条例の制定の取り組みが評価される
平成20. 4	三遠南信自動車道飯橋道路1工区(飯田山本IC~天竜峡IC)が供用開始
6	天龍峡再生元年として天龍峡百年再生館オープン
7	市政懇談会に合わせて、初の議会活動報告会を市内20地区で開催
8	北京オリンピックに、飯田市出身初の選手として矢澤一輝選手がカヌースラローム競技に出場
	人形劇のまち30年を記念して「世界人形劇フェスティバル・いいだ人形劇フェスタ2008」を開催
	アフィニス夏の音楽祭が20回をもって終了
9	市議会による行政評価が初めて行われ「施策及び事務事業に対する提言書」を市長に提出
10	飯田市・南信州広域連合・みなみ信州農協が共同で運営するマーケティングショップ「南信州ファームプロダクツマーケット」を名古屋市内にオープン、地元の旬の農産物の販売や地域への産地ツアーを企画
11	市内を6ブロックに分け、2回目の議会報告会を開催、市民487名が参加
平成21. 1	飯田市が内閣府から環境モデル都市に選定
3	グリーンバレー千代(最終処分場)竣工
4	市内の商工会議所、商工会が統合され新しい飯田商工会議所が誕生
5	オーケストラと友に音楽祭開催
7	飯田下伊那市町村による定住自立圏形成協定書の合同調印式
8	市企画部内に「リニア推進対策室」が設置される
10	飯田北部地区の農免道路が開通(上郷丹保地区~高森町下市田地区) 低炭素社会実現に向け「レンタサイクル事業」開始
11	新型インフルエンザが流行
平成22. 2	メガソーラーいいだ太陽光発電所 飯田市と中部電力(株)で共同建設することについて協定を締結
3	飯田お練りまつり 約32万人 42団体が参加
4	リニア中央新幹線推進本部設置(市役所内)
5	介護保健施設ゆうゆう 竣工
6	日本の環境首都コンテスト2009(第9回)で飯田市が総合2位(昨年3位)
7	集中豪雨による土砂災害(南信濃で昭和58年に次ぐ観測史上2番目となる223mmの降水量 土砂崩れや建物の全壊、床下浸水などの被害)
9	天龍峡盆踊りが25年ぶりに復活
10	定住自立圏全国市町村長サミット2010in南信州が開催
平成23. 1	メガソーラーいいだ太陽光発電所 運用開始

年 月	事 項
平成23. 1	飯田大学連携会議「学輪IIDA」の設立
3	東日本大震災発生。避難者の受け入れ
3	飯田市美術博物館デジタルプラネタリウムを導入
5	国土交通大臣が全国新幹線鉄道整備法に基づき、 リニア中央新幹線の整備計画を決定
平成23. 6	三六災害から50年。三六災害50年シンポジウム開催
	日本の環境首都コンテストで「明日の環境首都賞」を受賞
9	フランス シャルルヴィル・メジエール市に「飯田通り」誕生
9	菱田春草没後百年 飯田市美術博物館で「没後百年記念特別展」開催
12	第5次飯田市基本構想後期基本計画策定
平成24. 4	飯田市立動物園リニューアルオープン（ちびっこランド） 8月にはペンギン舎、10月にはコンドル舎がリニューアル
5	エコハウスがJIA環境建築賞住宅部門で優秀賞を受賞
7	第10回スローライフまちづくり全国都市会議（スローライフサミット）開催
8	ロンドンオリンピックに、飯田市出身の矢澤一輝選手がカヌースラローム 男子カヤックシングルで、北京大会に続き出場
11	市議会が、第7回マニフェスト大賞地方議会部門最優秀成果賞受賞 議会による行政評価及び議会報告会の実施が評価される
平成25. 3	東和町交差点を周辺の改良工事にあわせ、全国で初めて信号機付交差点から ラウンドアバウト方式に変更して整備
4	「地域環境権」をうたう飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な 地域づくりに関する条例が施行
4	市役所新庁舎建設工事着工
8	人形劇フェスタ15周年を記念しアジア人形劇フェスティバルを開催
9	リニア中央新幹線のルート及び飯田市内への駅設置の決定が発表される
平成26. 2	観測史上最多の積雪深81cmを記録 中央自動車道の通行止め、農業生産 施設の被害等市民生活に多大な影響を及ぼす
3	恒川官衙遺跡（座光寺地区）が、国史跡に指定される 飯田市立病院周産期センター、がん診療・緩和ケアセンター竣工
6	南アルプス（飯田市では上村、南信濃地区）がユネスコエコパークに登録さ れる
10	航空宇宙産業クラスター拠点工場完成 リニア中央新幹線（品川・名古屋間）の工事実施計画が認可される
12	市役所新庁舎完成
平成27. 1	市役所新庁舎開庁し業務を開始
2	長野県内初の左右対面式議席の新たな議場で初めての市議会定例会を開催

年 月	事 項
	3 菱田春草生誕140周年記念事業が行われる、菱田春草生誕地公園が仲ノ町に完成、美術博物館では菱田春草の特別展、ワークショップ、シンポジウム等を開催
	4 パスポート窓口を市役所庁舎内に開設
	4 リニア中央新幹線中心線測量開始
	7 こども家庭応援センター「ゆいきっず」が開所
	9 飯田市長、市議会議長が友好都市フランスのシャルルビル・メジエール市を訪問し、AVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）総会を招致、平成30年に飯田市で開催されることが決定
	10 マイナンバー制度が始まる
	10 国道152号小道木バイパスが開通
平成28.	3 数えて7年に1度の飯田お練りまつりが開催され、35万の人出で賑わう
	4 教育長に代田昭久教育長が就任
	4 高校生世代までの医療費が無料に（年度末年齢18歳以下の子ども）
	5 飯田市リニア関連事業現地事務所（相談窓口）を上郷飯沼に設置
	6 農地転用許可が市に権限移譲（6月1日付で指定市町村に指定）
	7 「市田柿」が地理的表示（GI）保護制度に県内で初めて登録される
	9 飯田産の地酒および果実飲料で乾杯する条例を市議会が提案し制定
	10 飯田古墳群が国史跡指定、恒川官衙遺跡が追加指定
	10 52年ぶり2期連続無投票で牧野光朗市長が当選。4期目の市政をスタート
	11 市役所庁舎整備事業が全て完了（平成25年4月着工）
	11 天皇皇后両陛下が私的御旅行のため飯田下伊那地域をご訪問（天龍峡、りんご並木、阿智村 満蒙開拓平和記念館）
	12 「地域ぐるみ環境ISO研究会」設立20周年記念
平成29.	4 飯田市総合計画「いいだ未来デザイン2028」スタート
	4 旧飯田工業高校施設を活用した「産業振興と人材育成の拠点」において、信州大学航空機システム共同研究講座が開講される
	4 天龍峡温泉交流館リニューアルオープン
	5 上郷北条地区のリニア駅予定地への幅杭設置が開始される
	6 「信州・伊那谷(ローカル)の個性で世界(グローバル)を惹きつけ、世界へ発信する玄関口(ゲートウェイ)」を基本理念としたリニア駅周辺整備基本計画が策定される
	8 市制施行80周年記念事業としてタイムカプセルを掘り起こし
	9 飯田市美術博物館で菱田春草記念常設展示がスタート
	10 市制施行80周年記念式典が開催される
	12 南信州広域連合稲葉クリーンセンター竣工(燃やすごみの処理が桐林クリーンセンターから移行)

年 月	事 項
平成30.	2 市内で最初のリニア工事（中央アルプストンネル松川工区）が着工
	3 三遠南信自動車道飯喬道路の龍江～上久堅間が開通
	3 飯田市立病院に放射線治療専門棟（リニアック棟）が竣工し、新たに導入したがん放射線治療装置（リニアック）が稼働
	4 上村小学校が小規模特認校に認定され、区域外からの児童の通学が始まる
	8 満18歳までの子どもの医療費の窓口無料化を開始
	8 新人形とけい塔「ハミングパル」が完成
	8 世界人形劇フェスティバル開催 （いいだ人形劇フェスタ20周年・前身の人形劇カーニバル飯田から40周年）
	8 AVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）総会を飯田市で初開催
	8 シャルルヴィル・メジエール市との友好都市提携30周年を記念して、「シャルルヴィル・メジエール通り」命名式等の記念式典を開催
	10 吾妻町と東和町の2つのランドアバウトが2018年度グッドデザイン賞を受賞
	11 特養飯田荘が「ゆとびいいだ」としてリニューアルオープン
平成31.	1 南信州広域連合が座光寺の旧飯田工業高校施設を改修・整備し、公益財団法人 (2019) 南信州・飯田産業センターが指定管理者となった、産業振興と人材育成の拠点 「エス・バード」が開所 3月にオープニングイベントを開催
	2 下久堅ふれあい交流館が完成
	3 上郷自治振興センター・保健センターが完成
令和元.	7 美術博物館開館30周年 自然・文化展示室がリニューアル
(2019)	9 市長ほか関係者がシャルルヴィル・メジエール市を訪問し、AVIAMA総会に出席 リニア駅周辺整備基本設計（案）が公表 災害時の相互応援協定に基づき台風第15号の被災地である千葉県君津市に災害 支援を実施
	10 飯田市総合運動場がリニューアルオープン 消費税率の引上げにともない飯田市プレミアム付き商品券の販売事業を実施
	11 三遠南信自動車道天龍峡IC・千代IC・龍江ICが開通 「そらさんぽ天龍峡」「よって館天龍峡」を整備 台風第19号の県内被災地に対して災害支援を実施
令和2.	2 飯田市新型コロナウイルス感染症対策本部の設置
(2020)	3 都市計画道路羽場大瀬木線（切石～北方工区）の開通
	5 地域外来・検査センター開所（新型コロナウイルス感染症の検査体制の充実）
	7 梅雨前線の停滞による豪雨災害（累積で飯田地域に600mm以上、南信濃地区に80

- 0mm以上の降雨量 土砂崩れや住宅の半壊、床下浸水などの被害)
- 9 市内全小中学生（約8,000名）に学習者用パソコン貸与
- 10 市長選に佐藤健氏当選 第10代目市長に  
リニア事業関連による丹保・北条地区代替地の分譲開始



# 飯田市市歌

堀内 敬三 作曲  
宮脇 至 作詞  
西條 八十 補

一、山はアルプス赤石の

峰にかがやくしらゆきを

高き心のすがたとあおぎ

かける理想よ我らが飯田

二、谷は伊那谷天竜の

あぐるしぶきにたつ虹を

清き命の泉となして

希望もえたつ我らが飯田

三、南信濃に伝統の

文化花咲く美し町

協す力にいぶきも新た

のびよ久遠に我らが飯田

# 飯田市歌

犬塚 利国 作詞  
飯田 景広 編曲

一、山紫に水明らかに

生業栄え人皆和して

希望の光 遍く充てり

げに飯田市の輝く天地

二、南信濃の陽は照り映えて

四季行楽に名を負うところ

観光都市の誉れも添ひて

げに飯田市の輝く前途

三、落葉に残す 千古の偉業

烈婦偲ぶ 不断の煙り

大儒の松風 今なお高し

げに飯田市の輝く誇り

四、ああ天恵に 幸負う我等

協同進取の旗なびかせて

目指すは彼方 久遠の理想

げに飯田市の輝く使命

## 飯田市議会要覧 令和3年度版

発行日 令和3年6月発行

編集・発行 飯田市議会事務局  
〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534番地

TEL 0265-22-4523 (直通)  
0265-22-4511 (代表 内線5611)

FAX 0265-53-8821

E-mail [igikai@city.iida.nagano.jp](mailto:igikai@city.iida.nagano.jp)

URL <https://www.city.iida.lg.jp/>